毎日のトレードをもっと面白くするトレーディングツール

MARKETSPEED II 操作ガイド

バージョン4.12.0対応

Rakuten 楽天証券

MARKETSPEED II 操作ガイド バージョン4.12.0対応

マーケットスピード II で一歩先のトレードを

CONTENTS

04ページ MARKETSPEEDII だからできる4つのポイント

06ページ ご利用までの準備
- 06 ダウンロード&インストール
- 07 利用申請／ログインする
- 08 マーケットスピードからのデータ移行
- 10 設定の確認

18ページ 画面の見方
- 18 ホーム画面
- 19 総合サマリー
- 20 証拠金振替指示
- 22 メインウィンドウ

23ページ 入金・出金
- 23 入金・出金

24ページ 注文方法
- 24 通常注文
- 25 国内株式
- 26 指値／逆指値
- 27 セット注文／アルゴ注文
- 30 米国株式
- 31 先物・オプション
- 32 CFD

34ページ 注文約定
- 34 注文照会（国内株式）
- 35 注文照会（米国株式）
- 36 約定照会（国内株式・米国株式）
- 38 先物OP注文照会/先物OP約定照会
- 39 CFD注文照会/CFD約定照会
- 40 保有銘柄
- 44 損益確認

45ページ 投資情報
- 45 個別銘柄
- 49 先物OP市況情報
- 50 登録銘柄情報
- 52 ザラバ情報
- 54 武蔵
- 58 先物OP武蔵
- 59 ランキング
- 60 ヒートマップ
- 61 CFDトレーダー
- 63 業種別指数一覧
- 64 銘柄ナビ

68ページ チャート
- 68 画面の見方
- 69 指値確認／複数表示・一括変更／マイチャート機能／テクニカル指標
- 70 テクニカル指標一覧（トレンド系）
- 72 テクニカル指標一覧（オシレーター系）

74ページ ニュース・マイページ
- 74 6種のニュース活用
- 74 画面カスタマイズ

76ページ 操作方法ダイジェスト
- 76 国内株式
- 78 米国株式
- 80 先物・オプション
- 82 CFD

● 必要環境

OS ※1	Windows 10(32ビット版、64ビット版)、Windows11
ブラウザ	Internet Explorer11以降、Microsoft Edge
CPU	Intel Celeron 2.40GHz(2コア)以上
メモリー	4GB以上
HDD	5GB以上の空き容量
ディスプレイ ※2	SXGA(1280×1024ピクセル)以上
通信環境	光回線などの高速回線を推奨 Wi-Fiでなく、LANによる優先接続を推奨

● 推奨環境

OS ※1	Windows 10(32ビット版、64ビット版)、Windows11
ブラウザ	Internet Explorer11以降、Microsoft Edge
CPU	Intel i7-3770 3.40GHZ(4コア)以上
メモリー	8GB以上
HDD	5GB以上の空き容量
ディスプレイ ※2	フルHD(1920×1080ピクセル)以上
通信環境	光回線などの高速回線を推奨 Wi-Fiでなく、LANによる優先接続を推奨

※1 Macintoshに はMARKETSPEED for Macをご利用ください。
※2 画面解像度が推奨基準を満たしていないと、表示がずれる場合があります。
タッチパネルには対応しておりませんので、操作の際はマウスまたはキーボードをお使いください。

● マーケットスピード II の利用料

マーケットスピード II はすべて無料でご利用いただくことができます。
※ただし、利用申請が必要となります。詳細は本ガイドのP7をご覧ください。

● お取引いただける商品

◎国内株式
東証・CboePTS(Chi-X)・ジャパンネクストPTS(JNX)の銘柄が取引できます。名証はマーケットスピード II に対応しておりません。

◎国内株式信用取引(制度・一般)
制度信用、一般信用(無期限、短期、いちにち信用)をお取扱い。最低保証金30万円、委託保証金率は30%、最低維持率(追証ライン)は20%です。

◎米国株式
ニューヨーク証券取引所、NASDAQ市場に上場する米国株式、米国ETFの取引ができます。

◎米国株式信用取引
現物取引だけでなく、米国株式信用取引にも対応しています。委託保証金率は50%、最低維持率(追証ライン)は30%です。

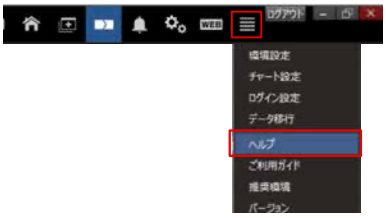
◎先物・オプション
<株価指数先物・オプション>
日経225先物、日経225ミニ先物、日経225マイクロ先物、グロース250先物、日経225オプション、日経225ミニオプション
<商品先物>
金、金ミニ、金スポット、白金、白金ミニ、白金スポット、銀、パラジウム、ゴム(RSS3号)、ゴム(TSR20号)、とうもろこし、大豆・小豆

● 詳細はオンラインヘルプで確認

下のQRコードから楽天証券HP内のオンラインヘルプで詳しい操作方法をご参照いただけます。

スマホで読み取り

マーケットスピードIIでは
以下のメニューから確認



● さらに詳しい使い方や活用法は動画で確認

下のQRコードから楽天証券HP内の動画コンテンツにて、詳しい操作方法をご参照いただけます。

スマホで読み取り

MARKETSPEED II だから

POINT 1 複数画面でリアルタイムに配信される投資情報を見逃さない
ひと目でわかる銘柄情報

マーケットスピード II はマルチウィンドウに対応。複数モニターで起動できることで、面倒な画面の切り替えも不要になり、効率的なトレードを実現します。武蔵で注文しながら、ランキングやザラバ情報を確認するといったマルチタスクも思いのままに操作できます。

マルチチャート機能も搭載

ザラバ情報6、7では登録銘柄をヒートマップ形式で表示。直感的に値動きを把握できます。ヒートマップ上で気になる銘柄があればワンクリックでチャートを確認できるので、情報を見逃しません。

1 銘柄をお気に入り登録 や ランキングなど、多彩なリストから選択

2 株式指標や為替など気になるマーケット情報を常にチェック

3 チャートやニュース、四季報など、その銘柄に関する多様な情報をタブ切替で簡単に確認可能

4 選択した銘柄の保有数量や平均取得単価、評価損益が一目でわかる

POINT 2 圧倒的な情報量と分析力で差がつく
進化したテクニカルチャート

生まれ変わったチャート機能は直感的な操作が可能になり、操作性が格段に向上。また、チャート上に多様な情報を表示することで投資判断をサポートします。テクニカル指標を多数搭載し、分析機能も大幅に強化しています。

テクニカル指標も大幅拡充

テクニカル指標は57種類へ大幅に増強。新たに対応する指数平滑移動平均線やモメンタムなども含め、最大5種類まで重ねて表示可能に。

MARKET SPEED 27種 ▶ MARKET SPEED II 57種

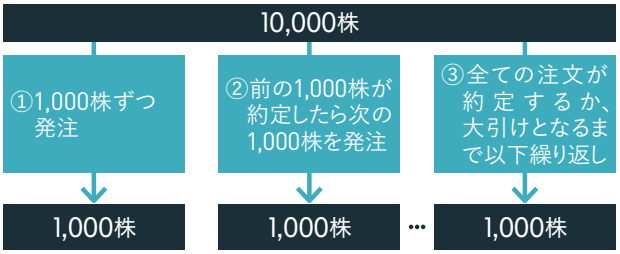
できる4つのポイント

POINT 3 自動発注でトレードを強力サポート アルゴ注文を搭載

アルゴ注文とは、事前に登録した条件に合致したときに自動で注文が発注される機能です。お客様の目的に応じて使い分けることで、これまで以上に取引の幅が広がります。
※対象商品は国内株式のみです

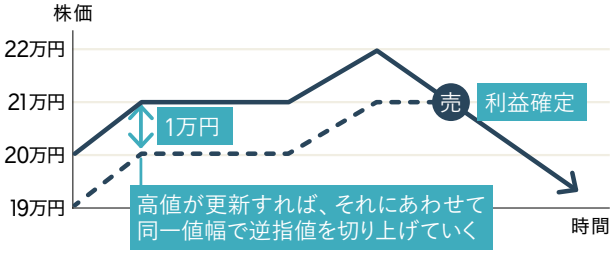
アイスバーグ注文

大量の注文でも、全量を見せずに小口に分割し、前の注文が約定したら逐次発注。



トレイリング注文

価格の変動に応じて逆指値を変更していくことで、損失を最小限に抑えつつ、利益を伸ばす。



スナイパー注文

指定の価格の注文が出るまでは発注せずに待機し、出たらすかさず発注。未約定分があれば取消して再度待機する。

買い注文で1,000円の指値を指定した場合

1,000円の売り注文が出るまで発注せずに待機

売	値段	買
200	1,002	待機
300	1,001	
	999	400
	998	300

1,000円の売り注文が出たらすかさず発注し、未約定分は取り消して再び待機

売	値段	買
300	1,001	発注
300	1,000	
	999	400
	998	300

リンク注文

最大10注文を事前にセット。前の注文が約定したら次の注文を発注。

リザーブ注文

年初来安値で買い注文発注など、株価や時間で発注タイミングを設定。

- 権利付最終日の引け間際に買い注文を発注
- 今は値幅制限外だが、年初来安値まで下がったら買い注文を発注

POINT 4 おなじみの機能はさらなる高みへ 「武蔵」をパワーアップ

デイトレーダーに圧倒的な人気を誇る板発注機能「武蔵」は、ワンクリックでの注文に対応し発注までの時間短縮を実現、逆指値注文も追加されました。発注・銘柄選択・投資情報の各機能が大幅強化され、先物OP用の「先物OP武蔵」も搭載。さらに、米国株式にも対応し、より幅広い取引が可能になりました。

米国株式にも対応。操作方法は同じなので、日米株式をスムーズに取引できます。

ご利用までの準備

マーケットスピード II を使い始めるには、事前にダウンロードやインストールなどを済ませておく必要があります。手続きは最初の一度だけなので、さっそく以下の手順で準備を済ませておきましょう。

導入まではたったの5ステップ

STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	STEP 5
ダウンロード&インストール	利用申請	ログイン	データ移行（マーケットスピードユーザーのみ）	設定の確認

STEP 1 ダウンロード & インストール

まずはお使いのパソコンでダウンロードとインストールを実行します。

1 楽天証券ホームページへ

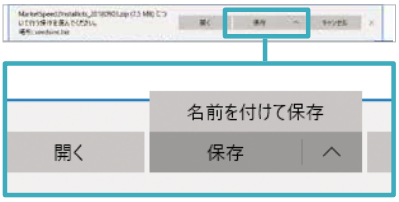
楽天証券ホームページより「ツール・アプリ」→「マーケットスピード II 」をクリックします。

2 ダウンロード開始

ページ移動したら、「今すぐダウンロードを開始する」をクリックします。

3 保存

「保存」ボタンの横にある「∧」をクリックして「名前をつけて保存」を選択すると、保存先を選択できます（※環境によって文言が違う場合があります）。



4 アイコンをクリック

保存先にインストールしたアイコンが作成されます。ダブルクリックをします。

5 インストール

インストールがスタートするので、「次へ」または「はい」をクリックします。セットアップ完了後、「完了」をクリックしてください。

6 デスクトップ

デスクトップ上にマーケットスピード II のショートカットアイコンが表示されます。ショートカットアイコンをダブルクリックすると、マーケットスピード II が起動します。

STEP 2 利用申請

インストール完了後、マーケットスピード II の利用申請を済ませておきます。

マーケットスピード II でログインするには、事前に利用申請を完了させておく必要があります。マーケットスピード IIを起動後、ログイン時に表示されるメッセージに沿って利用申請の手続きに進んでください。

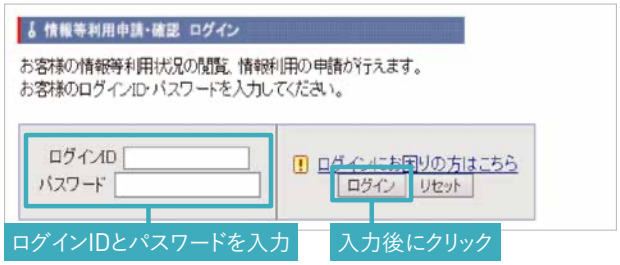
※すでにマーケットスピードを利用中のお客様は申請不要です。

1 メッセージ表示

ログイン時にマーケットスピード II の利用申請が済んでいないお客様は、以下のメッセージが表示されます。「はい」をクリックして進みます。

2 ログイン

ブラウザで利用申請ページが起動されたら、ログインIDとパスワードを入力して、「ログイン」をクリックしてください。遷移先の画面で、申込ボタンを押したら完了です。



STEP 3 ログインする

利用申請が完了したら、マーケットスピード II のホーム画面からログインします。

ログインID／パスワード入力でログインする場合

お客様のログインIDとログインパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。大文字と小文字に注意してご入力ください。

ソフトウェアキーボードでの入力も可能

キーボードのアイコンをクリックしていただくと、ソフトウェアキーボードでの入力も可能です。

楽天証券あんしんログインでログインする場合

楽天証券あんしんログインは、ログインIDとパスワードを使用せず、暗号化された認証情報を使ってスマートフォンの指紋・顔認証(Touch ID / Face ID)や端末の認証(パターン、PIN、パスワード)でログインする、セキュリティの高いログイン方法です。二経路・多要素認証によって、ネットワークからの不正アクセスを防ぎます。

事前に準備すること

・スマートフォンのご用意をしてください。Touch IDまたはFace IDの搭載されたiOS端末(iPhone)、またはAndroid OS 7.0以上の端末が必要となります。

・上記のスマートフォンに最新版のiSPEED for iPhone/Androidアプリをインストールし、一度ログインIDとパスワードでログインをしてください。(iSPEED for iPad, iSPEED FX, iSPEED 先物OPには対応していません)※既にiSPEEDをご利用中の場合は新たな端末やインストールは不要ですがiSPEEDのバージョンが古い場合はご利用になれませんので、最新版への更新をお願いします。

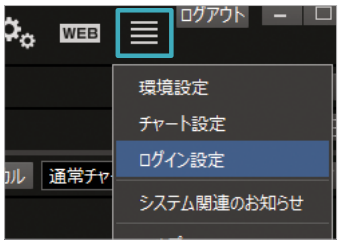
・iOS端末で指紋認証・顔認証の登録(Touch ID/Face IDの登録)、もしくはAndroid端末で指紋認証・顔認証・端末認証(パターン・PIN・パスワードのいずれか)を設定してください。

1 通知設定(iSPEED)

楽天証券あんしんログインでは、マーケットスピード II から連携するスマートフォン端末に通知が送られます。スマートフォン側で「バナーとして表示」をオンにしてご利用ください。

※iOS(iOS11)の場合。「設定>通知」より

2 ログイン設定(マーケットスピードII)



通常通りログインIDと パスワードでログインしていただき、画面右上メニュー内の「ログイン設定」より設定を行ってください。

3 ログイン設定完了後の次回以降のログイン画面(マーケットスピードII)

ログイン設定完了後、次回以降のログイン画面ではログインID・パスワードの入力は不要です。ログインするさいは楽天証券あんしんログインボタンを押下してください。スマートフォンに通知が来ますので通知を認証することでマーケットスピードIIへのログインができます。

STEP 4 マーケットスピードからデータを移行する

ここでは、マーケットスピードからマーケットスピード II へのデータ移行の方法を解説します。環境設定や登録銘柄(国内株式、米国株式)、マイページなど様々なデータを移行できます。なおデータ移行を行うには、マーケットスピードをVer.16.4以降にバージョンアップする必要があります。

※「Ver.16.4～16.73」の場合は国内株式のデータのみが引き継がれます。先物・オプションのデータも同時に引き継ぎたい場合は「Ver.16.8」以降にバージョンアップする必要があります。

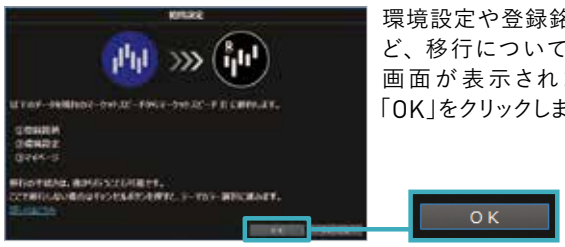
※米国株式に関連した登録銘柄、マイページ、環境設定を引き継ぎたい場合は「Ver 17.00以降」にバージョンアップする必要があります。

すでにマーケットスピードがインストールされている場合

1 ログイン

マーケットスピード II にログインします。案内画面が出てきたら「次へ」をクリックします。

2 確認



環境設定や登録銘柄など、移行について確認画面が表示されます。「OK」をクリックします。

3 カラー選択

マーケットスピード II のテーマカラーを選択します。従来のマーケットスピードの文字色等がお好みの場合は「オリジナル」を選択してください。選択後、マーケットスピード II が起動します。

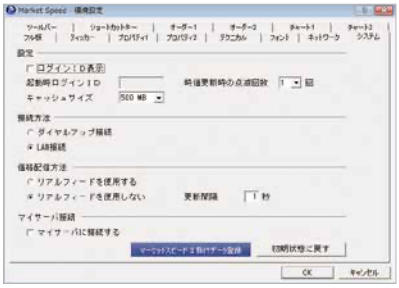
4 完了

データ移行が完了します。

他のPCのマーケットスピードのデータを移行する場合

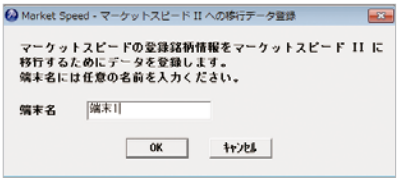
1 マーケットスピード起動

マーケットスピードを起動し、「環境設定」→「システム」内の画面にある「マーケットスピード II　移行データ登録」をクリックします。



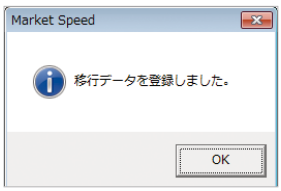
2 端末名登録

「OK」をクリックします。



3 データ登録

マーケットスピードのデータが、クラウドサーバに登録完了です。



4 マーケットスピード II にログイン

5 登録銘柄情報

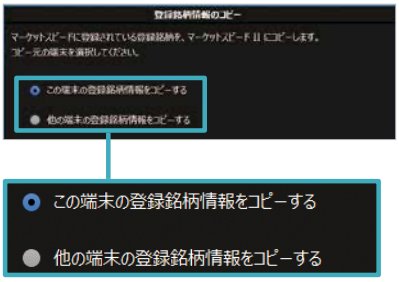
「投資情報」→「登録銘柄情報」→「銘柄編集」を開きます。

6 登録銘柄編集

登録銘柄編集画面の左下にある「MARKETSPEEDから移行する」をクリックします。

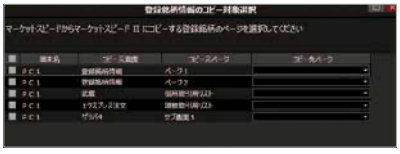
7 移行対象の選択

マーケットスピード II をインストールしているPCと同じPCの登録銘柄情報を移行するか、他のPCの登録銘柄情報を移行するかを選択できます。



8 移行ページ選択

他のPCからの移行を選択した場合は、移行元のPCやページを選択します。



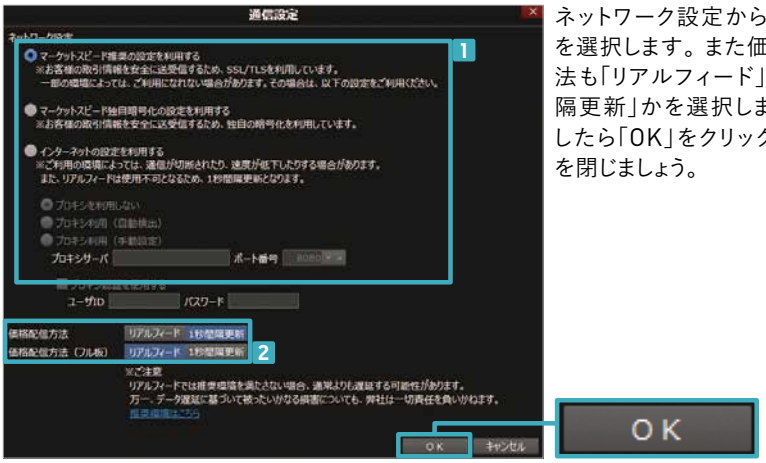
STEP 5 設定の確認

通信設定画面では、安定した通信を行うための各種ネットワークの設定を行います。初期状態ではマーケットスピード推奨の設定となっています。

1 ログイン画面

ログイン画面右下にある「通信設定」ボタンをクリックします。

2 通信設定



ネットワーク設定から利用方法を選択します。また価格配信方法も「リアルフィード」か「1秒間隔更新」かを選択します。完了したら「OK」をクリックして画面を閉じましょう。

1 ネットワーク設定

マーケットスピード推奨の設定を利用する	楽天証券が推奨している通信設定です。お客様の取引情報を安全に送受信するため、SSL/TLSを利用しています
マーケットスピード独自暗号化の設定を利用する	インターネットを利用したシステムでは個人情報・決済情報などの機密データを送受信する場合、40BitSSL／128BitSSLなどの暗号化規格が一般的に使用されております。マーケットスピードでは、これとは別に暗号化キーを毎日自動的に変更することによりセキュリティの強化を図る独自の暗号化処理を行っております
インターネットの設定を利用する	サーバと常時接続するトンネリングサーバを介して迂回接続することで間接的にマーケットスピードとのネットワークを確立します。利用環境によって、通信の切断や速度が低下する場合があります。価格配信方法は「1秒間隔更新」のみ利用可能です

2 価格配信方法

価格配信について、「リアルフィード」と「1秒間隔更新」のどちらかを選択します。リアルフィードでは、現在値などの時価情報が更新されるたびに配信されるため、最新の情報を得ることができます。

各種設定を確認する

環境設定画面では、あらかじめ注文画面の初期条件を登録できるほか、メニューのショートカット、文字サイズの変更など様々な設定が可能です。取引を始める前に、お好みの設定に変更しましょう。

1 環境設定を選択

ログイン後、ページ右上の「環境設定」ボタンをクリックします。

2 環境設定

左側のメニューより設定したい項目を選択します。設定完了後は「適用」をクリックします。全ての項目の登録が完了したら「OK」をクリックして画面を閉じましょう。

※変更がある状態で「×ボタン」や「キャンセル」をクリックすると、変更点を保存していないことが通知されます。

全体設定の設定項目

☑ 登録銘柄、ランキングなど銘柄が上下一覧表示された画面におけるダブルクリック時の動作を設定できます。

☑ メインウィンドウを最小化/元に戻すときにサブウィンドウの動きも連動させるかどうか選択できます。

● 全体

一覧画面の銘柄ダブルクリック時の動作

登録銘柄、ランキングなど銘柄が上下一覧表示された画面において、銘柄に関する情報をどのように表示するかを選択できます。

一覧画面の銘柄ダブルクリック時の指定画面

「遷移」は画面自体を「個別銘柄」、「チャート」、「ニュース」に切り替えます。「ポップアップ」は「発注パネル」、「チャート」、「市況」、「ニュース」を別窓で表示します。

株数の整数表示

銘柄を一覧表示する画面などの一部画面で、不要な小数を省き整数で現在値などを表示します。

整数表示しない

整数表示する

メイン画面と子画面の動き

サブウィンドウ起動時、メインウィンドウとサブウィンドウのいずれかを最小化したときに同時にもう一方の画面を最小化するかしないかを選択できます。

● 起動画面

ログイン時に表示する画面

ログインしてすぐに表示する画面を選択できます。デフォルトでは、前回終了時の画面を表示するようになっていますが、指定することもできます。

注文・約定1の設定項目

☑ 注文に関して、自分の使いやすいようにカスタマイズ（あらかじめ設定）できます。

☑ 注文・約定1では、口座区分や売買区分、クイック発注、確認画面の省略等の設定ができます。

● デフォルト設定

口座区分

選択した口座区分（特定口座／一般口座）が、「現物買い注文」「信用新規注文」「信用現引注文」「信用現渡注文」画面で初期表示されます。
「口座区分を限定する」にチェックをした場合、注文画面には選択した口座区分が自動的に表示されます。また、それ以外の口座区分には変更できません。1種の口座でのみ、お取引をされる場合に便利です。口座区分を変更する場合は、「口座区分を限定する」のチェックをはずしてください。

信用区分

選択した信用区分（制度信用（6ヶ月）／一般信用（無期限）／一般信用（14日）／一般信用（1日））が、「信用新規注文」画面で初期表示されます。

信用新規売買区分

国内株式と米国株式それぞれについて、オプションボタンで選択した売買区分（買建／売建）が、「信用新規注文」画面で初期表示されます。

先物OP個別新規売買区分

オプションボタンで選択した売買区分（買建／売建）が、「先物OP個別新規注文」画面で初期表示されます。

CFD新規売買区分

「CFD新規注文」画面における「売買」区分の初期設定を指定することができます。売買区分は「買建」と「売建」から選択することができます。

セット注文初期表示（いちにち信用のみ）

オプションボタンで「OFF」を選択すると、いちにち信用新規注文時に、セット注文画面を非表示にできます。

NISA余力表示

注文画面上にNISAの買付余力を表示するかしないか選択できます。

SOR注文

注文画面を表示したときに、SOR注文がデフォルトで有効になっているか無効になっているかを選択することができます。

米国株式 決済方法

選択した決済方法が米国株式の注文画面で初期表示されます。外貨決済の場合「米ドル建てMMF(GS)含む」の指定もできます。

CFDスリッページ設定

各注文画面における銘柄ごとの「スリッページ」の初期設定を指定することができます。

CFD両建てモード

「CFDスピード注文」画面における「両建てモード」の初期設定を指定することができます。

● クイック発注

チェックを入れると、「板情報」をクリックすると即座に注文画面が起動する「クイック発注」が利用できます。各商品で利用するかどうかを選択できます。

起動クリック数

クイック発注を起動するクリック数を、ダブルクリック、シングルクリックから選択できます。

起動する注文画面

国内株式で有効とした場合に、現物取引と信用取引のとぢらの注文画面表示するか選択できます。

● 確認画面

注文確認画面

注文確認画面を表示の有無を選択できます。「表示しない」を選択した場合、注文画面下部の「確認画面を省略」にデフォルトでチェックが入ります。

取引注意喚起画面

注文時に取引規制などの取引注意喚起の表示/非表示を選択できます。

注文受付後のメッセージ

通常注文、スーパークイック注文で注文後のメッセージの表示/非表示を選択できます。

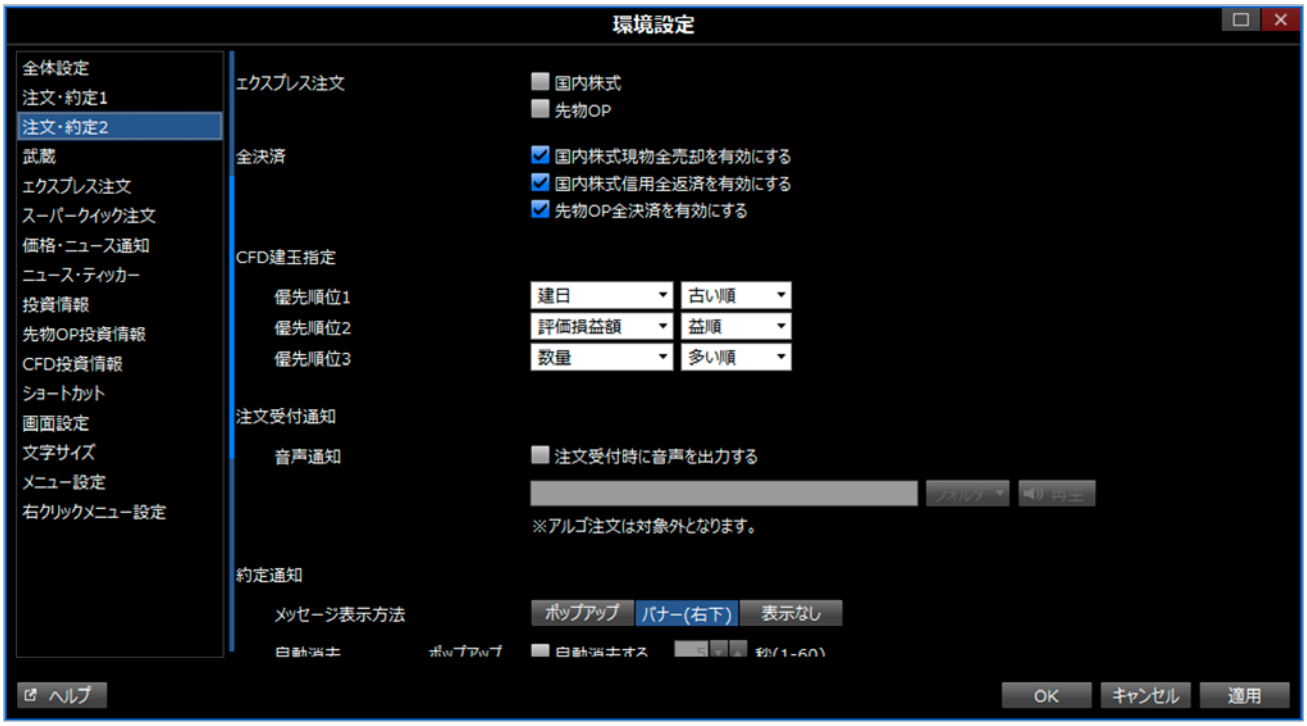
発注パネル

注文後も発注パネルを表示し続けるかどうかを選択できます。

注文・約定2の設定項目

☑ 注文に関して、自分の使いやすいようにカスタマイズ（あらかじめ設定）できます。

☑ 取引暗証番号省略や全決済、各種通知の設定ができます。



● 1注文の上限金額

「有効にする」にチェックを入れ、金額を入力することで、概算約定代金が設定金額を超える新規注文を防止することができます。金額は、現物買いであれば1万円から10億円、信用新規であれば1万円から10億円の範囲で1万円単位で設定できます。なお、米国株式の場合は現物買い注文、信用新規注文ともに100ドル～989万ドルの範囲で上限金額を設定できます。

● 取引暗証番号

取引暗証番号を「省略する」にチェックを入れ、取引暗証番号を入力していただくと、注文の都度、暗証番号の入力を省略できスピーディーに発注できます。

● エクスプレス注文

エクスプレス注文の発注機能を有効にするか選択できます。エクスプレス注文をご利用いただくには、「利用許諾条項」への事前の同意が必要です。

● 全決済

保有商品を一括で決済する全決済機能を有効にするかどうか設定できます。設定は現物/信用/先物OPのそれぞれで可能で、チェックを外すことで誤操作を防止できます。

● CFD建玉指定

建玉を返済する順番を事前に設定することができます。建玉指定の優先順位は、「建日」、「評価損益額」、「数量」の3つの項目から設定することができます。

● 注文受付通知

音声通知

注文受付時に音声でお知らせすることができます。希望の音声を選択する場合は「注文受付時に音声を出力する」にチェックをいれ、フォルダから音声を選択してください。

● 約定通知

メッセージ表示方法

約定通知メッセージの表示方法を「ポップアップ」、「バナー」、もしくは「表示なし」から選択できます。「ポップアップ」を選択した場合、約定通知メッセージは画面中央に表示され、「バナー」を選択した場合は画面右下に表示されます。

自動消去

約定通知メッセージを、指定した時間で自動消去するよう設定することができます。1秒～60秒の中で希望の時間を設定してください。

音声通知

約定時に音声でお知らせすることができます。希望の音声を選択する場合は「約定時に音声を出力する」にチェックをいれ、フォルダから音声を選択してください。

● アルゴ注文執行通知

メッセージ表示方法

アルゴ注文が約定した際の通知メッセージの表示方法を「ポップアップ」、「バナー」、「表示なし」から選択できます。

自動消去

アルゴ注文の約定通知メッセージを、指定した時間で自動消去するよう設定することができます。1秒～60秒の中で希望の時間を設定してください。

音声通知

アルゴ注文の約定時に音声でお知らせすることができます。また、希望の音声を選択する場合は「約定時に音声を出力する」にチェックをいれ、フォルダから音声を選択してください。

価格・ニュース通知の設定項目

☑ 銘柄の価格やニュースの通知方法を設定できます。

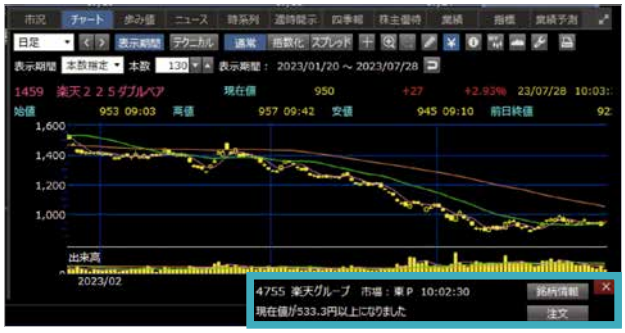
● 価格通知

メッセージ表示方法

価格通知メッセージの表示方法を「ポップアップ」、「バナー」、もしくは「表示なし」から選択できます。

ポップアップ選択時

バナー選択時



自動消去

価格通知メッセージを、指定した時間で自動消去するよう設定することができます。1秒～60秒の中で希望の時間を設定してください。

音声通知

価格の通知がある際に音声でお知らせすることができます。また、希望の音声を選択する場合は「通知時に音声を出力する」にチェックをいれ、フォルダから音声を選択してください。

ニュース・ティッカーの設定項目

☑ ニュースやティッカーの表示について使いやすいようにカスタマイズすることができます。

☑ ティッカーで表示するニュースを選択することができます。

☑ ティッカーの表示位置を見やすい位置に変更することができます。

● ニュース

関連銘柄クリック時の動作

ニュースをクリックしたときの動作を選択できます。画面遷移か、ポップアップでその銘柄の情報を表示することができます。

関連銘柄クリック時の設定画面

ニュース内の関連銘柄をクリックしたときに遷移する画面を選択することができます。個別銘柄画面、チャート画面、ニュース画面から選択することができます。

● ティッカー

表示項目

ティッカーで表示する項目と表示する位置を選択することができます。「登録銘柄」もしくは「お気に入り」に登録されている銘柄に関連するニュースをティッカーで表示します。また、ニュースについても国内株式や米国株式、為替/金利などの中から選択することができます。

表示位置

ティッカーの表示位置を、画面上部もしくは画面下部から選択することができます。

起動時に表示

マーケットスピード II を起動したときにティッカーを表示するかしないかを選択することができます。

投資情報の設定項目

☑ 銘柄セレクターの表示順や板の価格帯別出来高の表示などをカスタマイズできます。
☑ 投資情報関連画面に関する各種設定ができます。

● 銘柄セレクター

表示順

国内株式、米国株式それぞれついて、銘柄セレクターの表示順を変更することができます。タブ名をクリックした後、

を利用して切り替えます。

株式同時検索

「国内株式・米国株式を同時に検索する」にチェックを入れると、国内株式、米国株式を区別することなく同時に銘柄を検索できます。

● 板

価格帯別出来高

価格帯別出来高を板に表示するかどうかを選択することができます。また、色やカンマの表示についても自分好みに選択できます。

カンマ(,)表示

気配価格にカンマ表示する、しないを指定できます。

● 歩み値

取得本数

歩み値の取得本数を「1000」「2000」「5000」「無制限」から選択できます。

● プライスボード

前日比率による パネル色指定

プライスボードに表示する色を選択することができます。また、前日比率の値も自分の希望通りに変更できます。

● ザラバ情報

パネルサイズ

ザラバ情報のパネルサイズを選択することができます。

先物OP投資情報の設定項目

☑ 先物OPについて、銘柄セレクターや銘柄プルダウンの表示順がカスタマイズできます。
☑ オプションの一覧表や限月の表示設定ができます。

● 銘柄セレクター・銘柄プルダウン

表示順

銘柄セレクターや銘柄検索時のプルダウンの表示順を変更することができます。タブ名をクリックした後、

を利用して並び替えます。

● 先物OP市況

オプションの一覧表で権利行使価格の高い順/安い順で表示するか、コール・プットの順/プット・コールの順で表示するか切替できます。

● オプション価格計算

オプションの理論価格のシミュレーションに利用する項目の設定ができます。

● 表示限月の絞込設定

「225先物全て」を選択した場合の表示限月やWeeklyオプションを検索結果に表示するか切替できます。

CFD投資情報の設定項目

☑ 銘柄セレクターの表示順をカスタマイズできます。

● 銘柄セレクター

CFDの銘柄セレクターに表示するタブの並び替えが可能です。選択したタブを上下の矢印ボタンで希望の位置に移動させてください。

ショートカットの設定項目

☑ マーケットスピード II 内で使用できるショートカットの割り当てを自由に決めることができます。

● 画面起動ショートカット

「設定」ボタンをクリックすることで、どのキーでどの画面を起動するかを設定できます。画面によっては、「画面遷移(メインウィンドウの切替)」、「サブウィンドウ起動(別画面での起動)」が選択可能です。

画面設定の設定項目

☑ 画面に関する各種設定ができます。

☑ カラー設定やメインウィンドウのアイコン表示をカスタマイズできます。

● エフェクト設定

現在値表示色設定

直近約定値、または前日終値との比較で現在値の表示色を変化させるか選択できます。変化させる場合は、表示色が文字色を、反転色が背景色を示し、エフェクトパターン設定でお好みの表示方法が選択可能です。

● 共通

カラー

マーケットスピード II の画面全体のカラーを選択できます。

お客様名表示

お名前を表示するかしないか選択することができます。

文字サイズの設定項目

☑ 画面の文字サイズをお好みの大きさに変更することができます。

☑ 画面ごとに文字サイズを指定することができます。

● 市況・ザラバ情報の文字サイズ設定

市況やザラバ情報の文字サイズを好みの大きさに変更することができます。

● 画面別文字サイズ指定

一括指定

一括選択で文字のサイズを変更することができます。

個別指定

画面ごとに文字サイズを指定することができます。

メニュー設定

☑ 画面上部にあるツールアイコンの表示項目や並び順が編集できます。

☑ メニューの表示形式を「縦型」、「縦横型」から選ぶことができます。

● ツールアイコン

画面上部にあるツールアイコンの表示内容や並び順を編集します。表示したいアイコンにチェックを入れます。アイコンの順序を変更したい場合には並び替えたいアイコンを選択し「並び替え」ボタンをクリックするか、並び替えたいドラッグ＆ドロップしてください。

● メニュー

「表示形式」で表示させたい形式にチェックを入れます。「縦型」は画面左端にグローバルメニュー、ローカルメニューを表示します。「縦横型」は画面上端にグローバルメニュー、左端にローカルメニューを表示します。

● グローバルメニュー・注文メニュー

グローバルメニュー、または注文メニュー（画面右上の「注文」ボタンまたは右クリックから起動）で表示するメニューにチェックを入れます。メニューの順序変更は、メニューを選択し「並び替え」ボタンをクリックするか、メニューをドラッグ＆ドロップしてください。

● 簡単メニュー切替

「カスタム」はグローバルメニュー、注文メニューの詳細な表示設定が可能です。「簡単メニュー」は商品種類を選択するだけで必要なメニューのみを表示します。

右クリックメニュー設定

☑ 右クリックで表示されるメニュー設定の表示項目や並び順が編集できます。

● ブロック表示順序

右クリックメニューのブロック単位での表示の有無や、表示順を編集できます。表示したいメニューにチェックを入れます。

● チャートブロック・銘柄登録ブロック

チャートブロック、または銘柄登録ブロックで表示させたいメニューにチェックを入れます。

● 注文ブロック・グローバルメニューブロック

注文ブロック、またはグローバルメニューブロックで表示させたいメニューにチェックを入れます。グローバルメニューブロックは大メニュー毎ではなく、総合サマリー画面、チャート画面などの中メニューを直接表示することもできます。

画面の見方

マーケットスピード II では市況や個別銘柄のチャートなど、一括で多くの情報量を表示できます。ここでは、ホーム画面の基本的な見方から個別銘柄のカスタマイズ方法まで、快適に取引するためのポイントを紹介します。

ホーム画面の見方

ホーム画面では、現在の資産状況やマーケット情報のほか、楽天証券からのお知らせを確認できます。マーケットスピード II にログインされた際は、毎回こちらをご確認ください。

● 起動はココから

画面右上にある家マークをクリックすると、ホーム画面が起動します。

1 資産合計

資産合計

保有商品の評価額合計、預り金合計が表示されます。

評価損益

保有資産について前日比での評価損益を表示します。

余力

国内株式、米国株式の現物買付可能額、信用新規建余力が表示されます。

入金・出金

入出金を行えます。ブラウザでリアルタイム入金画面、出金指示画面が起動します。

2 資産状況

保有資産

保有商品、預り金合計、信用評価損益前日比などを表示します。

4 お知らせ・イベント関連情報

楽天証券からの重要なお知らせや決算銘柄情報、経済カレンダー、IPOや立会外分売などの各種イベント関連情報をチェックできます。

3 マーケット

マーケット

日経225など各種株価指数を表示します。なお設定ボタン⚙から表示する指数を選択できます。

総合サマリーの見方

「総合」内にある「総合サマリー」では、お客様の保有資産や時価評価額を確認できます。現在の資産状況をざっとチェックしたいときにぜひご活用ください。

※当日のお取引分には手数料や税金が考慮されておりません。考慮後の金額は、お取引の翌朝メンテナンス後(朝6:00頃)にご確認ください。

1 合計

当日の時価評価額※や前日比の資産状況の推移などをチェックできます。右下の「更新」ボタンをクリックするとリアルタイムで現在の状況を確認できます。

まずは更新

※8:00～9:00【現物】売り気配の値段、【信用】前日終値で計算します。

2 内訳

商品種類別に保有状況をチェックできます。それぞれの時価評価額(円)や前日比率もここで確認できます。なお列名をクリックするとその項目順に並び替えできます。

3 余力・保証金率

ご注文を行う際にお使いいただける余力の情報を確認できます。

国内株式 米国株式 ボタンでそれぞれの商品用に切替えます。

国内株式選択時

現物買付可能額	楽天証券買付可能額と楽天銀行利用可能額との合計額で、国内株式(現物取引)の余力です。
楽天証券買付可能額	楽天証券内の預り金で国内株式(現物取引)の買付に利用できる金額です。
楽天銀行利用可能額	楽天銀行普通預金口座にある残高です。マネーブリッジを利用している場合に表示されます。
NISA買付余力	当日のNISA口座買付可能額が表示されます。
信用新規建余力	信用取引の新規建て可能な余力が表示されます。
保証金率	信用取引の保証金率が表示されます。
保証金率(リアル)	リアルタイムの株価等を反映した保証金率が表示されます。
保証金率(本日の追証判定用)	本日の追証判定用の保証金率が表示されます。

米国株式選択時

現物買付可能額(円貨)	楽天証券買付可能額(円貨)と楽天銀行利用可能額の合計額で、米国株式(現物取引)の円貨決済時の買付に利用できる金額です。
楽天証券買付可能額(円貨)	楽天証券内の預り金で米国株式(現物取引)の円貨決済時の買付に利用できる金額です。
楽天銀行利用可能額	楽天銀行普通預金口座にある残高です。マネーブリッジを利用している場合に表示されます。
現物買付可能額(外貨)	米国株式(現物取引)の外貨決済時の買付に利用できる金額です。
NISA買付余力	当日のNISA口座買付可能額が表示されます。
信用新規建余力	信用取引の新規建て可能な余力が表示されます。
保証金率	信用取引の保証金が表示されます。
保証金(リアル)	リアルタイムの株価等を反映した保証金率が表示されます。
保証金率(本日の追証判定用)	本日の追証判定用の保証金率が表示されます。

4 その他の「総合」カテゴリ

ポートフォリオ	保有銘柄を任意のポートフォリオに振り分け、各ポートフォリオごとの時価評価額，リターンをリアルタイムで参照することができます。
入出金	入出金の操作や履歴の参照ができます。
追証・不足金	信用取引に関する追証や不足金の発生金額や解消状況が確認できます。
信用情報	信用取引に関する委託保証金率、信用新規建余力などが確認できます。
保証金・代用振替	保証金振替や代用振替の指示を行うことができます。
証拠金振替指示	先物・オプションとCFDに関する証拠金や追証の情報が確認できます。また、預り金から証拠金、または証拠金から預り金への振替を行うことができます。
証拠金シミュレーション	先物・オプションの新規取引に必要な証拠金が事前に計算できます。
税金関連	特定口座、一般口座の損益がそれぞれ確認できます。

先物・オプション取引の証拠金の確認や振替をする

● 証拠金振替指示

「証拠金振替指示」では、先物・オプション取引の証拠金維持率や証拠金情報が確認できます。また、預り金と証拠金間の振替や、追証の発生状況・履歴を確認することもできます。

1 証拠金情報

受入証拠金・必要証拠金の内訳がそれぞれ表示されます。表示には「当日」と「前取引日」の2種類があり上部のボタンで切り替えることが可能です。「前取引日」は前取引日の15時45分時点の情報が表示されます。また、更新ボタンをクリックすることで表示情報が最新の値に更新されます。
表示項目の詳細については、オンラインヘルプ(https://marketspeed.jp/ms2/onlinehelp/ohm_004/ohm_004_08.html)を参照ください。

3 証拠金振替

預り金から証拠金へ、もしくは証拠金から預り金への振替が可能です。どちらへ振り替えるのかを選択し、振替可能額の範囲内で金額を入力して「確認」ボタンをクリックしてください。
「確認」ボタンをクリックすると、確認画面が表示されますので取引暗証番号を入力し、「執行」ボタンをクリックすると振替が行われます。

4 追証履歴

現在発生中の追証、過去に発生した追証が確認できます。表示範囲は過去5営業日か過去5件か選択が可能です。過去5件の場合、直近100営業日以内に発生した追証を表示します。追証が発生した場合、「追証状態」が未解消となります。「発生日」、「入金期限」、「追証金額」をご確認ください。
期限までに証拠金への振替が行われ、「追証未解消金額」が0円になると、「追証状態」が「解消」に変わります。

2 取引所証拠金(1枚あたり)

日本証券クリアリング機構(JSCC)で公表された1枚あたりの取引所証拠金を確認することができます。銘柄を選択することで銘柄変更が可能です。株価指数先物銘柄は毎営業日の日中立会終了後に見直し、商品先物銘柄は毎週第1営業日の日中立会終了後に定期見直しが行われます。

取引所証拠金(買い)	買い建て時に必要な1枚当たりの証拠金額です。
取引所証拠金(買い)	売り建て時に必要な1枚当たりの証拠金額です。
当社掛け目	建玉する際に取引所証拠金額に対して乗じる当社独自の掛け目です。

※複数銘柄保有の際は、VaR方式にて計算された証拠金額となります。証拠金シミュレーション画面をご利用ください。

⚠ 追証に関する注意点

・追証の解消には入金だけでなく、証拠金への振替も必要となりますので必ず振替を行ってください
・追証履歴の「追証状態」は証拠金への振替が行われた場合のみ「解消」と表示され、お客様ご自身で建玉を決済した場合は「全建玉決済」、期限までに入金がなく当社による強制決済が行われた場合は「強制決済」と表示されますのでご注意ください

先物・オプション取引に必要な証拠金額をシミュレーションする

● 証拠金シミュレーション

「証拠金シミュレーション」では、先物・オプション取引に必要な証拠金額をシミュレーションすることができます。任意の取引をシミュレーションするほか、保有の建玉をシミュレーション結果に反映させることもできます。

1 ポジション入力

シミュレーションしたい銘柄、限月、売買、数量が指定できます(オプションの場合はコール/プット、権利行使価格も指定)。条件指定後に「仮建玉に追加」をクリックすると建玉一覧に反映されます。
また、「建玉反映」で保有している建玉を反映させることもできます。

3 シミュレーション結果

ポジション入力の内容に基づいてシミュレーションされた結果が表示されます。
表示項目の詳細については、オンラインヘルプ(https://marketspeed.jp/ms2/onlinehelp/ohm_004/ohm_004_09.html)を参照ください。

4 取引所証拠金(1枚あたり)

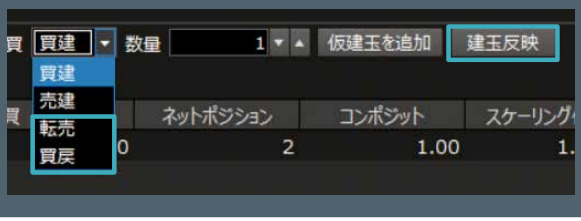
日本証券クリアリング機構(JSCC)で公表された1枚あたりの取引所証拠金を確認することができます。銘柄を選択することで銘柄変更が可能です。各情報の内容についてはP.20を参照ください。

2 建玉一覧

銘柄ごとに買建、売建の数量が表示されます。
ポジション入力で「買建」、「売建」を選択すると、「買」、「売」が指定した数量分それぞれ増えます。決済をシミュレーションする場合は「転売」、「買戻」を選択すると、「買」、「売」が指定した数量分それぞれ減ります。「削除」をクリックすると一覧から建玉を削除できます。
数量以外にもネットポジション(買建数量−売建数量)、コンポジットデルタ(当該銘柄の各シナリオにおける理論価格から計算したデルタ・ウェイト(各シナリオの発生確率)で加重平均した数値)、デルタスケーリング係数(1単位の取引規模の差異を調整するための数値)が表示されます。

ココもPOINT　保有建玉の決済もシミュレーションできます

すでに保有している先物・オプション建玉がある場合は、「建玉反映」でシミュレーションの対象に保有の建玉を反映できます。決済したい銘柄をポジション入力で選択し、「取引」で「転売」または「買戻」を指定します。なお、いずれも建玉を超える数量は指定できません。



メインウィンドウの見方

マーケットスピード Ⅱ の基本操作画面は共通しています。ここでは、それぞれどのような役割を持つのか細かくチェックしていきましょう。

1 クイックアクセスメニュー

右上の20をクリックすると現在開いているメニューを配置（ショートカット登録）できます。

2 マーケットスピード起動

マーケットスピードを起動します。

3 マーケットスピードFX起動

マーケットスピードFXが起動します。

4 お知らせ起動

お知らせ画面を起動します。

5 ホーム

ホーム画面をポップアップ表示します。

6 サブウィンドウ起動

サムネイルまたはリストからお好みの画面を新しいウィンドウで起動します。

7 ティッカー表示

ティッカーの表示/非表示を切り替えます。

8 株価・ニュース通知

株価通知、ニュース通知のいずれかが発生すると画面上に通知します。

9 環境設定

注文画面や表示色、文字サイズなどをカスタマイズできます。

10 ウェブページ

楽天証券のウェブメニューを起動します。

11 その他メニュー

セコムあんしんログインの設定やオンラインヘルプを表示します。

12 ログアウト

ログアウトして、ログイン画面に戻ります。

13 グローバルメニュー

グローバルメニューの一覧です。クリックするとローカルメニューの一覧を表示できます。

14 メニュー名

起動しているメニュー名です。

15 メインウィンドウ

起動しているメニューの内容が表示されます。

16 ティッカー

マーケット情報、ニュースを指定してティッカーを表示できます。表示位置は環境設定にて、メインウィンドウ上下から選択できます。

17 グローバルメニュー開閉

グローバルメニュー開閉ボタンです。

18 接続ステータス

ログイン画面の右下にある「通信設定」で選択した価格配信方法が表示されます。
リアルフィード=Real-time
1秒間隔更新=Interval

19 銘柄同期グループ

その画面の同期グループを表示します。同期グループが一致していると、各画面で銘柄情報が連携されます。同期グループは10種類まで設定可能です。

20 ショートカット登録

クリックすると、現在開いている画面を1に登録できます。

21 別ウィンドウ起動

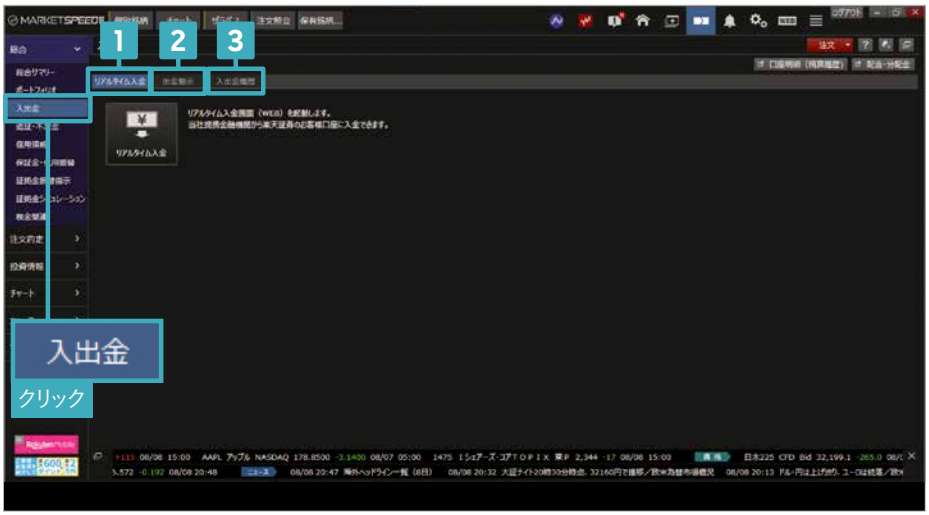
をクリックすると別ウィンドウで画面を開けます。

入金・出金

マーケットスピード II ではリアルタイム入金や出金のほか、お客様の入出金履歴や口座明細も確認できます。取引しながら資産管理も簡単に行えるので、トレーディングの操作もグッと効率的になります。

入出金画面の見方

● 入出金・振替



「総合」内の「入出金」をクリックすると、「リアルタイム入金」などのメニューがメインウィンドウに表示されます。

1 リアルタイム入金

振込時の手数料が無料で、振込後すぐに楽天証券の預り金へ反映される入金方法です。リアルタイム入金には、事前に提携金融機関でのネットバンキングの契約が必要です。

2 出金指示

15時50分までの出金指示で翌営業日以降の指定日にご登録の出金先指定口座にお振込します。口座連携サービス「マネーブリッジ」がご登録済みなら原則当日中に楽天銀行の普通預金口座にお振込する「らくらく出金」が便利です。

3 入出金履歴

入出金履歴を確認できます。履歴はCSV形式でデータ保存が可能です。

注文方法

マーケットスピード II での売買注文は、「チャート」や「投資情報」など多くの画面から発注が可能です。また逆指値注文やセット注文のほか、アルゴ注文にも対応し、チャンスを逃さず便利に取引することができます。ぜひ色々な注文方法を活用してみましょう。

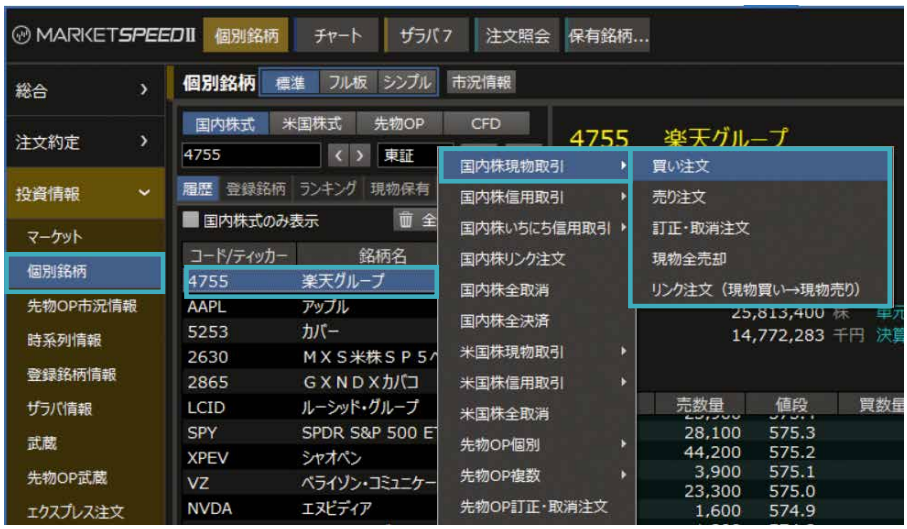
国内株式　米国株式　先物OP　CFD

基本的な操作方法

売買注文の画面は主に左の2つの方法から呼び出すことができます。どちらの方法も多くのページで活用できるので、注文したいときにスピーディーに操作できます。

方法1 右クリックから注文

「投資情報」カテゴリ内の「個別銘柄」や「ザラバ情報」などで銘柄の上でカーソルを移動し、右クリックをすると注文のポップアップウィンドウが表示されます。



訂正や取消を行いたいときは……

銘柄の上にカーソルを置いて右クリックし、「訂正・取消注文」を選択すれば、別ウィンドウに「訂正注文画面」が表示されます。ここで訂正したい項目を修正し、「確認」ボタンをクリックして暗証番号を入力し、「執行」をクリックします。

方法2 画面右上から注文

画面右上に常時表示されている「注文」ボタンをクリックすれば、注文画面が表示されます。

ココもPOINT

保有銘柄をまとめて売却できます！

「現物全売却」を選択することで、すべての現物保有銘柄を一度に売却することが可能です。相場急変時の緊急回避手段としても活用できます。
「現物全売却」を選択すると、確認画面が表示されますので、注文件数や概算損益を確認し、暗証番号を入力して、「執行」をクリックします。

国内株式を発注する

買い注文

注文を出したい銘柄の上にカーソルを置き、右クリック→「現物取引」→「買い注文」をクリックすれば、下の画面が表示されます。

売り注文

買い注文と同様に「売り注文」を右クリックや画面右上の「注文」ボタンからクリックすると、「保有銘柄一覧」が表示されます。1で売り注文を発注したい銘柄を選択し、右の2で条件を入力します。誤りがなければ3で確認をクリックします。その後売り注文確認の画面で内容を確認し、4で取引暗記番号を入力し、執行をクリックします。

指値と逆指値注文を使い分ける

逆指値注文とは、指値注文とは逆の考えで、「価格が上昇し、指定した値段以上になれば買い」「価格が下落し、指定した値段以下になれば売り」といったことができます。逆指値を上手に使うと、投資リスクを最小限に抑えたり、指定した一定の条件内で利益を確保したりすることもできます。

● 注文方法を選択

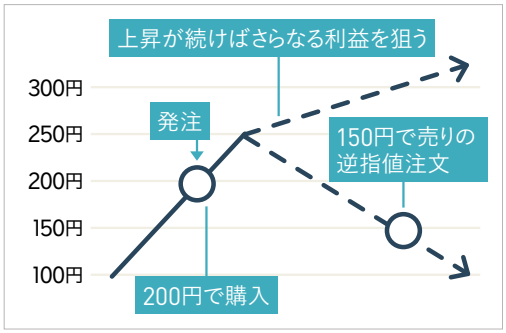
注文画面の中央に表示されている注文の種類から指値(通常注文)や逆指値注文は選択できます。

実例 「逆指値注文」を使いこなす3つのシチュエーション

ストップロス(損失限定)

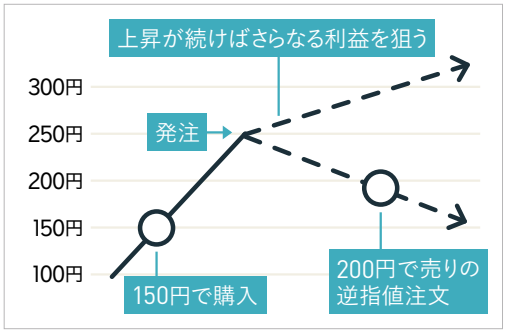
相場が思惑と反対に動いた場合、指定した価格で損失の拡大を防ぎたいときに有効な方法です。たとえば200円で購入した銘柄の値下がりリスクに備え、「150円に値下がりしたら売り」の逆指値注文を行います。指定した価格になるまで発注されません。

※市場価格と指値は数円の幅をとると約定しやすくなります。



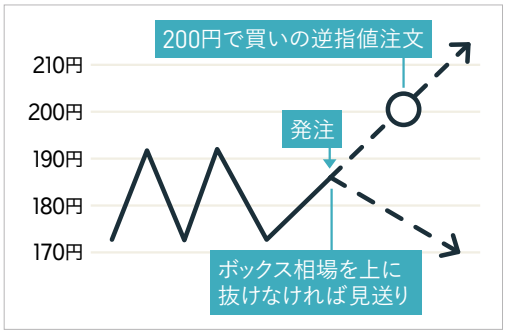
利益確定

相場が上昇し、ふくらんだ利益を一旦決済することで実現益として確定する方法です。たとえば150円で購入した銘柄が250円に値上がりしたとき、最低限の利益確保を考え「200円に値下がりしたら売りたい」時に逆指値注文を行います。



トレンドフォロー(利益追求)

相場の流れに乗って利益を追求する方法です。たとえば株価が170円から190円の間でもみあっているとき、200円の壁を突破すれば本格的な株価上昇局面だと考え「200円に値上がりしたら買いたい」という時に逆指値注文を行います。



セット注文で注文を効率化

「セット注文」とは、買い注文と同時に同じ銘柄の売り注文を予約できる注文方法です。買い注文が約定すると、自動的に売り注文が発注されます。

こんな人に便利

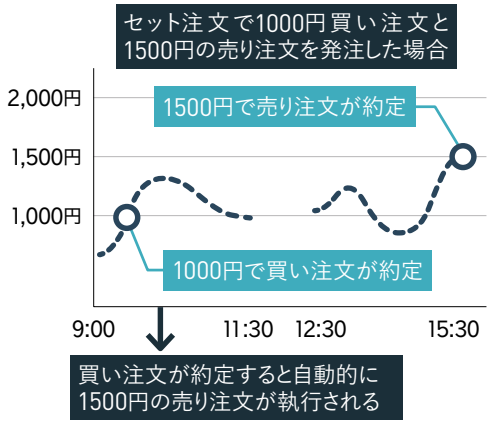
・投資にあまり時間をかけることができないお客様は注文に有効期限が定められる「期間指定」(最長30営業日まで)が便利です

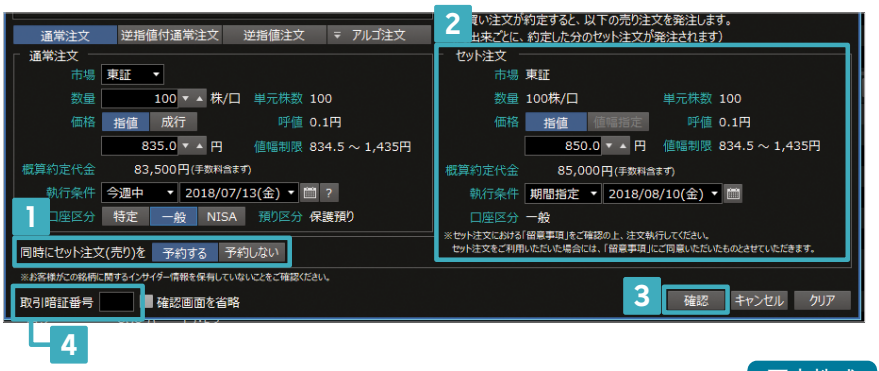
・買い注文と同時に売り注文も指値で注文し、リターンを事前に計画できます

・デイトレード中心のお客様は、セット注文で返済注文の発注忘れを防止できます

※セット注文は通常注文のみ対応しています。逆指値注文を設定したい場合は、リンク注文(P26)を活用ください。

セット注文のイメージ

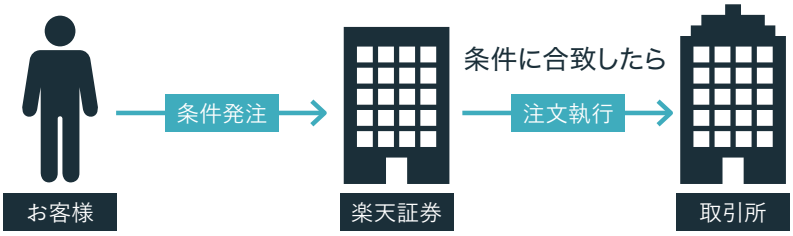




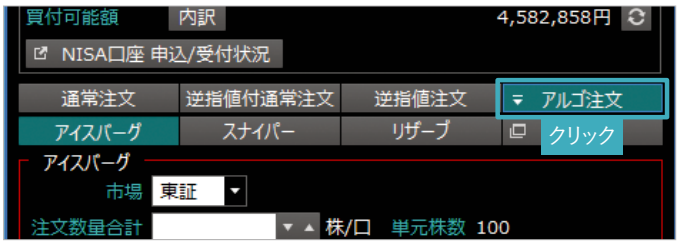
買い注文の場合、注文画面にある1「同時にセット注文(売り)を」の選択ボタンを「予約する」とクリックします。2セット注文の入力欄が表示されるので、注文価格や執行条件を選択して、3「確認」をクリックします。確認画面で内容を再確認し、4取引暗証番号を入力ください。

アルゴ注文でチャンスを逃さない

アルゴ注文のイメージ



注文は注文種類の右端をクリック



アルゴ注文の操作画面は、注文画面の注文種類の一番右側にある「アルゴ注文」をクリックすることで起動できます。

アルゴ注文とは、発注条件を事前に登録しておくことで、登録した条件に合致した場合に自動で注文を執行できる機能です。自動的な取引でチャンスを逃さず、着実にリターンを狙うことができます。ここでは5つのアルゴ注文を具体的に紹介します。

⚠ ご利用の注意点

・利用の前には利用規約への同意が必要です

・通常の取引手数料のみで利用でき、追加料金は発生しません

・マーケットスピード II 以外のチャネルでは、ログイン後のウェブページで設定した内容の照会、取消のみ可能です

※ただし、自動注文執行後は全チャネルで照会、変更、取消が可能です

アルゴ注文 1 アイスバーグ注文

1 注文数量合計

全体の注文株数を入力します。たとえば10,000株を複数回に分けて注文したいときは、「10,000株」と入力します。

2 分割注文回数

小口化して注文する回数を入力します。

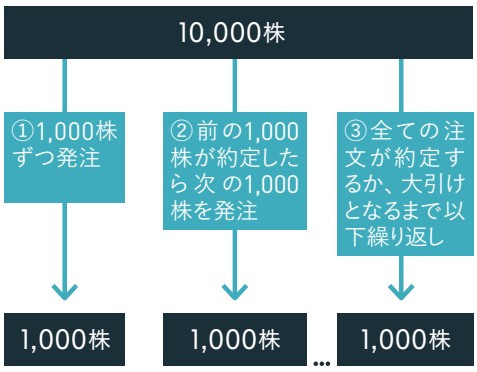
3 分割方法

毎回均等の株数を注文するのか、ランダムに注文するのか指定します。右側の「注文詳細」ボタンをクリックして、分割数量(株/口)などを確認できます。

1～3を入力後、執行条件や口座区分を選択して「確認」をクリックします。確認画面内で暗証番号を入力後、「執行」をクリックします。

アイスバーグ注文とは、1つの注文を小口化して複数の注文に分割して発注できる機能です。氷山の一角のように注文の一部しか他の投資家には見えないため、流動性の低い銘柄の取引や大口の注文を目立たせたくない場合に特に有効です。

例)10,000株を10回に分割して発注



アルゴ注文 2 スナイパー注文

1 数量

注文株数を入力します。

2 最良気配

買い注文の場合は、売り注文の最良気配(最も安い売り気配)が何円以下になったら発注するかを指定します。
売り注文の場合は、買い注文の最良気配(最も高い買気配)が何円以上になったら発注するかを指定します。

3 執行条件

発注後すぐに取引が成立する数量のみ約定し、約定しなかった残数量は自動で失効となるIOC※を執行条件として発注します。

※IOC:アイオーシー。未約定分をキャンセルする条件付注文

1～3を入力後、執行条件や口座区分を選択して「確認」をクリックします。確認画面内で暗証番号を入力後、「執行」をクリックします。

スナイパー注文とは、指定した価格の気配が表示されるまでは発注せずに待機し、表示されたときに瞬時に発注する機能です。さらに、発注して約定しなかった分は自動的に取り消され、指定した気配が再度表示されるまで発注せずに待機します。特に流動性の低い銘柄の取引に有効です。

例)1,000株の買い注文を指値1,000円で発注

①指値以下の売気配が無ければ発注しない
未約定:1,000株

売	値段	買
200	1,003	
200	1,002	
300	1,001	
	999	400
	998	300
	997	200

②指値以下の売気配が出た瞬間に発注
未約定:1,000株

売	値段	買
200	1,002	
300	1,001	
300	1,000	
	999	400
	998	300
	997	200

③未約定分は破棄され板に残らず、再度待機
未約定:700株

売	値段	買
200	1,003	
200	1,002	
300	1,001	
	999	400
	998	300
	997	200

アルゴ注文 3 リザーブ注文

1 日時指定の場合

注文を執行する日時を選択します。

価格指定の場合

市場価格を条件にする場合は、ここで価格や有効期間を指定します。

2 注文種類

通常注文や逆指値注文など注文の種類を選択し、数量や価格を入力します。

1～2を入力後、執行条件や口座区分を選択して「確認」をクリックします。確認画面内で暗証番号を入力後、「執行」をクリックします。

リザーブ注文とは、日時または株価を指定して発注できる機能です。日時指定では、8:00～15:24の間に分単位で、30営業日先まで指定できます。決算発表や経済指標の発表に合わせて取引する場合などに便利です。価格指定では、通常の指値注文では指定できない値幅制限外の価格も指定できます。現在の価格よりも大幅に下落した場合に買い付けたい場合などに便利です。

たとえば…

権利付最終日の引け間際に買い注文を発注

今は値幅制限外だが、年初来安値まで下がったら買い注文を発注

アルゴ注文 4 リンク注文

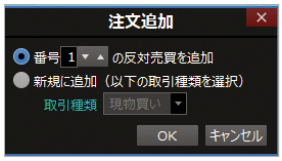
1 注文種類

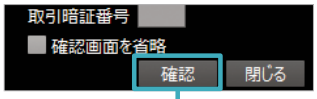
通常注文や逆指値注文など注文の種類を選択します。

2 数量・価格

注文株数や価格を入力します。

1～2を入力後、口座区分を指定して「保存」をクリックします。その後「+」を押して「注文追加」画面でリンクする注文を指定し、注文入力します





全て入力が終わったら、「確認」をクリックして取引暗証番号を入力後「執行」を押してください。

※リストをダブルクリックすると、設定した内容を確認いただけます

リンク注文とは、最大10注文まで連続して登録できる機能です。注文は銘柄や売買の種類に関係なく自由に組み合わせることができ、通常注文、逆指値付通常注文、逆指値注文、トレイリング注文を利用することができます。現物取引、信用取引を組み合わせることも可能です。

A銘柄の買い ▶ A銘柄の売り ▶ B銘柄の買い

従来のセット注文ではできなかった、新規注文と同時に決済注文の逆指値注文や逆指値付通常注文を登録することが可能に!

新規注文と返済注文を1つの画面で設定可能に!（現物買い→現物売り / 信用新規→信用返済）

リンク注文(現物買い→現物売り)/リンク注文(信用新規→信用返済)は通常のリンク注文と異なり、新規注文と返済注文の同時設定のための専用画面です。返済注文では新規注文の約定価格を基準に返済注文の指値を指定できたり、株価の上昇、下落の両方に備えたりすることができます。なお、新規注文が全株約定すると、返済注文が発注されます。

1 新規注文

新規注文の注文種類と数量・価格を指定します。

2 返済注文

返済注文の注文種類を指定します。返済注文の種類は以下の4種類です。

- IFD(利益確定)
- IFD(損切り)
- IFO(利益確定+損切り)
- トレイリング

3 返済条件

注文種類に合わせ、返済条件を入力します。「値幅指定」、「比率指定」では新規注文の約定価格を基準に返済注文の指値を設定することができます。

アルゴ注文 5 トレイリング注文

1 数量

注文株数を入力します。

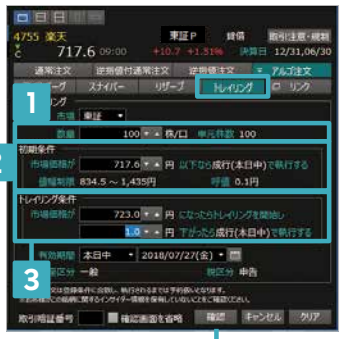
2 初期条件

逆指値注文として、市場で執行したい価格を指定します。

※最低ラインの手仕舞い目標価格を注文しておきます。

3 トレイリング条件

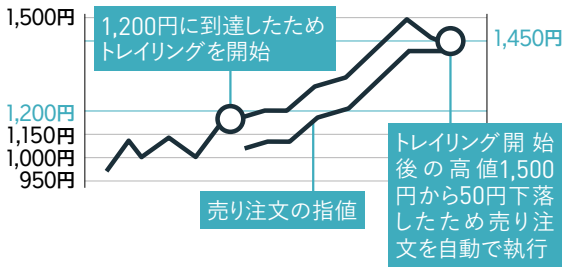
初期条件で設定した価格からトレイリング(自動修正)を開始する価格と、トレイリング開始後の高値から何円下落したら成行注文を執行したいか(信用返済買い注文の場合はトレイリング開始後の安値から何円上昇したら成行注文を執行したいか)を指定する価格幅を入力します。



1～3を入力後、執行条件や口座区分を選択して「確認」をクリックします。確認画面内で暗証番号を入力後、「執行」をクリックします。

トレイリング注文とは、逆指値注文を設定しつつ、価格変動に応じて同一値幅で指値を変更していく注文です。損失を最小限に抑えつつ、利益をできるだけ伸ばすことができます。

例)平均取得単価:1,000円、当初の逆指値:950円、トレイリング開始:1,200円、トレイリング開始後の高値から50円下落したら売却する場合



※トレイリング注文は現物売り注文、信用返済買い注文、信用返済売り注文のみ利用できます

米国株式を発注する

買い注文

注文を出したい銘柄の上にカーソルを置き、右クリック→「米国株現物取引」→「買い注文」をクリックするか、右上の「注文ボタン」から「米国株現物取引」→「買い注文」をクリックすれば、下の画面が表示されます。

売り注文

買い注文と同様に「売り注文」を右クリックや画面右上の「注文」ボタンからクリックすると、「保有銘柄一覧」が表示されます。1で売り注文を発注したい銘柄を選択し、右の2で条件を入力します。誤りがなければ3で確認をクリックします。その後売り注文確認の画面で内容を確認し、4で取引暗記番号を入力し、執行をクリックします。

先物・オプションを発注する

ここでは先物・オプション取引注文の発注方法について解説します。国内株式と同様、右クリックメニューまた右上の「注文ボタン」から「先物OP個別」を選択すると先物OP個別新規注文/転売・買戻注文画面を起動することができます。

新規注文

先物・オプション取引の新規注文画面です。買いと売りのどちらからでも取引できます。

現在値や前日比など基本的な情報が確認できます

執行数量条件
注文執行時に全数量約定しなかった場合の扱いを指定します

FAS：約定可能な枚数は約定、未約定分は注文期限まで有効
FAK：約定可能な枚数は約定、未約定分はキャンセル
FOK：注全数量約定しなければ、注文はすべてキャンセル

注文画面の種類を選択します。取引に合わせて5タイプの注文画面を選べます

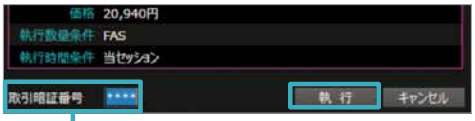
注文の種類を選択します

買建/売建、枚数、指値/成行を入力します

執行時間条件
注文の有効期限を指定します

当セッション：注文執行時のセッションの引け
期間指定：指定した営業日の日中取引時間の引け(最大30営業日先)
取引最終日：当社が定める取引最終日の日中取引時間の引け
引け：ザラバでは約定せず、クロージング・セッションのみ有効

入力したら「確認」をクリックします



注文内容に誤りがなければ取引暗証番号(数字4桁)を入力後、「執行」をクリックします

転売・買戻注文

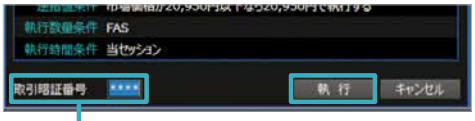
先物・オプションの建玉を決済する画面です。画面上段で銘柄、中段で建玉を選択し、下段で注文内容を入力します。

決済したい銘柄を選択します

決済したい建玉を選択します

決済したい数量を入力します(チェックすると決済可能な数量を全入力)

注文内容を入力します



入力したら「確認」をクリックします。

注文内容に誤りがなければ取引暗証番号(数字4桁)を入力後、「執行」をクリックします

CFDの注文を発注する

ここではCFD取引の注文方法について解説します。国内株式と同様、右クリックメニューまた右上の「注文ボタン」から「CFD>新規注文」を選択すると新規注文/決済注文/スピード注文/訂正・取消注文画面を起動できます。

新規注文

CFD取引の新規注文画面です。買いと売りのどちらからでも取引できます。

検索欄
検索欄で銘柄名を指定するか、「詳細」ボタンをクリックすれば「CFD銘柄検索」画面から銘柄を検索できます。

数量・価格
取引する数量を入力してください。上下の矢印ボタンでも入力可能です。

次に、「指値」「成行」「逆指値」のいずれかの注文方法を指定します。

指値や逆指値の価格もここで指定することができます。

レイアウト
注文画面の種類を選択します。取引に合わせて5タイプの注文画面を選べます。

証拠金情報
注文画面を表示した時点の取引余力と証拠金維持率を確認することができます。右側にあるボタンをクリックすると証拠金情報が更新されます。

注文種類
「通常注文」、「OCO」、「IFD」、「IFD-OCO」のいずれかの注文方法を選択します。

売買
買いから始めるのであれば「新規買」を、売から始めるのであれば「新規売」を選択します。

入力したら「確認」をクリックします。注文内容に誤りがなければ、「執行」をクリックします。

有効期限
注文の有効期限を指定します。

本日中：取引日翌日早朝にあたるニューヨーク市場終了時まで有効となります。
今週中：取引日の含まれる週の金曜日のニューヨーク市場終了時まで有効となります。
期間指定：最大30営業日先まで指定することができ、指定日翌日早朝にあたるニューヨーク市場終了時まで有効となります。
期限なし：取消処理を行うまで有効となります。

決済注文

建玉エリア
決済をする建玉を選択するエリアです。表示する建玉は銘柄名による指定やプルダウンメニューによるCFD口座、売買での絞り込みもできます。絞り込みは「検索」ボタンをクリックすると反映されます。

レイアウト
注文画面の大きさ・レイアウトを変更することができます。レイアウトによって、発注できる注文種類が変わります。

建玉明細エリア
建玉エリアで指定した建玉の明細が表示されますので、明細ごとに決済する数量を設定します。数量は入力欄に直接入力するか、チェックを入れて全明細または各明細の発注可能な全数量を簡単に入力することもできます。

注文種類
「通常注文」、「OCO」のいずれかを選択できますます。OCOは、2つの注文を希望価格を指定して同時に出しておき、一方が成立すると、もう一方の注文は取り消される注文です。

注文内容
価格、有効期限などを指定します。

「確認」ボタンをクリックすると、注文内容の確認画面が表示されますので、「執行」ボタンをクリックします。

スピード注文

現在値パネル
現在値パネルをクリックすると即時に注文を執行します。「買いたい」場合は右側の「Ask/買」ボタン、「売りたい」場合は左側の「Bid/売」ボタンをクリックしてください。

注文内容
数量、スリッページなどを指定します。スリッページでは、一定のスプレッド以上現在価格からの乖離があった場合に執行をしないスプレッド値設定が可能です。

両建てモード
両建てモードがオンの場合、売買注文はいずれも新規建てとなります。オフの場合、ポジション保有時にそのポジションの反対の売買注文は自動的に決済注文となります。

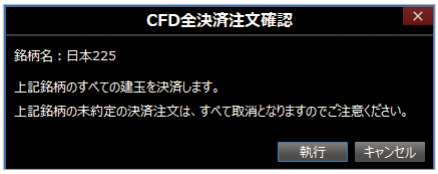
建玉情報
指定した銘柄の建玉情報が表示されます。

オーダーロック
オーダーロックをかけることで誤発注を防止することができます。

優先順位指定
設定ボタンをクリックすると環境設定画面が起動します。環境設定画面で建玉を返済する優先順位を設定することができます。

証拠金情報
注文画面を表示した時点の取引余力と証拠金維持率を確認することができます。右側にあるボタンをクリックすると証拠金情報が更新されます。

全決済
指定した銘柄の建玉を一括で決済する場合、「全決済」ボタンをクリックします。「CFD全決済注文確認」画面が表示されますので、「執行」ボタンをクリックします。



訂正・取消注文

「CFD訂正・取消一覧」画面が起動し、訂正もしくは取消可能な注文の一覧が表示されます。CFD口座を指定することによって、表示する注文を絞り込むこともできます。「訂正」ボタンをクリックすると訂正画面が起動します。「取消」ボタンをクリックすると取消確認画面が起動します。

「訂正」ボタンをクリックした場合は訂正画面が起動し、注文を訂正することができます。訂正可能なのは、「指値価格」「逆指値価格」「期間指定の有効期限」の3つの項目です。

注文執行
訂正の場合は、「確認」ボタンをクリックすると、注文内容の確認画面が表示されますので「執行」ボタンをクリックします。「確認画面を省略」にチェックすると、「確認」ボタンが「執行」ボタンに変わり注文内容の確認画面が省略されます。取消の場合は、確認画面で「執行」ボタンをクリックします。

全取消注文

複数のCFD注文を一括で取消する場合、まずは画面右上にある「注文」ボタンをクリックし、CFD全取消をクリックします。「CFD訂正・取消一覧」画面の「全取消」ボタンからも起動することができます。「全取消」ボタンをクリックする前にプルダウンメニューからCFD口座を指定することで、CFD全取消の対象とする注文を絞り込むこともできます。

注文画面では取消可能な注文一覧が表示されますので、「執行」ボタンをクリックします。画面起動時は全ての注文が取消対象となっていますが、左端のチェックを外し解除できます。

注文約定

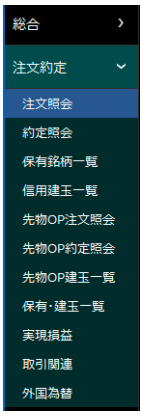
「注文約定」では、発注や約定した注文内容や保有名柄の一覧を確認できます。注文状況を確認する際はぜひこのページを活用しましょう。

国内株式 米国株式 先物OP CFD

注文照会をみる

「注文照会」では、国内株(現物・信用)や米国株式(現物・信用)の注文内容の確認ができます。発注した注文は銘柄の左にある「訂正」「取消」より変更できます。また、銘柄だけでなく口座区分や出力期間などで絞り込みもできます。条件を入力後、「検索」をクリックするだけで該当の注文一覧が表示されます。

● ローカルメニュー



注文照会	国内株・米国株に関する注文履歴の確認や訂正・取消が可能です。	CFD注文照会	CFDに関する注文履歴の確認や訂正・取消が可能です。
約定照会	国内株・米国株に関する約定済みの注文が確認できます。	CFD約定照会	CFDに関する約定済みの注文が確認できます。
保有銘柄一覧	国内株・米国株の現物銘柄の情報を確認できます。	CFD建玉一覧	CFDの建玉情報を確認できます。
信用建玉一覧	国内株・米国株の信用建玉の情報を確認できます。	保有・建玉一覧	国内株・米国株の現物保有銘柄・信用建玉、先物OP建玉、CFD建玉の情報を一つの画面で確認できます。
先物OP注文照会	先物OPに関する注文履歴の確認や訂正・取消が可能です。	実現損益	国内株、米国株、先物OP、CFDの取引で確定した損益が確認できます。
先物OP約定照会	先物OPに関する約定済みの注文が確認できます。	取引関連	取引履歴や取引報告書等の情報が確認できます。
先物OP建玉一覧	先物OPの建玉情報を確認できます。	外国為替	外貨の買付ができます。「外国為替取引(買い注文)」ボタンをクリックすると、外国為替取引(買い注文)のWEB画面が表示されます。

● 注文照会(国内株式) 国内株式

1 照会条件

注文種類(現物/信用)や銘柄、口座区分(特定/一般/NISA/旧NISA)など照会する注文の条件を入力・選択できます。「セット注文をまとめて表示」のチェックボックスを外すと売買(すべて/買/売)や注文状況も指定できます。チェックボックスを外して「検索」ボタンをクリックすると、銘柄名などの項目をクリックして並び替えもできるようになります。

2 訂正・取消

注文内容の訂正や取消ができます。別画面にて注文画面が起動します。

3 注文状況

通常注文、逆指値注文、アルゴ注文など注文種類別に「約定」「執行中」など注文状況を確認できます。

4 注文詳細

注文一覧からいずれかをクリックすると、日時や数量、銘柄などが表示されます。

5 指定埋情報

信用取引(買埋・売埋)の当該銘柄の注文詳細を確認できます。

注文照会（米国株式） 米国株式

1 照会条件

注文種類(全て/現物/信用)や銘柄、口座区分(全て/特定/一般/NISA/旧NISA)、売買や注文状況など照会する注文の条件を入力・選択できます。「検索」ボタンをクリックすると、銘柄名などの項目をクリックして、並び替えもできるようになります。

2 訂正・取消

注文内容の訂正や取消ができます。別画面にて注文画面が起動します。

3 注文詳細

通常注文、逆指値注文など注文種類別に「約定」「執行中」など注文状況を確認できます。

4 決済相手玉情報

返済注文中の建玉の情報を確認することができます。

ココも POINT

複数の注文を一括して取り消せます

1 訂正・取消一覧を表示する

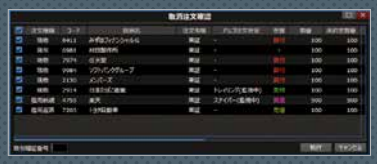
「検索」ボタン右の「訂正・」取消注文」ボタンをクリック。

2 「全取消」ボタンをクリックする

「訂正・取消一覧」画面内の「全取消」ボタンをクリック。

3 一括取消を執行する

取引暗証番号を入力し、「執行」ボタンをクリック。



「訂正・取消注文」ボタンをクリックすると、「訂正・取消一覧」画面が起動し、訂正や取消が可能な注文が一覧で表示されます。「訂正・取消一覧」画面内の「全取消」ボタンをクリックすると、「取消注文確認」画面が表示されますので、取引暗証番号を入力して「執行」ボタンをクリックすると注文の一括取消ができます。「訂正・取消一覧」画面で注文種類(現物/信用)で絞り込んだり、「取消注文確認」画面のチェックボックスで取消対象の注文を指定することも可能です。

約定照会をみる

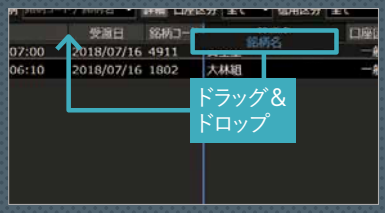
● 約定照会（国内株式） 国内株式

「約定照会」では、約定した注文の詳細を確認できます。

ココも POINT

項目の横位置もカスタマイズできる

項目名（列名）をドラッグ＆ドロップで任意の列に移動できます。この操作は注文照会でも可能です。



マーケットスピード II はココが進化!!

別々だった現物と信用取引の約定照会が、1つの画面でまとめて確認できるようになりました。

マーケットスピード
現物のみ表示

▼

マーケットスピードII
現物 ＋ 信用のみ表示

1 注文種類

「全て／現物／信用」のいずれかを選択します。

2 銘柄

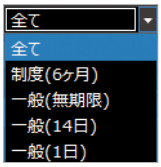
絞り込みたい銘柄コードや銘柄名を入力します。

3 口座区分

「全て／特定／一般／NISA／旧NISA」のいずれかを選択します。

4 信用区分

信用取引について、「全て／制度（6ヶ月）／一般（無期限）／一般（14日）／一般（1日）」のいずれかを選択します。



5 売買

「全て／買／売」のいずれかを選択します。

6 出力期間

「当日／1ヶ月／3ヶ月／6ヶ月／1年／期間指定」のいずれかを選択します。

7 検索

条件を選択後、「検索」をクリックします。

8 約定データ

約定日や受渡日など約定データの一覧が表示されます。なお、ページ下段のスクロールバーを右に移動すれば税金や諸費用なども確認できます。

● 約定照会（米国株式） 米国株式

「約定照会」では、約定した注文の詳細を確認できます。

1 注文種類

「全て／現物／信用」のいずれかを選択します。

2 銘柄

絞り込みたいティッカーや銘柄名を入力します。

3 口座区分

「全て／特定／一般／NISA／旧NISA」のいずれかを選択します。

4 売買

「全て／買／売」のいずれかを選択します。

5 出力期間

出力期間を「当日」「1ヶ月」「3ヶ月」「6ヶ月」「1年」「期間指定」から選択できます。「期間指定」を選択した場合、現在から過去1ヵ月間で任意の期間を選択できます。

6 決済方法

決済方法を「全て」「円貨」「外貨」から選択できます。

7 約定データ

約定日や受渡日など約定データの一覧が表示されます。

注文・約定照会をファイルとして保存する

注文や約定データはCSV形式のデータとしてダウンロードできます。ページ右上の⬇ボタンをクリックしてファイルを保存しておけば、ネット環境がなくてもデータを確認できます。また、その横の📋ボタンをクリックすれば、クリップボードにデータがコピーされます。Excelファイルなどで貼り付けできるので、独自に分析や資産管理されているお客様はぜひご活用ください。

1 ページ右上のボタン

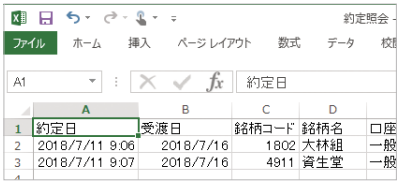
ページ右上の⬇ボタンをクリックします。

2 保存場所選択

ファイル名を入力し、保存場所を選択します。

3 CSVファイル

CSV形式のファイルとして、Excelなどのオフィスソフトで編集・管理することができます。



先物・オプション取引の注文状況と約定照会

● 先物OP注文照会

「先物OP注文照会」では、発注した先物・オプション取引の注文内容が確認できます。発注した注文は銘柄の左にある「訂正」「取消」より変更できます。国内株式の取引と同様に注文の一括取消も可能です。

1 照会条件

銘柄、取引、注文状況、出力期間が指定できます。照会条件を変更した場合は「検索」をクリックすると一覧に反映されます。

2 訂正・取消注文ボタン

クリックすると「先物OP訂正取消一覧」が起動し、訂正・取消が可能な注文が一覧で表示されます。また、「全取消」をクリックすると、一括で注文を取り消すこともできます。

3 注文一覧

照会条件に応じた注文一覧が表示されます。訂正・取消が可能であれば左端にボタンが表示され、注文画面がすぐに起動できます。

4 注文詳細

注文一覧で選択した注文の詳細が表示されます。転売・買戻注文の場合は決済の対象となる建玉の情報が「決済相手玉情報」に表示されます。

● 先物OP約定照会

「先物OP約定照会」では、約定した先物・オプション取引注文の詳細が確認できます。

1 照会条件

銘柄、取引、出力期間が指定できます。照会条件を変更した場合は「検索」をクリックすると一覧に反映されます。

2 約定一覧

照会条件に応じた約定一覧が表示されます。

CFDの注文状況と約定照会

● CFD注文照会

「CFD注文照会」では、発注したCFD取引の注文内容が確認できます。発注した注文は銘柄の左にある「訂正」「取消」より変更できます。国内株式の取引と同様に注文の一括取消も可能です。

1 照会条件

表示する口座、銘柄、取引、売買、注文状況、出力期間が指定できます。照会条件を変更した場合は「検索」をクリックすると一覧に反映されます。

2 訂正・取消注文ボタン

クリックすると「CFD訂正取消一覧」が起動し、訂正・取消が可能な注文が一覧で表示されます。また、「全取消」をクリックすると、一括で注文を取り消すこともできます。

注文No	注文の注文Noが表示されます。	CFD口座	注文のCFD口座(指数/商品/バラエティ/株式)が表示されます。
注文状況	注文の状況が確認できます。 執行中：注文が未約定の状態です。 待機中：複合注文(IFD、IFO)の2次注文で1次注文が未約定の状態です。 約定済：注文数量の全数が約定し取引が成立した状態です 取消済：取消が完了した状態です。 取消済(期限切)：有効期限到来により取消が完了した状態です。 リジェクト：スピード注文、成行注文時に約定せずにリジェクトした状態です。	銘柄名	注文の銘柄名が表示されます。
		通貨	注文の通貨が表示されます。
		注文日時	注文日時が表示されます。
		売買	注文の売買の種類が表示されます。
		有効期限	注文の有効期限が表示されます。
		執行区分	注文の執行区分(指値/逆指値/マーケット)が表示されます。
		数量	注文数量が表示されます。
		注文価格	注文の指値が表示されます。
		スリップページ	注文のスリッページが表示されます。
		注文区分	注文の注文区分(スピード/成行/リーブオーダー/OCO/IFD/IFO/追証強制決済/ロスカット/全決済)が表示されます。
		建単価	決済建玉の建単価が表示されます。
		建玉作成日時	決済建玉の建玉作成日時が表示されます。
		チャネル	注文を執行したチャネルが表示されます。

3 注文一覧

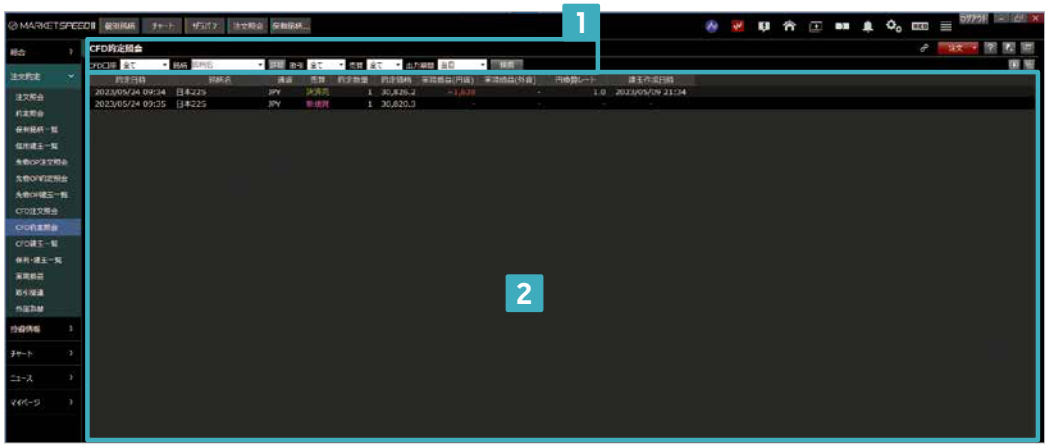
照会条件に応じた注文一覧が表示されます。訂正・取消が可能であれば左端にボタンが表示され、注文画面がすぐに起動できます。

4 注文詳細

注文一覧で選択した注文の詳細が表示されます。転売・買戻注文の場合は決済の対象となる建玉の情報が「決済相手玉情報」に表示されます。

● CFD約定照会

「CFD約定照会」では、約定したCFD取引注文の詳細が確認できます。CFD注文の約定単価や実現損益もここで確認できます。



1 照会条件

以下の項目について、検索条件の指定が可能です。

CFD口座	表示する口座を「全て」「指数」「商品」「バラエティ」「株式」から選択できます。
銘柄	表示する銘柄を絞り込むことができます。
取引	表示する取引を「全て」「新規」「決済」から選択できます。
売買	売買の種類を選択できます。
出力期間	当日、1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、1年、期間指定から選択できます。

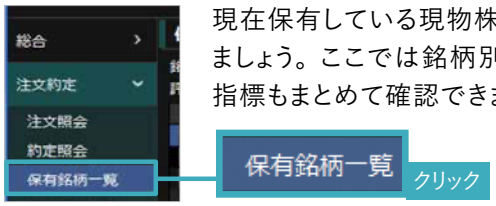
2 約定確認

約定した注文の確認ができます。

約定日時	注文の約定日時が表示されます。
銘柄名	注文の銘柄名が表示されます。
通貨	表示する取引を「全て」「新規」「決済」から選択できます。
売買	売買の種類を選択できます。
約定数量	当日、1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、1年、期間指定から選択できます。
約定価格	注文の約定価格が表示されます。
実現損益(円貨)	実現損益(円貨)が表示されます。
実現損益(外貨)	実現損益(外貨)が表示されます。取引商品が外貨の場合のみ表示されます。
円換算レート	円貨に換算する場合の当社適用為替レートが表示されます。
建玉作成日時	決済建玉の建玉作成日時が表示されます。

保有銘柄を確認する

● 保有銘柄一覧のメニュー



現在保有している現物株の銘柄を確認するには、「注文約定」内の「保有銘柄一覧」でチェックしましょう。ここでは銘柄別に時価評価額や評価損益率のほか、PERや配当利回りなどの投資指標もまとめて確認できます。

● 保有銘柄一覧（国内株式） 国内株式

1 検索条件

銘柄や口座区分を入力・選択して「検索」ボタンをクリックすると絞り込みできます。

2 貸株一覧・貸出・返却

貸出中の銘柄の確認や貸出・返却指示などの手続きができます。

3 評価損益額

現物保有株式の購入時の価格とリアルタイムの価額差を指します。評価損益合計をリアルタイムで表示します。評価損益がプラスの場合は赤色、マイナスの場合は緑色で表示されます。

4 現物全売却

保有している銘柄をまとめて売却できます。クリックすると確認画面が表示されます。

5 保有銘柄状況

保有銘柄の一覧が表示されます。スクロールバーを左右に移動させると、PERやPBR、配当利回りなどの項目も確認できます。列名（項目名）はドラッグ＆ドロップで移動できます。

6 保有数量詳細

5に表示された銘柄の取引（買付・売付・入庫・出庫）を表示します。『入庫』または『株式分割』した場合、単価入力後「単価登録」ボタンをクリックすると登録できます。

● 保有銘柄一覧（米国株式） 米国株式

1 検索条件

銘柄や口座区分を入力・選択して「検索」ボタンをクリックすると絞り込みできます。

2 保有銘柄状況

保有銘柄の一覧が表示されます。スクロールバーを左右に移動させると、PERや配当利回りなどの項目も確認できます。列名（項目名）はドラッグ＆ドロップで移動できます。

3 保有数量詳細

2に表示された銘柄の取引（買付・売付・入庫・出庫）を表示します。『入庫』または『株式分割』した場合、単価入力後「単価登録」ボタンをクリックすると登録できます。

● 信用建玉一覧のメニュー

「注文約定」内の「信用建玉一覧」では保有中の信用建玉を一覧で表示します。なお、期日の30営業日前より「!」マークが赤く表示されます。

● 信用建玉一覧（国内株式） 国内株式

※弁済期限「6ヶ月」は制度信用を表しています

1 検索条件

銘柄や口座区分、市場などを指定し、絞り込みできます。また「直近最終返済日」では、同一の銘柄で複数建玉がある場合、最終返済日の一番早いものが表示されます。「評価損益額」は建玉合計の損益額が表示されます。

2 信用全返済

保有している建玉をまとめて返済できます。クリックすると確認画面が表示されます。

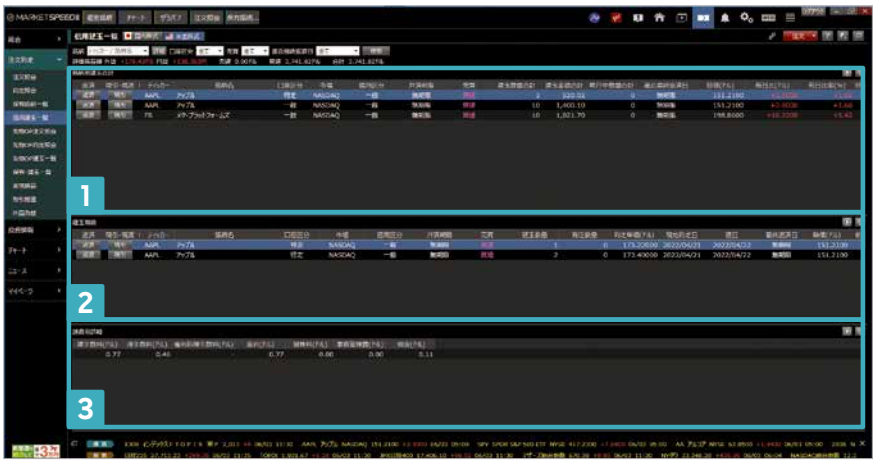
3 銘柄別建玉合計

銘柄別建玉合計建玉の詳細を確認できます。左端の「返済」「現引」「現渡」のボタンから各注文画面を起動できます。

4 建玉明細

同一の銘柄で、建区分（売買）、口座区分（特定、一般）、信用区分（制度（6ヶ月）、一般（無期限）、一般（14日）、一般（1日））が異なる場合、ここに分かれて表示されます。

● 信用建玉一覧（米国株式） 米国株式



1 銘柄別建玉合計

銘柄ごとの信用建玉の合計値が表示されます。ただし、同一の銘柄であっても、建区分（買建/売建）、口座区分（特定/一般）、が異なる場合は区別して表示されます。

2 建玉明細

選択した銘柄別建玉の明細を確認することができます。

3 諸費用詳細

選択した建玉の諸費用を確認することができます。

● 先物OP建玉一覧

先物・オプション銘柄の建玉を確認するには「先物OP建玉一覧」を使用します。
取引最終日の7日前より“!”のアイコンが赤く表示され、取引最終日欄についても赤字表示になります。また、評価損が10%を超えると同様に“!”のアイコンが表示されます。

1 照会条件

銘柄、限月、売買が指定できます。照会条件を変更した場合は「検索」をクリックすると一覧に反映されます。

2 先物OP全決済ボタン

保有している建玉をまとめて決済できます。クリックすると確認画面が表示されます。

3 評価損益額・建玉合計

評価損益と売建玉と買建玉それぞれの金額が表示されます。照会条件に合致し、一覧に表示されている建玉が対象となります。

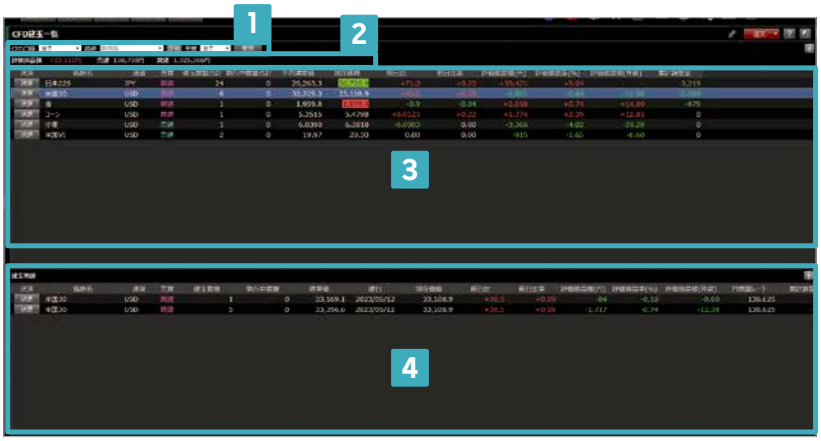
4 銘柄別建玉合計

銘柄別に合計した建玉の詳細が表示されます。左端の「転売/買戻」ボタンからすぐに注文画面を起動できます。

5 建玉明細情報

銘柄別建玉合計で選択した銘柄の個別の建玉の情報が表示されます。

● CFD建玉一覧



1 検索条件

商品種類、銘柄を絞り込むことができます。「CFD口座」では表示する口座を「全て」「指数」「商品」「バラエティ」「株式」から選択できます。「銘柄」では表示名柄、「売買」では表示する建玉の売買を「全て」「買建」「売建」から選択できます。

2 評価損益額

「評価損益額」では取得金額と時価の差額が表示されます。「売建」では、売建玉の建単価×建玉数量が表示されます。検索条件に該当し、一覧に表示されている建玉が計算対象となります。「買建」では、買建玉の建単価×建玉数量が表示されます。検索条件に該当し、一覧に表示されている建玉が計算対象となります。

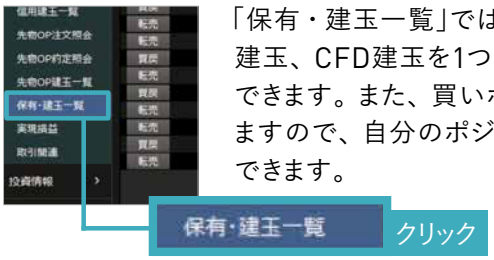
3 建玉合計

銘柄別の建玉合計が表示されます。左端の「決済」ボタンをクリックすると、選択した銘柄の決済注文画面を起動します。各項目はいずれも変動があれば自動でリアル更新されます。

4 建玉明細

建玉数量や建単価などの明細が表示されます。各項目はいずれも変動があれば自動でリアル更新されます。

● 保有・建玉一覧のメニュー



「保有・建玉一覧」では、国内株式や米国株式の現物保有銘柄、信用建玉、先物・オプション建玉、CFD建玉を1つの画面で表示可能で、複数商品をお持ちの場合に全体の状況を把握できます。また、買いポジションと売りポジションそれぞれの合計金額とその差分が表示されますので、自分のポジションが全体で買いと売りのどちらに寄っているのかを確認することもできます。

● 保有・建玉一覧

1 照会条件

商品種類、銘柄を絞り込むことができます。信用建玉、先物・オプション建玉、CFD建玉は「集計表示/建玉表示」で建玉の表示を切り替えられます。集計表示の場合は、銘柄・口座区分・信用区分・弁済期限・売買が一致する建玉はまとめて表示されます。建玉表示の場合は建玉が個別に表示されます。米国株式の場合は通貨表示ボタンが表示されます。

2 保有金額

「現物」「買建玉」「売建玉」の合計金額がそれぞれ表示されます。「現物」は現物取引(国内・米国)の合計金額、「買建玉」「売建玉」は信用取引(国内・米国)、先物・オプション、CFDの合計金額が表示されます。

3 評価損益額

「現物」「買建玉」「売建玉」「合計」の評価損益額がそれぞれ表示されます。「現物」は現物取引(国内・米国)の合計金額、「買建玉」「売建玉」は信用取引(国内・米国)、先物・オプション、CFDの合計金額が表示されます。

4 保有状況

銘柄または建玉の詳細が表示されます。左端のボタンからすぐに決済注文画面を起動できます。

保有状況の項目

「注文」ボタン	選択した保有銘柄・建玉の決済注文画面が起動します。
「現引」・「現渡」ボタン	信用建玉の場合、現引・現渡画面を起動させることができます。
コード/ティッカー	銘柄コード、ティッカーが表示されます。
銘柄	銘柄名が表示されます。
口座区分	現物銘柄の場合は口座区分(特定/一般/NISA/旧NISA)、信用建玉の場合は口座区分(特定/一般)が表示されます。
市場	上場市場が表示されます。
売買	信用建玉・先物OP建玉・CFD建玉の場合は売買(買建/売建)が表示されます。
信用区分	信用建玉の場合は信用区分(制度(6ヶ月)/一般(無期限)/一般(14日)/一般(1日))が表示されます。
保有/建玉数量	保有/建玉数量が表示されます。
発注数量	決済注文を執行している数量が表示されます。
建日	信用建玉・先物OP建玉・CFD建玉の場合は建日が表示されます。集計表示で複数の建玉がまとまっている場合は表示されません。
諸費用(円/ドル)	信用建玉の場合は建玉にかかっている諸費用が表示されます。
取得単価/建単価	現物銘柄の場合は平均取得単価が表示されます。信用建玉・先物OP建玉・CFD建玉の場合は、集計表示を選択時は平均建単価が、建玉表示を選択時はそれぞれの建玉の建単価が表示されます。

時価	銘柄の時価が表示されます。
前日比	銘柄の前日比が表示されます。
前日比率(%)	銘柄の前日比率が表示されます。
評価損益額(円)	銘柄の評価損益額が円で表示されます。現物銘柄の場合は平均取得単価と時価の差で計算されます。信用建玉・先物OP建玉・CFD建玉の場合は、集計表示を選択時は平均建単価と時価の差で、建玉表示を選択時はそれぞれの建玉の建単価と時価の差で計算されます。
評価損益率(%)(円ベース)	銘柄の評価損益率が円ベースで表示されます。現物銘柄の場合は平均取得単価と時価の差で計算されます。信用建玉・先物OP建玉・CFD建玉の場合は、集計表示を選択時は平均建単価と時価の差で、建玉表示を選択時はそれぞれの建玉の建単価と時価の差で計算されます。
評価損益額(外貨)	銘柄の評価損益額が外貨ベースで表示されます。現物銘柄の場合は平均取得単価と時価の差で計算されます。信用建玉・CFD建玉の場合は、集計表示を選択時は平均建単価と時価の差で、建玉表示を選択時はそれぞれの建玉の建単価と時価の差で計算されます。
評価損益率(%)(外貨ベース)	銘柄の評価損益率が外貨ベースで表示されます。現物銘柄の場合は平均取得単価と時価の差で計算されます。信用建玉・CFD建玉の場合は、集計表示を選択時は平均建単価と時価の差で、建玉表示を選択時はそれぞれの建玉の建単価と時価の差で計算されます。
通貨	通貨が表示されます。CFD建玉のみ表示されます。

損益を確認する

● 実現損益

「実現損益」では、国内株式、米国株式、先物OP決済、CFDで確定した損益が一覧で確認できます。画面右上の「出力期間」の基準日は、約定日ベースか受渡日ベースかを選択できます。

1 検索条件

商品種類は「全て/国内株式/米国株式/先物OP/CFD」から選択できます。「国内株式」の場合は現物/信用、口座区分を選択します。「検索」ボタンをクリックすると、指定した期間内の決済で確定した売買損益の一覧が表示されます。出力期間の計算基準は約定日/受渡日のどちらをベースにするか選択できます。

2 平均取得価額小数表示

オンにすると、小数点以下の値を考慮した実現損益および平均取得価額が表示され、より実態に近い値となります。
※税金計算にはオフの値を用います。

3 基準日

出力期間の基準を選択できます。税金計算上の特定口座の年間損益は受渡日基準で計算されます。

商品		計算式
国内株式	現物取引	売却額−(数量×平均取得価額)
	信用取引	売埋の場合(返済単価×返済数量)−(指定建玉数量×建単価)−諸費用 買埋の場合(指定建玉数量×建単価)−(返済単価×返済数量)−諸費用 ※受取配当調整額は含まれていません。
米国株式	現物取引	円貨表示：　売却時受渡代金−(売却数量×平均取得価額) 外貨表示：　売却時約定代金−(売却数量×平均取得価額) ※売買約定時点の為替レートにて計算
	信用取引	円貨表示： 売埋の場合((返済単価×返済数量−返済時手数料)×返済時約定為替レート)−((建単価×指定建玉数量+新規建時手数料)×新規建時約定為替レート)−金利×返済時為替レート 買埋の場合((建単価×指定建玉数量−新規建時手数料)×新規建時約定為替レート)−((返済単価×返済数量+返済時手数料)×返済時約定為替レート)−貸株料×返済時為替レート 外貨表示： 売埋の場合(返済単価×返済数量−返済時手数料)−(建単価×指定建玉数量+新規建時手数料)−金利 買埋の場合(建単価×指定建玉数量−新規建時手数料)−(返済単価×返済数量+返済時手数料)−貸株料
先物・オプション取引		差額(※)−(新規手数料+決済手数料)−(新規消費税+決済消費税) ※買戻しの場合の差額(建約定単価×約定数量×取引単位)−(約定単価×約定数量×取引単位) ※転売の場合の差額(約定単価×約定数量×取引単位)−(建約定単価×約定数量×取引単位)
CFD取引		決済売の場合((決済約定単価×決済数量×取引単位)−(建約定単価×指定建玉数量×取引単位))×円換算レート 決済買の場合((建約定単価×指定建玉数量×取引単位)−(決済約定単価×決済数量×取引単位))×円換算レート

4 実現損益

決済によって確定した損益を表します。当日の損益は概算値となり、確定値は翌営業日の朝6:00頃に表示されます。(先物・オプションの夜間取引分は夜間取引後の翌営業日の朝6:00頃に表示)

投資情報

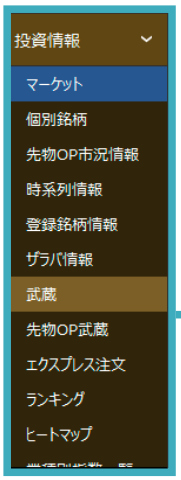
「投資情報」では、個別銘柄のリアルタイム株価やマーケット情報、登録銘柄情報などを確認できます。また日経225などの市況情報や個別銘柄の時系列での表示も可能です。多彩な情報から注目銘柄を素早く発掘できます。

国内株式　米国株式　先物OP　CFD

銘柄情報をチェックする

● ローカルメニュー

「投資情報」内のローカルメニュー一覧です。それぞれ以下のような情報を確認できます。



マーケット	日経225やNYダウなど国内外のマーケット情報を確認できます。価格だけでなく時系列やチャートでより詳しい市況分析をしたいときに便利です	ヒートマップ	相場状況をリアルタイムで視覚的にとらえることができます。
個別銘柄	指定の銘柄の現在値や四季報、チャート、適時開示などを確認できます	CFDトレーダー	CFD銘柄の一覧や、選択した銘柄の市況情報やチャートを見ることができます。
先物OP投資情報	日経225先物やオプション、商品先物の一覧から選択した銘柄の市況情報、チャートなどが確認できます。	業種別指数一覧	33業種の値動きをひと目で確認できます。業種毎に詳細を確認できます
時系列情報	個別銘柄やマーケットの情報を時系列順に確認できます	銘柄動向速報	ストップ高や年初来安値など銘柄動向を確認できます
登録銘柄情報	登録銘柄や「お気に入り」銘柄リストを一覧表示できます(P50参照)	銘柄ナビ	「スーパースクリーナー」や「チャート形状検索」「テーマ別銘柄検索」で銘柄検索を行えます
ザラバ情報	登録した銘柄の現在値や出来高などを一覧表示します。一目で値動きがわかるヒートマップ機能も活用できます(P60参照)	信用取扱銘柄	国内株式では一般信用取引の新規売建が可能な銘柄、米国株式では一般信用取引の新規買建、売建が可能な銘柄を検索できます
武蔵	最短1秒で発注できる板発注機能を搭載。フル板での閲覧も可能です	会社四季報	会社四季報を確認することができます
先物OP武蔵	先物・オプションに対応した板発注機能です。デイトレに最適です。	銘柄一覧	銘柄をクリックすると、その銘柄の個別銘柄情報を見ることができます
エクスプレス注文	価格をワンクリックするだけで新規注文、返済注文ができる機能です	先物スプレッド相場表	2つの先物銘柄の価格差を限月ごとに表示。割高銘柄を売り、割安銘柄を買う裁定取引に利用できます。
ランキング	「値上り率」など全27種のランキングを100銘柄表示します	その他投資情報	立会外・場外情報が確認できるほか、日経225先物、日経225ミニ、日経225オプションの主な手口情報及び建玉情報の照会ができます

個別銘柄

「個別銘柄」では、選択した銘柄の株価や出来高などの基本情報のほか、市況やチャートなど様々な情報を一画面でまとめて表示できます。表示させたい情報はタブ切替で自由に選ぶことも可能なので、画面を切り替えることなくスピーディーに情報収集および取引ができます。

2 銘柄セレクター

表示履歴やランキング、登録銘柄から確認したい銘柄を選択できます。

履歴	過去に閲覧した銘柄の一覧を表示します
登録銘柄	登録している銘柄リストを表示します
ランキング	「値上がり率」や「前場寄前値上り率」など様々なランキングを市場別に表示できます
現物保有	保有中の現物株を表示します
信用建玉	信用取引の買建中・売建中の銘柄を表示します
注文中（現物）	注文中の現物株銘柄について表示します
注文中（信用）	注文中の信用取引銘柄について表示します
銘柄動向速報	「ストップ高」や「特別買気配」などに該当する銘柄を市場別に表示できます

3 マーケット情報

「日経225」や「ドル/円」などマーケット情報を確認できます。表示させたい情報や並び順は設定ボタンで変更できます。並び順の変更は、指標をクリックして「並び替え」の右にある矢印ボタンを押すか、指標をクリックしたままマウスを動かすことで可能です。

4 基本情報

当日の始値や出来高、板情報などのリアルタイム情報を表示します。情報はリアルタイムで自動更新されます。

5 銘柄の保有状況

表示した銘柄を保有している場合は、数量や評価損益を確認できます。

6 マルチツール（上下）

上下2つにニュースやチャートなどお好みの内容を表示できます。

表示情報をカスタマイズする

● マルチツール（前ページの 6 ）

ここでは該当銘柄のチャート・市況・歩み値・時系列・ニュース・四季報・株主優待などを閲覧できます。情報の切替はタブをクリックして行います。

表示できる情報（国内株式）

市況	現在値や出来高、歩み値、PER、PBRなどの詳細情報。
チャート	ローソクや、指数化チャートなどを表示。
歩み値	選択した銘柄の当日の歩み値。
ニュース	選択した銘柄の関連情報。
時系列	始値や終値、一定期間の日次、週次、月次の移動平均線などを時系列順に表示。
適時開示	業績など適時開示情報を表示。

四季報	四季報の企業情報、業績、財務。
株主優待	株主優待の内容や条件（写真一部あり）。
業績	進捗状況や推移のほか業績ニュースも表示。
指標	PERなどのコンセンサスや、ROEなどの財務情報など（トムソン・ロイター提供）。
業績予測	業績予想コンセンサス&コメント、アナリストによるレーティング情報。

表示できる情報（米国株式）

市況	52週高値・52週安値、出来高、PER、配当利回りなどの詳細情報を確認することができます。
チャート	ローソクや、指数化チャートなどを表示。
歩み値	選択した銘柄の当日の歩み値。
ニュース	選択した銘柄の関連情報。
時系列	始値や終値、一定期間の日次、週次、月次の移動平均線などを時系列順に表示。
企業/ETF情報	企業情報、ETFの概要を確認することができます。
目標株価・取引動向	米国株式の「目標株価」、「企業関係者取引」、「ヘッジファンド取引」の3つの投資参考情報を確認することができます。

指標	個別銘柄に関するPERやPBR、EPS、ROEなどの「割安性」「安定性」「成長性・収益性」などの情報を確認できます。
業績・予想	業績の推移や業績予想（コンセンサス）が確認できます。「売上高」や「当期利益」などの推移はグラフでも確認できます。
財務	直近4年分の損益計算書、貸借対照表、キャッシュフローを確認することができます。
決算速報	決算情報を発表から数分以内に市場予想との比較を交えて日本語で確認できます。
競合比較	同業種内で同レベルの時価総額の会社を選定し、財務健全性、収益性、割安性、安定性、株価モメンタムの5つのポイントから企業スコア総合を算出して比較しています。
コーポレートアクション	個別銘柄のコーポレートアクションを時系列で表示することができます。

レイアウトを変更する

1 拡大・縮小ボタン

マルチファンクションエリア右上にある矢印のボタンをクリックします。

2 レイアウト変更

2つあるマルチツールがひとつにまとまり、表示領域が拡大します。枠のサイズ調整も自由に行えます。

3 サイズ調整

マルチツールの枠線を変更し、見やすい画面レイアウトに調整します。

ウィンドウの種類と画面数を変える

多数の画面を同時に利用する場合、アプリケーションのパフォーマンスに影響するため、右のように各ウィンドウの「推奨上限数」と「最大上限数」を設けています。

●「最大画面数」内で画面を開くことができます。また、「推奨上限数」に達する場合はアラートメッセージが表示されます。（1画面のみの場合は表示されません）

●全ウィンドウの合計最大上限数は20画面です。（※メインウィンドウ、お知らせを除く）

●リアルフィードをご利用の場合は「推奨上限数」内でご利用いただくことを推奨いたします。

ウィンドウ名	推奨上限数	最大画面数
全体のウィンドウ数	10	15
メイン	1	1
ティッカー、お知らせ、ニュース	各1	各1
武蔵	3	4
フル板	3	4
ランキング	1	1
ザラバ情報	2	3
エクスプレス注文	2	3

先物・オプション銘柄の情報を確認する

● 先物OP市況情報

「先物OP市況情報」では先物・オプション銘柄を一覧から選択し、選択した銘柄の歩み値、板、チャートといった情報を詳しく確認することができます。

1 銘柄一覧

プルダウンから銘柄を選択すると、選択した銘柄の限月一覧と時価情報が表示されます。「登録銘柄」を選択することで、リストに登録している銘柄のうち、先物・オプション銘柄と関連する指数を表示することもできます。

2 表示情報の切替

選択した銘柄について、どの情報を表示するか切替ができます。クリックするごとに表示/非表示を切り替えられます。

3 歩み値

市場で約定した時刻、出来高、約定値が表示されます。

4 市況情報

時価情報やその日の4本値、満期までの残存日数などの市況情報が表示されます。

5 板情報

売り買いの注文状況が上下最大10本表示されます。「クイック発注」を有効にしている場合は板をクリックすることで注文画面を起動することができます。(「クイック発注」の設定についてはP.11を参照ください)

6 建玉情報

選択している銘柄の建玉を保有している場合、買建/売建ごとの枚数、平均建単価、評価損益が表示されます。

4 マルチツール

タブを切り替えることで多様な情報を表示することができます。

表示できる情報

市況	時価情報やその日の4本値、満期までの残存日数などの市況情報
チャート	ローソク足チャートや描画ツール、テクニカル指標などの分析ツール
板情報	売り買いの注文状況(上下最大10本)
歩み値	当日の市場で約定した時刻、出来高、約定値の一覧
ニュース	先物・オプションに関連したニュース
時系列	始値や終値、一定期間の日次、週次、月次の移動平均線などを時系列順に表示
手口・建玉	取引者別の取引高と建玉残高

ココも POINT

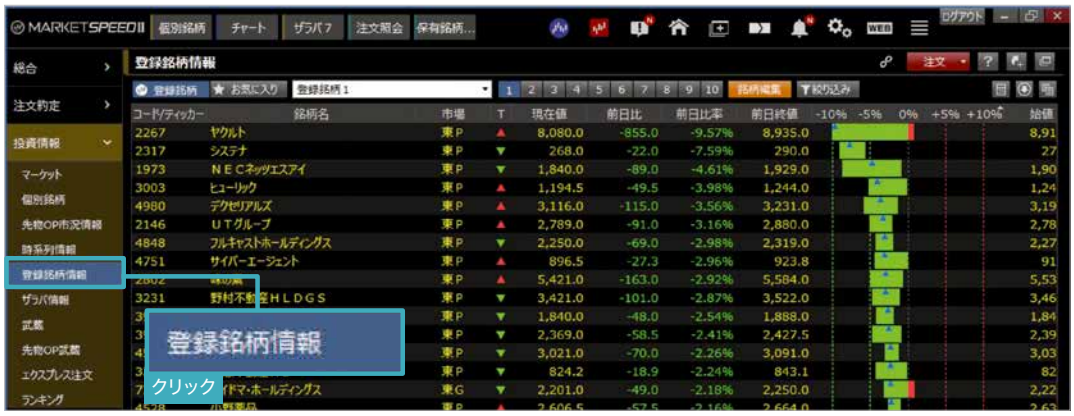
各オプションのグリークスを一覧で確認

オプション銘柄を表示している場合は「全表示」をクリックすることで、各オプションのデルタ、ガンマ、ベガ、セータ、ロー(いわゆるグリークス)を表示することができます。

登録銘柄を活用する

活用術 1 銘柄をページに登録する

● 登録銘柄情報



「登録銘柄情報」では、最大20,000（200銘柄×100ページ）銘柄までご自身の銘柄リストを作ることができます。ここで登録しておいた銘柄は、「個別銘柄」などでも呼び出すことができます。

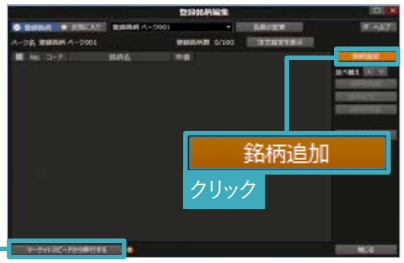
1 「銘柄編集」をクリック

ページ上部にある「銘柄編集」をクリックします。

「マーケットスピードから移行する」をクリックすると、お使いのマーケットスピードから登録銘柄情報を移行できます。

2 登録銘柄編集

登録銘柄編集のページに移動したら、「銘柄追加」をクリックします。



ココもPOINT 「お気に入り」と「登録銘柄」の違いは？

登録銘柄

マーケットスピードⅡで活用する銘柄リストです。スーパークイック注文やエクスプレス注文などの事前設定もできます。

お気に入り

WEBやiSPEEDで登録したお気に入り銘柄を表示できます。

3 銘柄追加

まず「分類」から「国内株式/米国株式/先物OP/CFD/マーケット」のいずれかのカテゴリを選択します。選択したカテゴリに応じて、銘柄名や一覧から登録する銘柄・指標を指定できます。

4 銘柄選択

複数銘柄を登録する場合は、Shiftキーを押しながらカーソルを移動するか、Ctrlキーを押しながらクリックして選択します。選択後、右下にある「OK」をクリックすれば登録されます。

5 リスト編集

「登録銘柄編集」画面では、銘柄の並び替えや削除、コピーなど、ページ内の編集やページ名の変更もできます。

ココもPOINT CSVファイルで銘柄情報のインポート・エクスポートができます

「インポート」・「エクスポート」からCSVファイルでそれぞれ銘柄情報の読込・出力ができます。雛形（テンプレート）や注意点等については「ヘルプ」をクリックすると起動するオンラインヘルプをご覧ください。

活用術 2 銘柄一覧を確認する

● 登録銘柄編集

登録銘柄情報の画面では、登録銘柄ページ別に銘柄が一覧表示されます。ここでは、登録銘柄の値動きをひと目で確認できます。銘柄を選択して右クリックすれば、注文メニューに移動することもできます。

ココもPOINT 項目名をクリックで並び替えもできる

「前日比率」や「前場寄付からの騰落率」などを項目名をクリックすれば、その項目について昇順（小さい順）や降順（大きい順）に並び替えできます。

1 登録銘柄・お気に入り

一覧表示について、「登録銘柄」と「お気に入り」の切替ができます。

2 ページ選択

銘柄ページを選択します。左側はプルダウンメニュー、右側は選択中のページボタンから選択できます。

3 銘柄編集

銘柄の登録や削除、並び替えなどが行える「銘柄追加」ページへ移動します。

4 銘柄リスト

登録銘柄の一覧が表示されます。1ページにつき100銘柄まで登録できます。

マーケットスピード II はココが進化!!

その日の値動きが一目でわかる

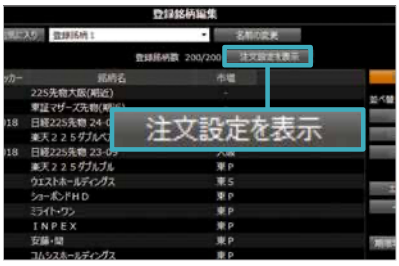
前日終値を基準として、左端がその日の安値、右端が高値となり、現在値の位置が三角で表示されます。前日終値よりもプラスの範囲は赤色、マイナスの範囲は緑色となります。その日の値動きが一目でわかります。

活用術 3 スーパークイック注文やエクスプレス注文を活用する

「スーパークイック注文」とは、マーケットスピードの「ザラバ情報4」と「ザラバ情報5」で利用いただける注文です。注文の数量や執行条件をあらかじめ登録しておき、最短2回のクリックで発注できます。「エクスプレス注文」とは、信用取引の高速売買に特化した、価格をワンクリックするだけで新規注文、返済注文ができる機能です。デイトレードはもちろん、呼値の単位が縮小された等の理由により板の変動が激しい銘柄のお取引にもぴったりの注文方法となっています。登録銘柄編集では、それぞれ注文の数量や執行条件を事前登録しておく「スーパークイック注文」や「エクスプレス注文」の条件を設定できます。

1 設定を表示

「登録銘柄編集」画面内の「注文設定を表示」をクリックします。



2 登録銘柄編集

注文設定の列が表示されるので、「設定」をクリックします。「スーパークイック注文」または「エクスプレス注文」を選択します。

3 注文設定

「スーパークイック注文機能を有効にする」または「エクスプレス注文機能を有効にする」のチェックボックスをオンにして、発注数量や注文区分などを設定します。

ザラバ情報をチェックする

「投資情報」内の「ザラバ情報」では、個別銘柄のリアルタイム情報をさまざまな表示パターンで確認できます。ここで確認できるのは、「登録銘柄」や「お気に入り」に登録した銘柄が対象となります。米国株式やCFDも対応しています。

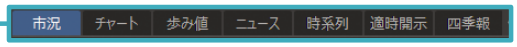
マーケットスピード Ⅱ はココが進化!!

ザラバ情報1～7で共有

マーケットスピードでは「登録銘柄」に登録した銘柄はザラバ情報の1画面ずつで登録が必要でしたが、マーケットスピード Ⅱ ではザラバ情報1～7内で共有されます。

ザラバ情報 1 市況やチャートなどの詳細情報も一括表示

画面左に登録した銘柄一覧の個別銘柄をクリックすると、画面右に「市況情報」「保有状況」のほか、自由に選択できる2つの投資情報を表示できます。2つの投資情報は「個別銘柄」と同様の操作でタブ切替で選択できます。



タブで切り替え

ザラバ情報 2 株価ボードのような表示で板情報の比較に便利

株価ボードのように複数の銘柄を1画面で表示できます。1画面に最大50銘柄を画面の大きさに応じて折り返し表示します。板情報の比較をベースとして活用できるのが特徴です。1つのパネルに、それぞれ銘柄名、銘柄コード、現在値、前日比、前日比率、前日終値、出来高、売買代金が表示されます。板情報は上下3本ずつ表示されます。

ザラバ情報 3 より詳細な情報を板情報とともに確認

ザラバ情報2の板情報を機能拡張しています。1つのパネルには、ザラバ情報2の情報に加えて始値や高値、年初来高値（年高）や上場来高値（上場高）が表示されます。たくさんの銘柄を確認することより、より詳しい板情報などをチェックしたいときにおすすめです。板情報は上下10本ずつ表示します。

年高	6,771.0
年安	4,997.0
上場高	1,390,000.0

PERや年初来高値も表示

ザラバ情報 4 板情報の確認とともにスーパークイック注文も活用

ザラバ情報2に「スーパークイック注文」機能が追加されたモードです。銘柄情報の確認とともに、発注もスピーディーに行いたいときに便利です。

ザラバ情報 5 より大きな画面で投資情報の確認から発注まで可能

「ザラバ情報3」に、「チャート」「歩み値」「ニュース」のタブ切替が追加されたモードです。「スーパークイック注文」にも対応します。

ザラバ情報 6 ヒートマップ機能で値動きの状況をひと目で把握

現在値が前日比でプラス、マイナスのどちらかをひと目で確認できるヒートマップ機能を搭載したモードです。デフォルトでは前日比プラスは赤、前日比マイナスは緑で表示されます。最も彩度の高い赤が前日比+10%以上、最も彩度の高い緑の前日比-10%以下となっています。色設定と比率数設定は環境設定（P15参照）で変更できます。

ザラバ情報 7 ヒートマップ機能の情報拡充版

ヒートマップ機能を追加できるモードですが、ザラバ情報6より表示数は少ない分、出来高や高値などより詳しい株価情報を表示できるモードです。

市況部分はチャート表示の切替も可能

前日終値などの市況の表示は、1分足/3分足/5分足/日足/週足/月足の各種チャートへの切替も可能です。個別に切り替えられるだけでなく、上部のボタンで一括で切り替えることもできます。

板発注機能の武蔵を活用する

武蔵とは、ドラッグ＆ドロップですぐに注文を発注できる板発注機能です。敏感に変動する相場のチャンスを逃さず、スピーディーに売買を行えるのが特徴です。また逆指値注文や投資情報の確認、保有銘柄の管理など、取引に必要な情報を画面に搭載しているのも武蔵の利点です。ぜひ活用してみましょう。

● 武蔵（国内株式）

1 銘柄セレクター

検索履歴や「登録銘柄」「お気に入り」銘柄、ランキングや保有中の現物株などから表示する銘柄一覧を選択できます。銘柄一覧の銘柄をクリックすると、右の板発注画面、左下段の市況情報、右下段の照会機能等の各画面の情報がクリックした銘柄の情報に更新されます。

2 市況・歩み値・四季報

基本的な市況情報や歩み値、四季報のデータをボタンひとつで切替えて表示できます。市況情報の「過去5分出来高」は、過去5分間の歩み値を「上昇（↑）」「変わらず（→）」「下降（↓）」の3種類に分け、5分単位で合算した出来高を表示します。

3 銘柄の市況

現在値や前日比など、銘柄の基本的な情報を確認できます。

4 板の種類

「通常板」と「フル板」の表示切替を行います。フル板では、全銘柄の全ての注文情報（板情報）をリアルタイムで表示しており、相場状況をより細かく把握することができます。

5 注文

板注文画面は、右半分が買い注文、左半分が売り注文を指します。それぞれ注文方法はP56をご参照ください。

6 注文画面

注文画面を買い注文と売り注文で分けるか、共通にするかを選択できます。

7 板情報

板情報を表示します。左上の「中心値段」は指定した値段を板の中心に表示します。最良気配表示 をクリックすると、最も高い買い注文の値段と、最も安い売り注文の値段である最良気配値を板の中心に表示します。 の状態では、買いの板と売りの板が一緒に動きます。クリックをして の状態に切り替えると、現在値を中心に板を分割して、買いの板と売りの板をそれぞれ動かすことができます。また、「刻み」を変更すると指定した値の分だけ板の気配数量を合計して表示することができます。

歩み値 をクリックすると、板の横に歩み値を表示することができます。

マーケットスピード Ⅱ は ココが進化!!

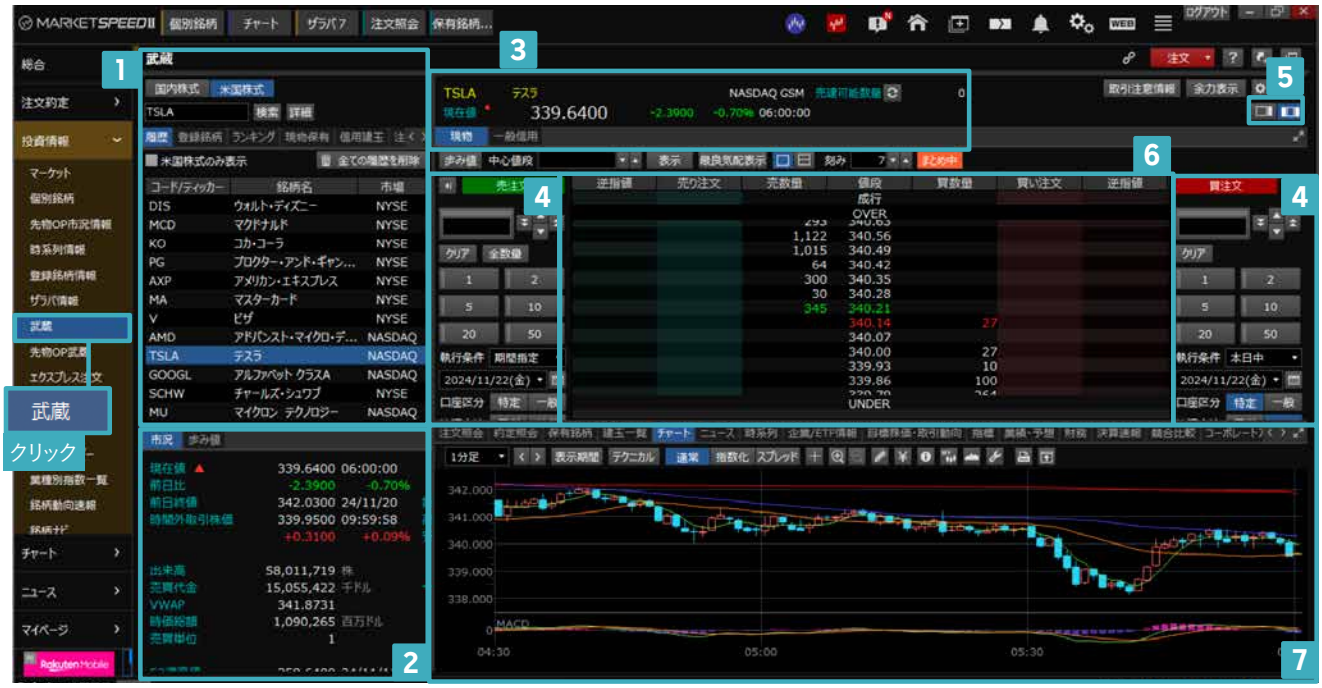
注文数量の入力方式を拡充

注文数量の操作はショートカットキーやマウスホイールに対応します。数量入力欄をクリックしてマウスホイールを上下に操作すると、単元株数単位で数量を調整できます。

8 マルチツール

選択した銘柄について、「注文照会」「約定照会」「保有銘柄」「建玉一覧」「チャート」「ニュース」「時系列」「適時開示」「株主優待」「業績」「指標」「業績予測」の切替表示ができます。

● 武蔵（米国株式）



1 銘柄セレクター

検索履歴や「登録銘柄」「お気に入り」銘柄、ランキングや保有中の現物株などから表示する銘柄一覧を選択できます。銘柄一覧の銘柄をクリックすると、右の板発注画面、左下段の市況情報、右下段の照会機能等の各画面の情報がクリックした銘柄の情報に更新されます。

2 市況・歩み値

基本的な市況情報や歩み値をボタンひとつで切替えて表示できます。

3 銘柄の市況

現在値や前日比など、銘柄の基本的な情報を確認できます。

4 注文

板注文画面は、右半分が買い注文、左半分が売り注文を指します。それぞれ注文方法はP56をご参照ください。

5 注文画面

注文画面を買い注文と売り注文で分けるか、共通にするかを選択できます。

6 板情報

板情報を表示します。左上の「中心値段」は指定した値段を板の中心に表示します。最良気配表示 をクリックすると、最も高い買い注文の値段と、最も安い売り注文の値段である最良気配値を板の中心に表示します。 の状態では、買いの板と売りの板が一緒に動きます。クリックをして の状態に切り替えると、現在値を中心に板を分割して、買いの板と売りの板をそれぞれ動かすことができます。また、「刻み」を変更すると指定した値の分だけ板の気配数量を合計して表示することができます。

歩み値 をクリックすると、板の横に歩み値を表示することができます。

7 マルチツール

選択した銘柄について、「注文照会」「約定照会」「保有銘柄」「建玉一覧」「チャート」「ニュース」「時系列」「企業/ETF情報」「指標」「業績・予想」「財務」「決算速報」「競合比較」「コーポレートアクション」の切替表示ができます。

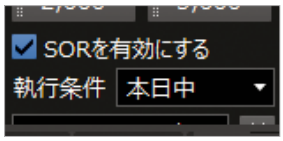
板注文画面を活用する[現物取引]

国内株式

板注文画面は、右半分が買い注文、左半分が売り注文を指します。事前に「市場」と「執行条件、口座区分」を選択後、買い注文の場合は右側の「買注文」の列の中から、注文したい株数のボックスをクリックをしたまま(ドラッグ)、注文したい株価の右側の「買注文」列の上でクリックをはずします(ドロップ)。「現物買い注文確認」画面で内容確認後、取引暗証番号を入力して「執行」をクリックします。売り注文も、発注方法は同様です。

1 条件選択

上部の「現物」タブを選択後、事前に「市場」と「執行条件、口座区分」を選択します。



2 ドラッグ＆ドロップ

株数を入力した数量入力欄か、注文したい株数のボックスをドラッグ＆ドロップで指定の株価の「買い注文」欄に持って行きます。

3 執行

「現物買い注文確認」画面が表示されたら注文を確認し、間違いがなければ、取引暗証番号を入力して「執行」をクリックします。

ココもPOINT 訂正や取消もカンタン!

注文訂正は価格の訂正のみ可能です。「買注文」列の発注済の注文株数の上でクリックしたままドラッグし、訂正したい株価の右側にドロップします。注文取消は注文横の×ボタンか、「全取消」と書かれたゴミ箱をクリックします。

米国株式

米国株式の板注文画面も、右半分が買い注文、左半分が売り注文を指します。事前に「執行条件」「口座区分」「決済方法」を選択後、買い注文の場合は右側の「買注文」の列の中から、注文したい株数のボックスをクリックをしたまま(ドラッグ)、注文したい株価の右側の「買注文」列の上でクリックをはずします(ドロップ)。「現物買い注文確認」画面で内容確認後、取引暗証番号を入力して「執行」をクリックします。売り注文も、発注方法は同様です。

1 条件選択

上部の「現物」タブを選択後、事前に「執行条件」「口座区分」「決済方法」を選択します。

2 ドラッグ＆ドロップ

株数を入力した数量入力欄か、注文したい株数のボックスをドラッグ＆ドロップで指定の株価の「買い注文」欄に持って行きます。

3 執行

「現物買い注文確認」画面が表示されたら注文を確認し、間違いがなければ、取引暗証番号を入力して「執行」をクリックします。

板注文画面を活用する[信用取引]

国内株式

信用取引では、「信用新規注文」を選択した場合、値段の右側では「新規買建注文」、左側では「新規売建注文」になります。なお「信用返済注文」の場合は、返済する建玉の優先順位について「建日」「評価損益率」「数量」などを指定します。

ココもPOINT 逆指値注文も武蔵で発注・訂正できます

「逆指値指定」でトリガー価格と「以上/以下」を指定し、「逆指値」の板に株数ボックスをドラッグ&ドロップをすると、逆指値注文が発注できます。また、発注した逆指値注文はトリガー価格や注文価格をドラッグ&ドロップで訂正することもできます。

1 執行条件

上部の「制度信用」や「一般信用」の中からタブを選択後、買建の場合は右側の「執行条件」「口座区分」を設定します。

2 注文区分

新規注文の場合は「注文区分」で「新規」を選択します。「AS(オートセレクト)」を選択すると、発注時に新規注文・返済注文が自動で選択されます。選択している銘柄の保有建玉がゼロの場合は新規注文となり、保有建玉があれば返済注文となります。保有建玉数を上回る株数の返済注文はできません。

3 数量指定

数量入力欄か、数量のボックスを「買い注文」欄にドラッグ&ドロップして買建数量を指定します。

米国株式

米国株式の信用取引でも、「信用新規注文」を選択した場合、値段の右側では「新規買建注文」、左側では「新規売建注文」になります。なお「信用返済注文」の場合は、返済する建玉の優先順位について「建日」「評価損益率」「数量」などを指定します。

1 執行条件

上部の「一般信用」タブを選択後、買建の場合は右側の「執行条件」「口座区分」を設定します。

2 注文区分

新規注文の場合は「注文区分」で「新規」を選択します。「AS(オートセレクト)」を選択すると、発注時に新規注文・返済注文が自動で選択されます。選択している銘柄の保有建玉がゼロの場合は新規注文となり、保有建玉があれば返済注文となります。保有建玉数を上回る株数の返済注文はできません。

3 数量指定

数量入力欄か、数量のボックスを「買い注文」欄にドラッグ&ドロップして買建数量を指定します。

板注文画面を活用する[先物・オプション取引]

● 先物OP武蔵

Ver.2.0.0より「先物OP武蔵」が加わり、先物・オプション取引でも板発注が可能となりました。国内株式用の「武蔵」と同様に設定した注文を板にドラッグ&ドロップ、もしくは板をクリックすることで発注が簡単にできます。逆指値注文を発注したり、執行中の注文をドラッグ&ドロップで訂正したりもできます。

1 銘柄セレクター

銘柄一覧や検索履歴、登録銘柄、保有建玉、注文中銘柄から銘柄を選択できます。銘柄を選択すると、各パーツに連携され、選択した銘柄の情報が確認出ます。

2 市況・歩み値

市況情報と歩み値をタブで切り替えることができます。

3 注文区分

「AS」、「新規」、「転売/買戻/決済」の3つから注文区分を選択できます。それぞれの違いは以下の通りです。
AS：選択している銘柄の建玉がなければ新規注文が、建玉があれば決済注文が自動で出し分けられます。
新規：建玉にかかわらず、新規注文が発注されます。
転売/買戻/決済：建玉にかかわらず、決済注文が発注されます。

4 逆指値条件

逆指値注文を発注するトリガー価格を指定できます。逆指値注文を発注する際は、「逆指値」欄に注文をドラッグ&ドロップもしくは板をクリックします。ドラッグ&ドロップもしくは板をクリックした価格が注文の価格となり、トリガー価格とは異なります。

5 建玉指定

建玉を決済する優先順位を設定できます。複数の建玉がある場合は、設定した優先順位(建日の古い順/新しい順、評価損益率の益順/損順、数量の多い順/少ない順)に従って決済する建玉が決定されます。
「設定」をクリックすると「優先順位指定」が起動し、設定ができます。

6 全取消

選択している銘柄の買い注文または売り注文を全て一括で取り消すことができます。注文条件を共通にしている場合はどちらの注文も全て取り消されます。

7 マルチツール

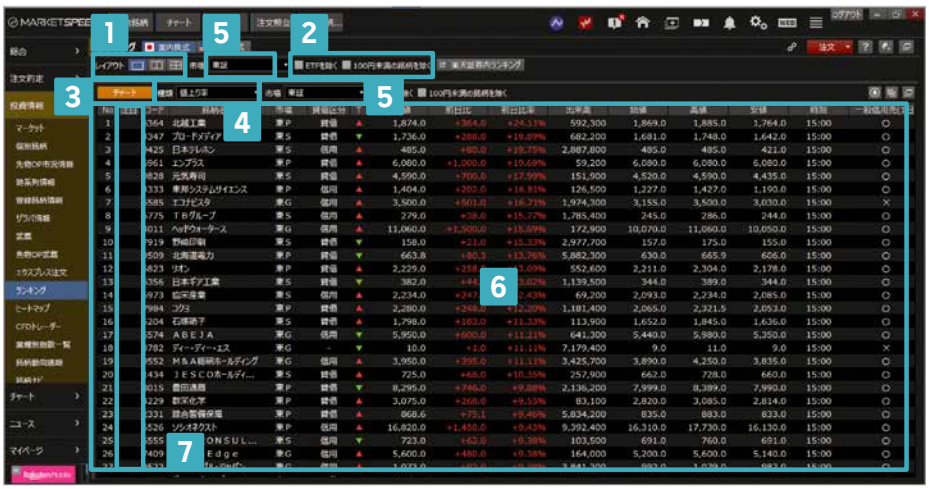
タブを切り替えることで注文状況や建玉の情報、チャート、ニュース等が確認できます。

ココもPOINT　建玉一覧から決済注文をすばやく発注

マルチツールで「建玉一覧」を選択している場合、表示されている建玉を板にドラッグ&ドロップすることで、すばやく決済注文を発注することができます。決済数量は選択した建玉で発注可能な全数量となります。

ランキングを確認する

● ランキング



国内株式は東証プライム市場、東証スタンダード市場、東証グロース市場、JNX、CboePTS（Chi-X）、米国株式はNYSE、NASDAQにおける以下の各種ランキングの上位100銘柄をリアルタイムにて一覧表示いたします。

マーケットスピード Ⅱ はココが進化!!

表示は100位まで可能

ランキング情報は上位30銘柄から100銘柄まで大幅に表示数が拡大しました。以前と比べて、より幅広い銘柄から選ぶことができます。

ランキングの表示数は最大4つまで可能です。「売買代金上位銘柄」と「ティック数上位銘柄」のランキングを並べて重複をチェックするなど、多角的な銘柄分析に活用できます。

1 レイアウト変更

2 絞り込み条件

ランキング表示からETFを除外したり、100円未満（国内株式）または5ドル未満（米国株式）の銘柄を除いたりすることができます。

3 チャート

チャートをクリックして、該当銘柄について「5分足」「日足」「週足」「月足」のいずれかのチャートを画面右側に並べて表示できます。

4 種類

国内株式や米国株式について、表示するランキングの種類を選択できます。
7～10、17～18、20～25は国内株式のみ表示できます。

1	値上り率上位銘柄
2	値下り率上位銘柄
3	値上り幅上位銘柄
4	値下り幅上位銘柄
5	寄付から値上り率上位銘柄
6	寄付から値下り率上位銘柄
7	前場寄前値上り率上位銘柄
8	前場寄前値下り率上位銘柄
9	後場寄前値上り率上位銘柄
10	後場寄前値下り率上位銘柄
11	出来高上位銘柄
12	日中出来高急増上位銘柄
13	売買代金上位銘柄
14	売買代金急増上位銘柄
15	高PER上位銘柄
16	低PER上位銘柄
17	高PBR上位銘柄
18	低PBR上位銘柄
19	配当利回り上位銘柄
20	信用高倍率上位銘柄
21	信用低倍率上位銘柄
22	信用買い残増上位銘柄
23	信用買い残減上位銘柄
24	信用売り残増上位銘柄
25	信用売り残減上位銘柄
26	出来高乖離率上位銘柄
27	ティック数上位銘柄

5 市場

国内株式は東証プライム市場、東証スタンダード市場、東証グロース市場、JNX、CboePTS（Chi-X）、米国株式はNYSE、NASDAQの中から対象とする市場を選びます。

6 銘柄一覧

各種条件に沿った銘柄が一覧表示されます。

7 フラグ機能

「注目」列をクリックすると、ランキングに表示されている銘柄にフラグを設定できます。一度設定するとフラグは固定されるので、該当銘柄のランキングが上下したり表示圏外となったりした場合でも、フラグ表示を追うことで銘柄を見つけやすくなります。赤、青、黄色の各色50銘柄まで設定できます。

ヒートマップを分析する

ヒートマップとは、株価の上昇・下落を色の違いや濃淡で視覚的にとらえることができる機能です。また、各銘柄のサイズは時価総額の規模を表しています。国内株、米国株の当社取扱い銘柄を一つのヒートマップとして表示できます。なおヒートマップには銘柄名、前日比の騰落率が表示されています。銘柄をシングルクリックしていただくと、板が表示されますので、そこからワンクリックで発注することができます。

● 国内株式

● 米国株式

ミニチャートを表示する

ヒートマップ上で銘柄にカーソルを充てると、ミニチャートが表示されます。

1. 前日時間外取引：灰色
2. 当日取引（前日終値比マイナス）：緑色
3. 当日取引（前日終値比プラス）：赤色
4. 当日時間外取引：灰色

ヒートマップを拡大する

マーケットスピードIIのヒートマップでは、ズーム機能を搭載していますので、拡大して表示することができます。

リプレイ機能（再生機能）を使うには

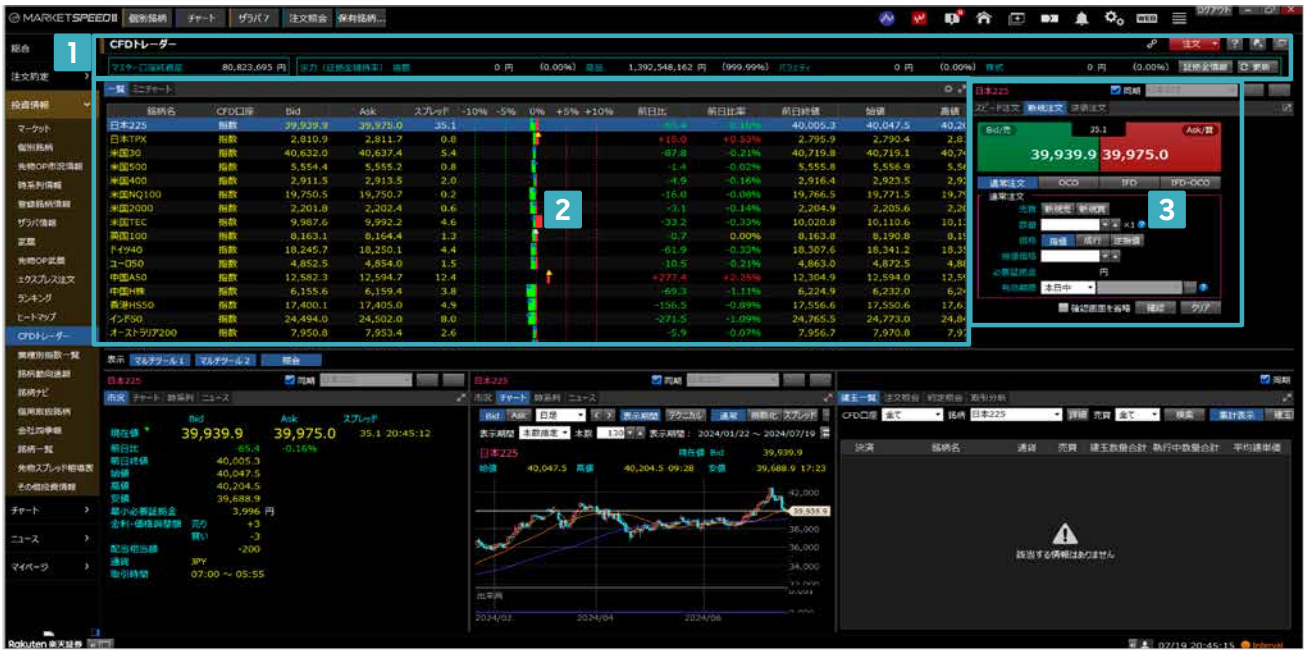
リプレイ機能を搭載していますので、一日の動きを取引終了後でもご確認いただくことができます。画面上部のバーを動かすことで、任意の時間帯の状況をご確認いただけます。

再生速度を設定し、寄り付きから引けまでの状況をリプレイいただくこともできます。

CFDトレーダーを活用する

「投資情報」内にある「CFDトレーダー」では、CFD銘柄の一覧を表示することができるほか、選択したCFD銘柄の市況情報やチャートを見ることができます。また実現損益や損益期待値など、多様なお客様の取引データをグラフ化し、取引分析をサポートします。

● CFDトレーダー



1 証拠金情報

CFDトレーダーを表示した時点のマスター口座純資産と各CFD口座の取引余力、証拠金維持率を確認することができます。右側にあるボタンをクリックすると証拠金情報が更新されます。

2 銘柄一覧

「一覧」を選択している場合は、取扱銘柄が一覧で表示されます。「ミニチャート」を選択している場合は、取扱銘柄がミニチャートで表示されます。ミニチャートの足種はボタンをクリックすることで一括で切り替えることができます。

「一覧」選択時

「ミニチャート」選択時

3 注文パネル

スピード注文、通常注文、逆指値注文をはじめとしたCFD取引の注文を出すことができます。

同期にチェックをすると銘柄一覧で選択した銘柄と同期することができます。

最適化表示ボタンをクリックすると注文種毎の最適な画面幅に調整されます。

CFDトレーダーを活用する(続き)

● CFDトレーダー

4 マルチツール/照会

情報の表示/非表示をボタンをクリックすることで切り替えることができます。

同期にチェックをいれることで銘柄一覧で選択した銘柄と同期することができます。

マルチツール

マルチツールには市況、チャート、時系列情報、ニュースのタブがあり、タブを切り替えることでそれぞれの情報にすぐアクセスすることができます。マルチツールを活用することで、市況情報と同時にチャートやニュースを確認したり、他の表示パーツと組み合わせて配置の自由度を広げたりすることができます。

照会

照会には建玉一覧、注文照会、約定照会、取引分析のタブがあり、タブを切り替えることでそれぞれの情報にすぐアクセスすることができます。

5 取引分析

お客様の取引データをグラフ化し、取引分析をサポートします。

サマリ画面

取引状況

売買比率	表示対象期間の全約定の件数ベースの売買比率が表示されます。
売買損益率	表示対象期間の売買別の実現損益額の比率が表示されます。
リスクワード	表示対象期間の利益を出した取引の平均利益、損失を出した取引の平均損失が表示されます。

サマリ

純資産	純資産額(マスター口座+各子口座の価格の合計)が表示されます。
評価損益額	各建玉の評価損益(円)の合計が表示されます。
実現損益	各約定の決済損益(円)の合計が表示されます。
Profit Factor	利益と損失の絶対値比率が表示されます。
Pay-off Ratio	1取引当たりの平均実現益と平均実現損の絶対値比率が表示されます。
損益期待値	1取引で得られる決済損益の期待値が表示されます。

勝率

勝率	表示対象期間の実現損益がプラスの約定を勝ち、マイナスの約定を負けとしたときの件数ベースの勝敗の比率が表示されます。
買建勝率	表示対象期間の決済売約定の実現損益がプラスの約定を勝ち、マイナスの約定を負けとしたときの件数ベースの勝敗の比率が表示されます。
売建勝率	表示対象期間の利益を出した取引の平均利益、損失を出した取引の平均損失が表示されます。

損益

銘柄別損益	表示対象期間に約定した取引の実現益、実現損のトップ5の銘柄が表示され、各銘柄の実現損益合計が表示されます。
保有期間別損益	表示対象期間に約定した取引の実現損益合計が建玉の保有期間別に表示されます。
曜日別損益	表示対象期間に約定した取引の実現損益合計が曜日別に表示されます。

業種別指数一覧をチェックする

● 業種別指数一覧

「業種別指数一覧」では、東証の33業種別株価指数のリアルタイム値と業種の構成銘柄の一覧を表示します。なお画面の上段には指数の一覧が表示され、いずれかの指数をクリックすると、指数の構成銘柄が下段に表示されます。なお上段の業種別指数一覧も下段の該当銘柄一覧も、表示項目をクリックすると表示順序の並び替えが可能です。

1 業種一覧

東証の業種別株価指数のリアルタイム値です。

2 構成銘柄

選択している業種の構成銘柄一覧が表示されます。

マーケットスピード II は
ココが進化!!

業種別チャートや前日騰落率の表示に対応

業種別チャート

指数一覧の左端の📊ボタンをクリックすると、別ウィンドウで業種別チャートの詳細が確認できます。

前日騰落率

指数は前日比率での騰落率もチェックできます。項目名をクリックすれば、昇順または降順で騰落率を並び替えできます。指数の並び替えも可能です。

指数一覧から出遅れ銘柄を発掘する

1 前日比率で並び替え

指数一覧から「前日比率」をクリックして、特に上昇の勢いが強い傾向にある業種を選択します。

2 構成銘柄

下段に選択した業種の銘柄一覧が表示されます。

3 並び替え

「前日比率」をタップして、騰落率が低い銘柄順に並び替えます。

4 個別銘柄表示

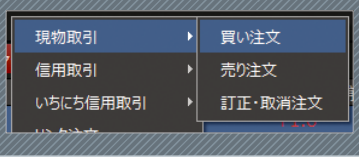
一覧中に上昇が出遅れている銘柄があれば、選択後に右クリックから「投資情報」→「個別銘柄」で個別に詳しい情報を確認できます。

指数は前日比率での騰落率もチェックできます。項目名をクリックすれば、この騰落率順での指数の並び替えも可能です。

マーケットスピード II は
ココが進化!!

右クリックから即注文

銘柄一覧で銘柄を選択した後、右クリックのメニューからは注文画面への移動や登録銘柄情報の登録などもスピーディーに行うこともできます。



国内株式 米国株式 先物OP CFD

銘柄ナビで銘柄を検索する

「投資情報」内にある「銘柄ナビ」では、テーマやチャート形状といった条件別に銘柄を検索できます。マーケットの流行から手っ取り早く銘柄を探したい方は、「テーマ別検索」でぜひ関連銘柄をチェックしてみましょう。また「スーパースクリーナー」も市場や投資金額での絞り込みだけでなく、財務やテクニカルなどを用いた詳細検索も行えます。いずれの検索方法でも、表示された銘柄をクリックすると投資情報の確認ができます。

国内株式 米国株式

検索ワザその1 スーパースクリーナー 細かな条件指定で銘柄を絞り込む

こんなときに便利!!

- PERや値上がり率などより多角的な条件で絞り込みたい
- 高度な銘柄絞り込みを行いたい

「スーパースクリーナー」では国内株式だけでなく米国株式についても市場や企業規模のほか、財務やコンセンサスなど幅広い条件で絞り込むことができます。「信用買い残・売り残」や「PCFR(株価キャッシュフロー倍率)」「EV/EBITDA倍率(簡易買収倍率)」などテクニカル、ファンダメンタルズの両面から銘柄の高度な抽出が可能です。

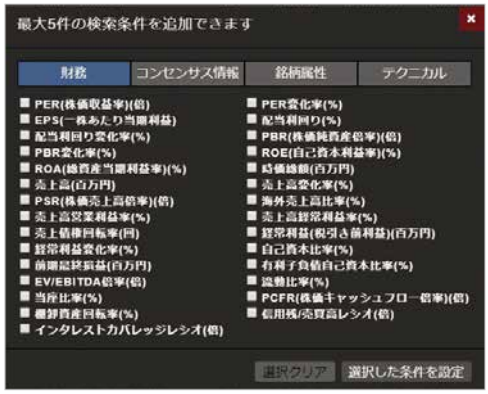
● スーパースクリーナー

1 条件指定

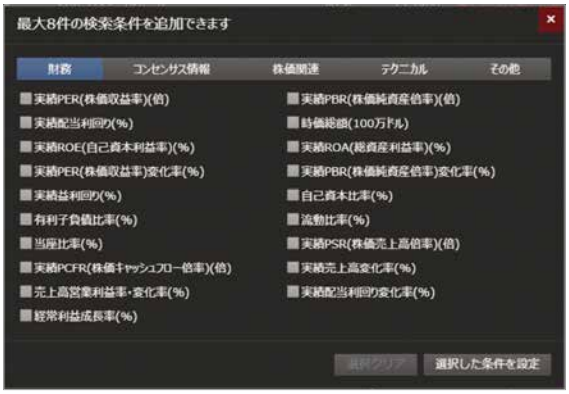
市場や出来高などのほか、「+検索条件追加」をクリックすれば、財務やコンセンサス情報、銘柄属性やテクニカルなどより細かな条件を指定できます。国内株式と米国株式で設定できる条件は異なり、国内株式は最大5件、米国株式は最大8件まで追加できます。

⊕検索条件追加

国内株式



米国株式



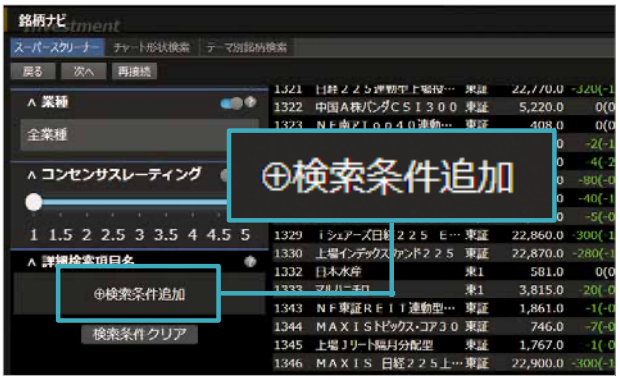
2 銘柄一覧

検索結果一覧です。右上のボタンから銘柄の一括登録や検索条件保存ができます。

検索条件を設定して絞り込む　（画面は国内株式）

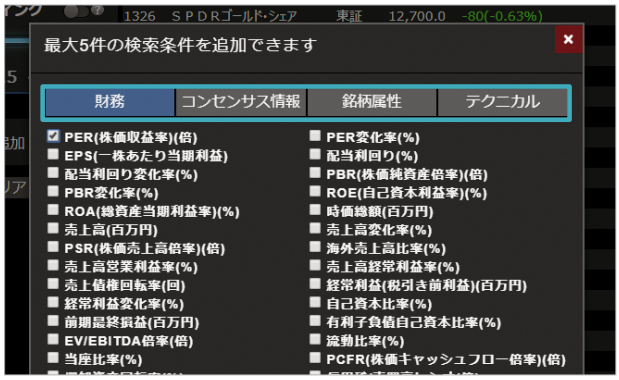
1 検索条件設定

「検索条件追加」をクリックして条件画面を呼び出します。



2 条件選択

「財務」「コンセンサス情報」「銘柄属性」「テクニカル」の4つのカテゴリから検索条件を選択します。カーソルを合わせると、項目の説明が表示されます。



3 条件設定

バーを左右調整して、選択した検索条件の値を設定します。

4 表示

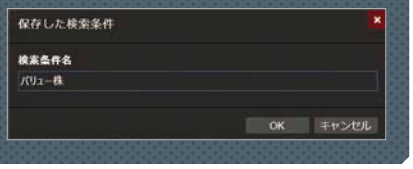
値に応じて検索結果が更新されます。

5 検索条件保存

銘柄検索結果の右上にある「検索条件保存」をクリックすると、次回以降同じ条件で活用できます。活用する際は、「保存した検索条件」をクリックしてください。

ココもPOINT　検索条件はお好みの名称で管理

検索条件はスクリーニング条件名や「バリュー株」などの分類名などで、自由に名前変更して管理できます。



国内株式

検索ワザその2 チャート形状検索 値動きをベースに銘柄を探す

こんなときに便利!!

- 値下がりして割安感の強まった銘柄を探したい
- 上昇トレンド中の銘柄の押し目買いを狙う

「チャート形状検索」のページでは、単に上昇中の銘柄だけでなく、「上昇が一服」「着実に上昇」「一旦下がったあとのリバウンド」など、25パターンの形状のチャートから銘柄を絞り込むことができます。また上昇中だけでなく、値下がり基調の銘柄も「下げ渋る」「もみ合いながら下落」など多様なチャートから検索できるので、売り方の取引でも活用できます。

チャート形状検索

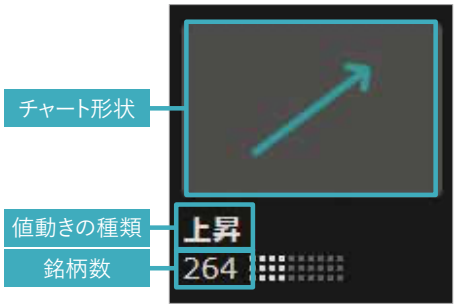
1 条件指定

代表的な9パターンか、より細かく分類した25パターンかチャート形状の表示を選択します。また右側に表示する銘柄について、下記の通り、市場や出来高を条件に絞り込みできます。検索条件の保存はページ右側の「検索条件保存」から行えます。

市場	東証プライム/東証スタンダード/東証グロース/ほか
出来高	1万単元以上／5千単元以上／千単元以上
投資金額	全て／10万円以下／50万円以下／100万円以下
値動き	全て／大／中／小
期間	1か月／3か月／6か月

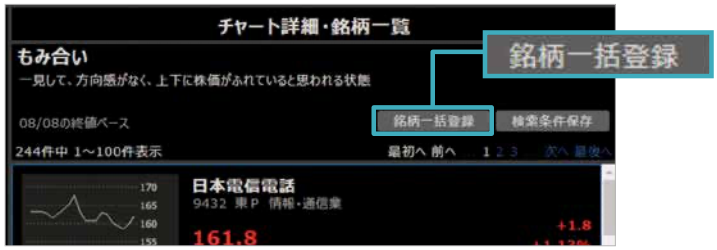
2 チャート一覧

チャート形状とそれに該当する銘柄数を確認できます。



3 チャート詳細・銘柄一覧

該当する銘柄一覧です。いずれも終値ベースで表示されます。右上のボタンから銘柄を一括登録できます。



検索ワザその3 テーマ別銘柄検索 旬なテーマ別に銘柄を探す

こんなときに便利!!

- 今どんなテーマが注目されているのか知りたい
- 関連銘柄の騰落率もあわせてチェックしたい

ローカルメニュー「銘柄ナビ」内の「テーマ別銘柄検索」では、今注目されているテーマを簡単にチェックできます。テーマはそれぞれ騰落率などのほか、関連銘柄の値動きも右側に表示されます。

● テーマの探し方はこの4つ

人気ランキング	過去72時間のアクセス数から人気のテーマを表示
急上昇ランキング	過去24時間のアクセス増加数から急上昇のテーマを表示
ジャンル	楽天証券独自の分類ジャンルからさらに細かくテーマを表示
保存したテーマ	保存しておいた登録テーマを一覧表示

ココで選択

● テーマ別銘柄検索（人気ランキング）

1 表示一覧選択

上記の「人気ランキング」や「急上昇ランキング」など、テーマの探し方をクリックで切り替えます。

2 騰落率

「過去1ヶ月の騰落率」「過去3ヶ月の騰落率」「過去6ヶ月の騰落率」「過去1年の騰落率」の中から表示させる騰落率を選択します。

3 テーマ一覧

1で選択した内容に該当するテーマが表示されます。

4 テーマ詳細

3で選択したテーマの概要を紹介します。右側にカーソルを移動すると、「登録銘柄」や「お気に入り」への関連銘柄の一括登録や、次回以降も注目テーマを確認しやすいようにテーマを保存するボタンがあります。

5 関連テーマ

選択中のテーマと関連性の高いテーマを表示します。クリックすると表示テーマが切り替わります。

6 銘柄一覧

テーマに関連した銘柄を一覧表示します。現在値や前日比率などの市況のほか、関連度をチェックできます。

チャート

マーケットスピード II では、50種類以上の豊富なテクニカルチャートが活用できます。また計算期間の編集やテクニカルチャートの重ねがけ、オシレータ系の縦並び表示など多彩な使い方ができます。ぜひ解説をもとに使いこなしてみましょう。

国内株式　米国株式　先物OP　CFD

チャート画面の見方

● チャート

高度なチャート機能は「チャート」で呼び出すことができます。以下の1～19を参考に、銘柄欄に表示したい銘柄名や銘柄コードを入力して、「市場」や「情報種類」、「期間」を設定して個別チャートを表示しましょう。また個別銘柄のほか、日経225などのマーケットや東証株価指数33業種も表示できます。なお、チャートの表示はリアルタイムに自動更新されます。

1 一括変更

18複数チャートを表示した場合、一括で変更ができます。

2 カテゴリ指定

「個別銘柄」「マーケット」「業種別指数」の3つの中から、表示するチャートを選択します。

3 銘柄セレクター

2で選択した個別銘柄やマーケット、指数などのリストが表示されます。

4 個別銘柄・銘柄コード・市場

個別銘柄を選択した場合、銘柄コードや市場を選択します。

5 詳細

市場や業種など絞り込み条件を指定できます。

6 情報種類

Tickや月足などのローソク足の種類を指定できます。

7 表示期間

チャートを表示する本数や足種ごとの表示期間を指定できます。

8 テクニカル

50種類以上のテクニカル指標から条件を指定できます。

9 チャート種類

通常チャート、指数化チャート、スプレッドチャートから選択できます。

指数化チャート

期間や情報種類を指定して、銘柄を指数化することで複数の銘柄の株価の連動性や相関性を確認できます。

スプレッドチャート

比較したい2銘柄を入力すると、複数銘柄の価格差に注目して分析できます。

10 十字カーソル

指定の座標の株価と日時を表示します。確認したい座標までカーソルを動かして数値を表示させます。

11 拡大・縮小

チャートを拡大したい場合は「+」をクリックします。クリックしたままマウスを動かすと範囲を変更できます。縮小したい場合は「-」をクリックします。

12 描画ツール

トレンドラインやフィボナッチなど、分析に便利な機能をチャート上に描画できます。

13 時価情報

銘柄の現在値や4本値を表示します。

14 凡例

始値や安値などの株価4本値や出来高を表示できます。

15 マイチャート

マイチャートの登録・適用・編集が可能です。

16 サムネイルチャート

両側にあるバーをスライドすると表示するチャート期間を調整できます。

17 印刷

チャートの印刷ができます。

18 チャート分割

一画面に表示するチャートの数を最大4つまで変更できます。

19 銘柄同期リンク

選択している同期グループを表示します。画面右上の同期グループと各チャートの左上にある同期グループが一致していると銘柄が連動してチャートが変わります。

マーケットスピード II はココが進化!!　マーケットスピード II のチャートは、主に下の点が進化しています。

1. 平均取得単価がチャート上に描画される
2. 執行中の指値の確認、訂正が可能
3. チャートを分割し（最高4分割）、同時表示が可能
4. マウスでスケールを調整
5. 33業種のチャートに対応
6. テクニカルチャートの重ねがけ（5つまで）
7. オシレータ系（テクニカル指標）を5つまで縦並びに同時表示可能

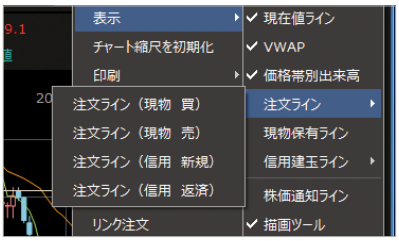
注文中の指値を確認する

1 チャート表示

指定の銘柄のチャートを表示します。

2 右クリック

チャートの上にカーソルをあわせて右クリック後「表示」→「注文ライン」で（現物買）や（信用 新規）など、注文を選択して表示します。



マーケットスピード II では、執行中の指値をチャート上に表示できます。注文が約定するかどうか、分析する際に便利です。

ココもPOINT ダブルクリックでも注文画面起動

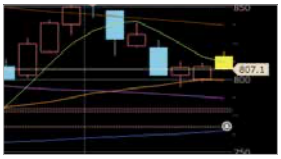
チャート上でダブルクリックすると注文画面を起動できます。クリックした価格が指値として入力されるので、スピーディーに注文できます。

3 チャート上で指値変更

チャート上に表示された指値の線をドラッグ&ドロップで移動させることで、指値の価格を変更することもできます。現在値を確認しながら調整したいときに便利です。

4 平均取得単価・建単価確認

約定後は保有中の平均取得単価や建単価がチャート上に表示されます。



チャートを複数表示・一括変更

1 分割画面

チャート右上の分割選択のアイコンをクリックします。最大4つまで表示できます。

2 同じ同期グループを選択

同期グループは鎖のアイコンから選択できます。画面右上の同期グループと同じグループのチャートは一括で切り替わります。

異なる足種で同じ銘柄を同時表示するといった、より高度な分析も分割表示によって可能になります。その場合、同期グループを一致させることで銘柄を同時に切り替えることができ、大変便利です。

マイチャート機能の活用

表示設定やテクニカル指標のパターンを10個まで登録し、表示しているチャートに適用することができます。

1 登録

「登録」ボタンから現在表示しているチャートの設定やテクニカル指標を登録します。

2 編集

「編集」ボタンから登録されているマイチャートを編集できます。マイチャートを削除することも可能です。

3 適用

マイチャートが登録されている番号をクリックすると、現在表示しているチャートに登録内容が適用されます。

テクニカル指標の設定変更

テクニカル指標は、対象とする期間や線の色、太さなどを変更できます。使いやすいようにカスタマイズしておきましょう。

1 凡例

テクニカルチャートを表示後、凡例の上にカーソルを移動させます。

2 設定変更

ダブルクリックすると、期間などの編集画面でカラー設定などができます。

マーケットスピードで表示可能なチャート

テクニカルチャートの分析では、相場の全体的なトレンド（方向性）を判断することを目的とした「トレンド系分析」と、現在のトレンドの強さや過熱感など変化の大きさや転換点を推測することを目的とした「オシレーター系分析」の2種類があります。ここでは、マーケットスピードIIで表示できるテクニカル指標を紹介します。

トレンド系　相場の方向性を読み取る

チャート名	表示項目	計算期間（初期値）			概要と基本的な見方
		日足	週足	月足	
単純移動平均線	単純移動平均線（1本目）	5日	13週	9ヵ月	当日を含む指定期間で、終値の平均値をグラフ化したもの。平均値を期間の最終取引日に記録します。5日移動平均線の場合、当日を含めた過去5日分の終値を平均し、それを最終取引日の移動平均値（単純移動平均線）とします。
	単純移動平均線（2本目）	25日	26週	24ヵ月	
	単純移動平均線（3本目）	75日	52週	60ヵ月	
	単純移動平均線（4本目）	125日	104週	90ヵ月	
	単純移動平均線（5本目）	175日	200週	150ヵ月	
一目均衡表	転換線	9日	9週	9ヵ月	一目均衡表は、「相場の帰趨が一目瞭然にわかる」ことから名付けられています。基準線、転換線、遅行スパン、先行スパン1、先行スパン2の5本の線で構成され、基準線と転換線とのクロスや、遅行スパンによる株価の上(下)抜け、先行スパン1と2が形成する「雲」と株価の位置関係など、見た目の変化による判断だけでなく、時間軸や波動、値幅観測などの分析アプローチがあります。
	基準線	26日	26週	26ヵ月	
	先行スパン1	26日	26週	26ヵ月	
	先行スパン2	52日	52週	52ヵ月	
	遅行スパン	26日	26週	26ヵ月	
一目均衡表（時間論・基本数値）	本数	—			画面に表示されている期間の最高値または最安値で最初に出現したポイントをスタート地点とし、その地点から基準数値を経過したところに縦線を描画したもの。
回帰トレンド	±1σ	125日	125週	125ヵ月	任意の期間の値動きの真ん中を通るように引いた線。統計学などで用いられる回帰直線や最小二乗直線と同様に、各株価の終値からこの直線に垂線を引いた時に、その垂線の長さの合計が最も小さくなるように描画します。次数に応じてトレンドを数式で表し、指定期間において最小2乗法を用いて係数を算出します。
	±2σ				
	FIT				
フィボナッチ（戻り・ザラ場）	押し/戻し	—			画面で表示されている期間の最高値と最安値の幅を1（最安値を0、最高値を1）とし、押し（戻し）幅のところに横線を描画します。フィボナッチ比率に基づいて、価格の支持帯と抵抗帯を予測するテクニカル分析ツールのひとつで、上昇トレンド中の「押し目」と、下降トレンド中の「戻し」がどこで発生するのか予測します。よく用いられる数値は61.8%、50%、38.2%で、強いトレンドの場合、最小の戻し38%前後、弱いトレンドの場合は62%前後が節目となります。
フィボナッチ（戻り・終値）	押し/戻し	—			
フィボナッチ（新値・ザラ場）	押し/戻し	—			
フィボナッチ（基調転換）	押し/戻し	—			画面で表示されている期間の最高値または最安値で最初に出現したポイントをスタート地点とし、その地点からフィボナッチ級数を経過したところに縦線を描画したもの。
ボリンジャーバンド	MA（25）	25日	25週	25ヵ月	移動平均線をベースに、標準偏差で算出された幅を上下にσ（シグマ）と呼ばれるバンドで描いている指標です。バンドの幅が広いところは値動きの変動率（ボラティリティ）が大きく、反対に狭くなっているところは小さいことを意味します。ボリンジャーバンドでは統計学の正規分布の考えが反映され、±1σの範囲では約68%、±2σでは約95%、±3σでは約99%の確率で株価が収まるとされています。一般的には、「高い確率で収まるべき株価が範囲を超えることは行き過ぎ」とする逆張りの見方になりますが、状況によっては、「新たな局面の始まり」とする順張りの見方で捉えることもあります。
	±1.00σ				
	±2.00σ				
	±3.00σ				
	バンド幅（1.00σ）				
	バンド幅（2.00σ）				
	バンド幅（3.00σ）				
	%b（1.00σ）				
	%b（2.00σ）				
	%b（3.00σ）				
パラボリック	下降	0.02日	0.02週	0.02ヵ月	マーケットの状況が変わる「転換点」を設定しておき、上昇トレンドの時には買い建玉を保有し続け、転換点で買い建玉を決済（もしくは売り建玉を保有）する際に用いるテクニカル指標。転換点のことをSAR（ストップ&リバース）と呼び、それをつないだ形状が放物線状なので、パラボリック（放物線）と呼ばれます。一般的にパラボリックが上昇しているとき（SAR-L）にローソク足が上から下に突き抜けたら売りのシグナル、パラボリックが下降しているとき（SAR-H）にローソク足が下から上に突き抜けたら買いのシグナルと言われています。
	上昇				
エンベロープ	乖離幅（±1.00%）	25日	25週	25ヵ月	移動平均線を中心に上下に一定の値の差をつけて表したラインのこと。相場価格が移動平均線からどのくらい離れているかを見ることができます。相場価格が移動平均線からある程度離れると移動平均線の方向に戻る傾向が強いため、相場価格の反転、下落の判断材料になります。
	乖離幅（±2.00%）				
	MA（25）				

チャート名	表示項目	計算期間(初期値)			概要と基本的な見方
		日足	週足	月足	
ピーク ボトム	ピークボトム	10日	10週	10ヵ月	当日を含まず指定期間内での高値を「ピーク」、安値を「ボトム」とし、チャート上にピークとボトムの日付、レートを表示します。日柄を指定した場合は高値から高値、安値から安値、高値(安値)から安値(高値)のローソクの本数を表示します。
指数移動 平均線	指数移動平均線(1本目)	5日	5週	5ヵ月	直近の価格に比重を高く反映させ、残りの日は影響を低く構成して算出します。期間の終値を単に平均しただけの単純移動平均線に対して、指数移動平均線は直近の価格に比重を置いており、相場の動きに早く反応するため、トレンドの転換を早めに確認できます。
	指数移動平均線(2本目)	25日	25週	25ヵ月	
	指数移動平均線(3本目)	75日	75週	75ヵ月	
	指数移動平均線(4本目)	120日	120週	120ヵ月	
	指数移動平均線(5本目)	150日	150週	150ヵ月	
HLバンド	Hバンド	20日	20週	20ヵ月	ダウ理論でも使われる主要な安値、高値を捉えるテクニカル指標。チャートでは、Hバンド(前の足から遡ってX日間の高値)、Lバンド(前の足から遡ってX日間安値)、ミドルバンド(中心線。HバンドとLバンドの仲値)の3つで構成されます。
	Lバンド				
Variable Volatility Store	VVSダウン	21日	21週	21ヵ月	終値と実質変動幅からトレンドを見極め、ポジションの手仕舞いのタイミングを見極める際に用いるトレンド指標。下落トレンドの場合、価格の上に「赤いプロット」が、上昇トレンドの場合、価格の下に「青いプロット」が表示されます。
	VVSアップ				
多重移動 平均線	多重移動平均線(1本目)	2日	2週	2ヵ月	設定期間の異なる移動平均線を複数表示するテクニカル指標。期間の短い移動平均と長い移動平均では相場の動きに反応する速度が異なりますが、多重移動平均を用いることで両者の間の細かい反応の動きを見ることができます。当日を含む指定期間で終値の平均値をグラフ化、合計14本の移動平均線を描画します。
	多重移動平均線(2本目)	4日	4週	4ヵ月	
	多重移動平均線(3本目)	6日	6週	6ヵ月	
	多重移動平均線(4本目)	8日	8週	8ヵ月	
	多重移動平均線(5本目)	10日	10週	10ヵ月	
	多重移動平均線(6本目)	12日	12週	12ヵ月	
	多重移動平均線(7本目)	14日	14週	14ヵ月	
	多重移動平均線(8本目)	16日	16週	16ヵ月	
	多重移動平均線(9本目)	18日	18週	18ヵ月	
	多重移動平均線(10本目)	20日	20週	20ヵ月	
	多重移動平均線(11本目)	22日	22週	22ヵ月	
	多重移動平均線(12本目)	24日	24週	24ヵ月	
	多重移動平均線(13本目)	26日	26週	26ヵ月	
	多重移動平均線(14本目)	28日	28週	28ヵ月	
加重移動 平均線	加重移動平均線(1本目)	5日	5週	5ヵ月	単純移動平均線よりも直近の価格に比重を置いた移動平均線。当日を含む指定期間内で、終値に異なる係数を掛けて平均を求め、それをグラフ化したもです。
	加重移動平均線(2本目)	25日	25週	25ヵ月	
	加重移動平均線(3本目)	75日	75週	75ヵ月	
	加重移動平均線(4本目)	120日	120週	120ヵ月	
	加重移動平均線(5本目)	150日	150週	150ヵ月	
ピボット	HBOP	—			ピボット値【(前日の高値+安値+終値)÷3】を軸として、翌日の売買の目安となるサポートライン(支持線)とレジスタンスライン(抵抗線)を計算したもの。明日の値動きを予想するために、高値・安値・終値の3つの値が一番参考になるであろうという考えから考案されました。
	抵抗線1				
	抵抗線2				
	支持線1				
	支持線2				
	LBOP				
時系列新 値足	高値	3日	3週	3ヵ月	新値足が、縦軸に価格をとり横軸に時間の概念が入らない不規則時系列チャートであるのに対し、横軸に時間の概念を含ませたものが時系列新値足です。価格変動がない期間であっても足をスライドさせて描画します。小さな価格変動にとらわれず、トレンド転換を知るために用います。
	安値				
陰陽足	始値	10日	10週	10ヵ月	当日を含む指定期間の終値の平均値と、前日までの指定期間の終値の平均値を比較し、前日より当日が高ければ陽線、低い場合は陰線を描画します。異なる複数の期間の陰・陽線を同時に表示し、相場のトレンドと勢いを確認する際に用います。
	終値				

オシレーター系　相場の転換点を分析する

チャート名	表示項目	計算期間(初期値)			概要と基本的な見方
		日足	週足	月足	
出来高	出来高(1本目)	5日	5週	5ヵ月	「売買高」ともいい、その株が売買された取引量を表します。株価チャートが日足ならその日、週足ならその週の株価や状況で、売る側と買う側の双方からたくさんの希望者が出てくると、取引が活発化して、出来高の棒グラフも大きくなり、投資家からの注目度が高いことが確認できます。
	出来高(2本目)	25日	25週	25ヵ月	
	出来高(3本目)	75日	75週	75ヵ月	
	信用残 買	—	—	—	
	信用残 売				
移動平均乖離率	移動平均乖離率(1本目)	5日	5週	5ヵ月	当日を含む指定期間の移動平均と終値との差を%で表したもの。価格が移動平均線からどれだけ離れているかを数値化し、移動平均線からの離れ具合で「買われすぎ」や「売られすぎ」を判断する際に用います。
	移動平均乖離率(2本目)	25日	25週	25ヵ月	
	移動平均乖離率(3本目)	75日	75週	75ヵ月	
RSI	RSI	14日	14週	14ヵ月	「相対力指数」とも呼ばれています。一定期間内の値幅のうち、上昇した分の値幅がどのくらいあるかを示したもので、0%～100%の範囲で表されます。RSIが100%であれば、株価が一定期間上昇し続け、0%ならば下落し続けていたことを意味します。一般的に80%(70%)以上で買われ過ぎ、20%(30%)以下で売られ過ぎとされます。また、当日の株価を含んで計算されるマーケットスピードオリジナルのRSIがあります。
RSI(MSオリジナル)	RSI(MSオリジナル)	14日	14週	14ヵ月	
ストキャスティクス	%K	14日	14週	14ヵ月	当日を含む指定期間の変動幅の中で、どの程度の強さ・弱さ(売られ過ぎ・買われ過ぎ)なのかをグラフ化したもの。ストキャスティクスは%K・%D、スローストキャスティクスは%D・%SDを表示します。一般的に70%以上で高値圏、30%以下で安値圏と言われています。
	%D	3日	3週	3ヵ月	
スローストキャスティクス	%D	3日	3週	3ヵ月	
	%SD				
ストキャスティクス(MSオリジナル)	%K	14日	14週	14ヵ月	
	%D	3日	3週	3ヵ月	
MACD	MACD	5日	5週	5ヵ月	短期と長期の指数移動平均線の価格差の推移をグラフ化したものです。さらに、MACDを移動平均線化したシグナルとの2本の線で表します。一般的には、MACDがシグナルや0円ラインを上(下)に抜けたところが買い(売り)のサインになります。
	Signal				
RCI	RCI(1本目)	5日	5週	5ヵ月	当日を含む指定期間の日付(時間)と終値それぞれに順位をつけることで、両者にどれだけの相関関係があるのかを数値化し、グラフにしたもの。売られ過ぎか買われ過ぎかを見極め、売り買いのタイミングを判断する際に用います。一般的に+80%以上で高値圏、-80%以下で安値圏と言われています。
	RCI(2本目)	10日	10週	10ヵ月	
DMI	±DI	14日	14週	14ヵ月	プラス方向への強さを示す+DI、マイナス方向への強さを示す−DI、トレンドの強さを示すADXの3本の線で表され、相場の方向感を判断するのに用いられます。基本的には、ADXが上昇しているときに+DIが−DIを上(下)に抜けたら、買い(売り)のサインとされます。
	ADX				
強弱レシオ	Aレシオ	26日	26週	26ヵ月	強弱エネルギー（Aレシオ)と強弱人気(Bレシオ)の変化の累積を数値化したもの。市場のエネルギーや人気(加熱度)を確認し、売り・買いを判断する際に用います。一般的に各レシオが底値圏(天井圏)で株価の下落(上昇)に逆行して上昇(下落)し始めるときは買い(売り)シグナルと言われています。
	Bレシオ				
モメンタム	モメンタム	10日	10週	10ヵ月	相場の勢いや方向性を判断する指標で、計算式は現在の株価から一定期間前の株価を引いただけとなります。株価上昇のスピードが一定だとラインは横ばい、上昇していてもスピードが下落した場合はラインが下降します。トレンドの反転はゼロラインとクロスした時となり、先行指標としても活用できます。
ROC	ROC	25日	25週	25ヵ月	当日の終値÷指定期間前の終値×100をグラフ化し表したもの。相場に勢いがあるのか否かを把握する際に用います。
サイコロジカルライン	サイコロジカルライン	12日	12週	12ヵ月	計算期間(過去12営業日で計算)の中で、株価が上昇した日数が何%になっているかを計算し数値化したもの。売買のタイミングを把握する際に用います。一般的に80%以上は過熱、20%以上は底入れと言われています。
ATR	ATR	14日	14週	14ヵ月	ATR(アベレージトゥルーレンジ)は、株価の値動きの変化を掴むのに有効とされます。その特徴は、「当日高値-当日安値」「当日高値-前日終値」「当日安値-前日終値」の3つのうち、最大のものを「真の値幅(TR：トゥルーレンジ)」としている点です。ATRはこのTRの移動平均線になります。
CCI	CCI	20日	20週	20ヵ月	「相場には一定のサイクル(周期)があり、そのサイクルを捉えることができれば利益を狙える」という考え方が背景にある指標です。現在の株価水準が、指定した期間の値幅に対してどの位置にあるのかを表しています。基本的には−100%を超えたら買い、100%を超えたら売りのサインとなります。
ウィリアムズ%R	ウィリアムズ%R	14日	14週	14ヵ月	当日の価格が指定期間内の高値と安値のレンジの中でどの位置にあるかを示したもので、買われすぎや売られすぎを判断する際に用いられます。0%～−100%の範囲で表され、0に近いほど買われすぎ、−100に近いほど売られすぎとされます。

チャート名	表示項目	計算期間(初期値)			概要と基本的な見方
		日足	週足	月足	
Aroon-Indicator	アップ	14日	14週	14ヵ月	当日を含む指定期間の最高値、最安値の経過日数をグラフ化したもの。新しいトレンドの始まりを見極め、トレンドの有無・強弱を判断する際に用います。一定期間中の高値・安値の更新頻度を分析し、トレンドを見極める際にも役立ちます。Aroon-Oscillatorは、{Aroon-Indicator(アップ)-(マイナス)Aroon-Indicator(ダウン)}で求めることができます。
	ダウン				
Aroon-Oscillator	Aroon-Oscillator	14日	14週	14ヵ月	
DPO	DPO	20日	20週	20ヵ月	{当日の終値ー(指定期間×0.5+1)日前の指定期間}の単純移動平均をグラフ化したもの。比較的短期の価格変動によって形成されるピークやボトムを把握する際に用います。
UOS	UOS	7日	7週	7ヵ月	「究極のオシレーター」と呼ばれるテクニカル指標です。TR(トゥルーレンジ)から買い圧力(BP)を測定し、指定期間の長短による欠点を補うため、短期、中期、長期のBPの変動幅を考慮に入れて計算されます。0%～100%の範囲内で表され、基本的には30%以下での逆行現象(ダイバージェンス)で買い、70%以上のダイバージェンスで売りのサインとなります。
ボラティリティレシオ	ボラティリティレシオ	14日	14週	14ヵ月	真の値幅(トゥルーレンジ)を直近N期のTR(トゥルーレンジ)で割ったもの。0.5に到達(または上回る)とブレイクアウトする可能性があると判断できます。
標準偏差	標準偏差	26日	26週	26ヵ月	株価のバラつき(散布)状況から値動きの変動率(ボラティリティ)を計測したもの。相場にトレンドが発生しているときは標準偏差の値も大きくなることが多く、トレンドの発生や強さなどを判断する際に用いられます。指定期間の株価データを母集団全体として計算する「標準偏差」と、母集団の一部として計算する「標本標準偏差」の2種類があります。
標本標準偏差	標本標準偏差	20日	20週	20ヵ月	
ボリュームレシオ1	ボリュームレシオ1	25日	25週	25ヵ月	株価に先行すると言われる出来高に着目し、株価が上がった日の出来高は上昇する力が働き、下がった日は下落する力が働くことから、両方の引っ張り合いの程度を数値化したもの。現在の株価は買われすぎか売られ過ぎかを判断する際に用います。一般的に1では、450%以上で高値圏、70%以下は安値圏。2では80%以上で高値圏、20%以下は安値圏と言われています。
ボリュームレシオ2	ボリュームレシオ2	25日	25週	25ヵ月	
レシオケータ	レシオケータ	25日	25週	25ヵ月	個別銘柄が日経平均株価などの指標に対してどのような位置にあるのかを見るためのテクニカル指標です。株価のみを使って出遅れた銘柄を探す際に用います。
騰落価格	騰落価格	—			画面で表示されている期間の左端の終値を基準に、ラインで騰落価格を表します。
騰落率	騰落率	—			騰落価格をもとに、ある期間の始めと終わりとで価格がどれだけ変化したかを表したものが騰落率です。対象の銘柄の株価がさらに上がるか・下がるかを判断する際に用います。
新足値	高値日付	3日	3週	3ヵ月	「非時系列チャート」の一種で、トレンドの継続と転換を探るための指標です。見た目はローソク足に似ていますが、時間軸ごとに新しい足が追加されるのではなく、高値(安値)を更新したときにだけ追加されます。売買の判断となる、陽線から陰線(売り)、陰線から陽線(買い)の転換は、指定した本数の安値(高値)を更新したときに描かれます。
	高値				
	安値日付				
	安値				
逆ウォッチ曲線	株価移動平均線	25日	25週	25ヵ月	株価が上昇、下落する際の動きと出来高の関係をグラフとして表したもの。出来高と株価の関係を同時に確認することができます。
	出来高移動平均線				
ポイントアンドフィギュア	ポイントアンドフィギュア(1本目)	5日	5週	5ヵ月	非時系列チャートの一種で、株価が設定した値幅(ポイント)よりも上昇すれば「×」、下落すれば「○」を書き足していきます。×と○の転換は、株価が別途設定したポイント数よりも変動した際に行われます。基本的な見方は、2列前の×(○)を上(下)抜けしたら買い(売り)となりますが、パターン分析やトレンド分析、カウンティングなど応用の見方が多彩な指標です。
	ポイントアンドフィギュア(2本目)	25日	25週	25ヵ月	
	ポイントアンドフィギュア(3本目)	75日	75週	75ヵ月	
カギ足	カギ足(1本目)	5日	5週	5ヵ月	非時系列チャートの一種です。株価の変動を1本の線をつないで描かれます。株価が上昇(下降)している時はその分だけ線を上(下)に伸ばし、高値(安値)から指定した比率以上のの下落(上昇)があった場合に、線を横にずらして描きます。
	カギ足(2本目)	25日	25週	25ヵ月	
	カギ足(3本目)	75日	75週	75ヵ月	
平均足	陽線/陰線	—			平均足は足を構成する4本値のうち、高値と安値はローソク足と同様、対象期間の最高値と最安値を用いますが、始値には直前の平均足の始値と終値の平均値、終値には対象期間の四本値の平均値を採用します。これにより、始値と終値で形成される「実体」に連続性が生まれ、トレンドの継続や転換などが把握しやすくなります。

ニュース・マイページ

「ニュース」では、最新市況をつかむのに便利なマーケットニュースのほか、ニュースを横断検索できる銘柄別検索や豊富な情報量の日経テレコンなど、8種のニュース機能を活用できます。また、「マイページ」では『総合』や『注文約定』『投資情報』など、各カテゴリーにて提供している画面を自由に登録できます。

8種のニュースを活用できる

マーケットニュース

ロイター・ジャパン社をはじめとした各社が提供するヘッドラインニュースをチェックできます。銘柄名やキーワードで検索できるほか、期間指定(当日／3日以内／7日以内)や「国内株式」「為替／金利」などのカテゴリ絞り込みもできます。

銘柄別ニュース検索

検索履歴や登録銘柄から、銘柄別にニュース検索できます。ページ下部からニュースの関連銘柄の個別情報ページにスピーディーに移動できます。

日経テレコン21

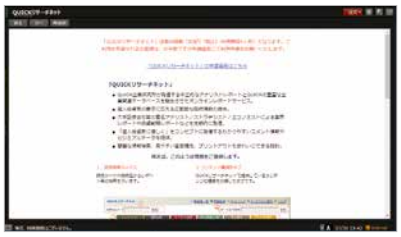
日本経済新聞社が提供する日本最大級のビジネスデータベースサービス「日経テレコン21」を無料で利用できます。日経新聞の朝刊・夕刊(楽天証券版)などをお読みいただけます。数多くのニュースからキーワード検索も可能です。

フィスコ市況

フィスコ社の提供するフィスコ市況速報(楽天証券版)をご利用いただけます。銘柄別のマーケット速報を日別に確認できます。

QUICKリサーチネット

QUICK企業研究所の提供する中立的なアナリストレポートと、QUICKの豊富な企業関連データベースを融合させたオンラインレポートサービスを利用できます。



四季報速報

東洋経済新報社が独自に選定した主要300社を中心に、年間2000本以上の担当記者コメントと独自の業績予想をチェックできます。期間指定でニュースの絞り込みもできます。

バロンズ・ダイジェスト

ダウ・ジョーンズ社が発行する米国で最も著名な投資週刊誌『バロンズ』の中から記事を厳選した『バロンズ・ダイジェスト』を無料で見ることができます。

決算速報

株式会社アイフィスジャパンが提供する決算速報をご利用いただけます。米国企業の決算情報も日本語でご確認いただけます。決算情報は発表から数分で配信されます。

マイページで画面をカスタマイズ

● マイページ

「総合」「注文約定」「投資情報」「ニュース」の各カテゴリにて提供している画面を自由に登録設定できる機能です。なお、各マイページ画面は、最大10画面まで同時に表示することができます。

1 マイページ

登録しているマイページを選択します。画面左上の鉛筆マークより、ページ名の変更が可能です。

2 画面追加

マイページに追加したい画面を選択します。左側のグローバルメニューのなかから選択します。

3 マイページ管理

マイページの追加、削除、入れ替え、ページ名の編集のほか、テンプレートの保存や読み込みが可能です。

4 画面分割

画面分割方法を選択します。「こだわり」では自由に画面構成をカスタマイズできます。

5 レイアウト固定

「固定」ボタンをクリックすると、画面の表示位置やサイズが固定されます。固定機能を解除する場合はもう一度クリックしてください。

画面カスタマイズの手順

1 画面追加

「+画面追加」をクリックして、メニューの中から追加したい画面を選びます。追加できるのは最大10画面までです。

2 ドラッグ&ドロップ

追加した画面をクリックしたままカスタマイズ欄にドロップします。

3 画面位置・サイズ調整

追加した画面は枠線をクリックして上下左右サイズ調整したり、ドラッグ&ドロップで位置の入れ替えもできます。

国内株式 操作方法ダイジェスト

手順1 買い注文を出す

注文を出したい銘柄の上にカーソルを置き、右クリック→「国内株現物取引」→「買い注文」をクリックすれば、下の画面が表示されます。

現在の価格や前日比など基本的な情報が確認できます。

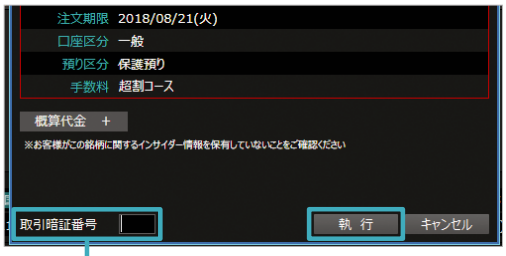
注文の種類を選択します。

数量や指値／成行の注文種類、および指値注文の価格を入力します。

執行条件の期限や口座区分を選択します。

入力したら「確認」をクリックします。

注文画面の種類を選択します。取引に合わせて5タイプの注文画面を選べます。



注文情報に誤りがなければ事前に設定した取引暗証番号(数字4桁)を入力後、「執行」をクリックします。

▸▸セット注文やアルゴ注文の方法はp27で確認

手順2 注文照会をみる

国内株(現物・信用)の注文内容の確認ができます。発注した注文は銘柄の左にある「訂正」「取消」より変更できます。、銘柄だけでなく口座区分や出力期間などで絞り込みもできます。

1 照会条件

注文種類(現物/信用)や銘柄、口座区分(特定/一般/NISA/旧NISA)など照会する注文の条件を入力・選択できます。「セット注文をまとめて表示」のチェックボックスを外すと売買(すべて/買/売)や注文状況も指定できます。チェックボックスを外して「検索」ボタンをクリックすると、銘柄名などの項目をクリックして並び替えもできるようになります。

2 訂正・取消

注文内容の訂正や取消ができます。別画面にて注文画面が起動します。

3 注文状況

通常注文、逆指値注文、アルゴ注文など注文種類別に「約定」「執行中」など注文状況を確認できます。

4 注文詳細

注文一覧からいずれかをクリックすると、日時や数量、銘柄などが表示されます。

5 指定埋情報

信用取引(買埋・売埋)の当該銘柄の注文詳細を確認できます。

手順3 約定照会をみる

「約定照会」では、約定した注文の詳細を確認できます。

1 注文種類

「全て／現物／信用」のいずれかを選択します。

2 銘柄

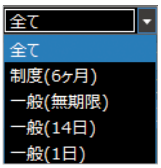
絞り込みたい銘柄コードや銘柄名を入力します。

3 口座区分

「全て／特定／一般／NISA／旧NISA」のいずれかを選択します。

4 信用区分

信用取引について、「全て／制度(6ヶ月)／一般(無期限)／一般(14日)／一般(1日)」のいずれかを選択します。



5 売買

「全て／買／売」のいずれかを選択します。

6 出力期間

「当日／1ヶ月／3ヶ月／6ヶ月／1年／期間指定」のいずれかを選択します。

7 検索

条件を選択後、「検索」をクリックします。

8 約定データ

約定日や受渡日など約定データの一覧が表示されます。なお、ページ下段のスクロールバーを右に移動すれば税金や諸費用なども確認できます。

手順4 保有銘柄をみる

現在保有している現物株の銘柄を確認するには、「注文約定」内の「保有銘柄一覧」でチェックできます。ここでは銘柄別に時価評価額や評価損益率のほか、PERや配当利回りなどの投資指標もまとめて確認できます。

手順5 売り注文を出す

買い注文と同様に「売り注文」を右クリックや画面右上の「注文」ボタンからクリックすると、「保有銘柄一覧」が表示されます。1で売り注文を発注したい銘柄を選択し、右の2で条件を入力します。誤りがなければ3で確認をクリックします。その後売り注文確認の画面で内容を確認し、4で取引暗記番号を入力し、執行をクリックします。

注文情報に誤りがなければ事前に設定した取引暗証番号（数字4桁）を入力後、「執行」をクリックします。

米国株式 操作方法ダイジェスト

手順1 買い注文を出す

注文を出したい銘柄の上にカーソルを置き、右クリック→「米国株現物取引」→「買い注文」をクリックするか、右上の「注文ボタン」から「米国株現物取引」→「買い注文」をクリックすれば、下の画面が表示されます。

現在の価格や前日比など基本的な情報が確認できます。

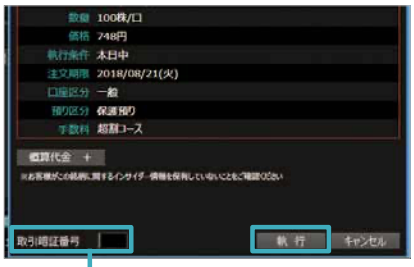
注文の種類を選択します。

数量や指値／成行の注文種類、および指値注文の価格を入力します。

執行条件の期限や口座区分、決済方法を選択します。

入力したら「執行」をクリックします。

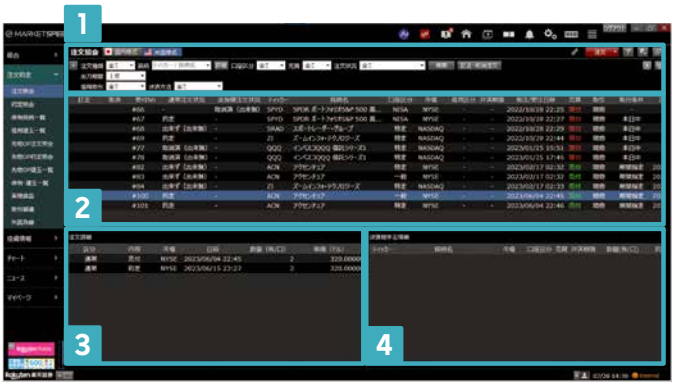
注文画面の種類を選択します。取引に合わせて5タイプの注文画面を選べます。



注文情報に誤りがなければ事前に設定した取引暗証番号(数字4桁)を入力後、「執行」をクリックします。

手順2 注文照会をみる

米国株式(現物・信用)の注文内容の確認ができます。発注した注文は銘柄の左にある「訂正」「取消」より変更できます。、銘柄だけでなく口座区分や出力期間などで絞り込みもできます。



1 照会条件

注文種類(全て/現物/信用)や銘柄、口座区分(全て/特定/一般/NISA/旧NISA)、売買や注文状況など照会する注文の条件を入力・選択できます。「検索」ボタンをクリックすると、銘柄名などの項目をクリックして、並び替えもできるようになります。

2 訂正・取消

注文内容の訂正や取消ができます。別画面にて注文画面が起動します。

3 注文詳細

選択した注文の詳細を確認することができます。

4 決済相手玉情報

返済注文中の建玉の情報を確認することができます。

手順3 約定照会をみる

「約定照会」では、約定した注文の詳細を確認できます。

1 注文種類

「全て／現物／信用」のいずれかを選択します。

2 銘柄

絞り込みたいティッカーや銘柄名を入力します。

3 口座区分

「全て／特定／一般／NISA／旧NISA」のいずれかを選択します。

4 売買

「全て／買／売」のいずれかを選択します。

5 出力期間

出力期間を「当日」「1ヶ月」「3ヶ月」「6ヶ月」「1年」「期間指定」から選択できます。「期間指定」を選択した場合、現在から過去1ヵ月間で任意の期間を選択できます。

6 決済方法

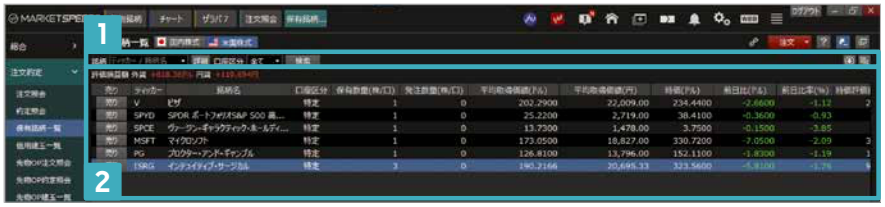
決済方法を「全て」「円貨」「外貨」から選択できます。

7 約定データ

約定日や受渡日など約定データの一覧が表示されます。

手順4 保有銘柄をみる

現在保有している現物株の銘柄を確認するには、「注文約定」内の「保有銘柄一覧」でチェックできます。ここでは銘柄別に時価評価額や評価損益率のほか、PERや配当利回りなどの投資指標もまとめて確認できます。



手順5 売り注文を出す

買い注文と同様に「売り注文」を右クリックや画面右上の「注文」ボタンからクリックすると、「保有銘柄一覧」が表示されます。1で売り注文を発注したい銘柄を選択し、右の2で条件を入力します。誤りがなければ3で確認をクリックします。その後売り注文確認の画面で内容を確認し、4で取引暗記番号を入力し、執行をクリックします。

注文情報に誤りがなければ事前に設定した取引暗証番号（数字4桁）を入力後、「執行」をクリックします。

先物・オプション 操作方法ダイジェスト

手順1 買い注文を出す

注文を出したい銘柄の上にカーソルを置き、右クリック→「先物OP個別」→「新規注文」をクリックするか、右上の「注文ボタン」から「先物OP個別」→「新規注文」をクリックすれば、下の画面が表示されます。

現在値や前日比など基本的な情報が確認できます。

執行数量条件
注文執行時に全数量約定しなかった場合の扱いを指定します。

FAS：約定可能な枚数は約定、未約定分は注文期限まで有効
FAK：約定可能な枚数は約定、未約定分はキャンセル。
FOK：注全数量約定しなければ、注文はすべてキャンセル。

注文画面の種類を選択します。取引に合わせて5タイプの注文画面を選べます。

注文の種類を選択します。

買建/売建、枚数、指値/成行を入力します。

執行時間条件
注文の有効期限を指定します。

当セッション：注文執行時のセッションの引け。
期間指定：指定した営業日の日中取引時間の引け(最大30営業日先)。
取引最終日：当社が定める取引最終日の日中取引時間の引け。
引け：ザラバでは約定せず、クロージング・セッションのみ有効。

注文内容に誤りがなければ取引暗証番号(数字4桁)を入力後、「執行」をクリックします。

入力したら「確認」をクリックします。

手順2 注文照会をみる

「先物OP注文照会」では、発注した先物・オプション取引の注文内容が確認できます。発注した注文は銘柄の左にある「訂正」「取消」より変更できます。国内株式の取引と同様に注文の一括取消も可能です。

1 照会条件

銘柄、取引、注文状況、出力期間が指定できます。照会条件を変更した場合は「検索」をクリックすると一覧に反映されます。

2 訂正・取消注文ボタン

クリックすると「先物OP訂正取消一覧」が起動し、訂正・取消が可能な注文が一覧で表示されます。また、「全取消」をクリックすると、一括で注文を取り消すこともできます。

3 注文一覧

照会条件に応じた注文一覧が表示されます。訂正・取消が可能であれば左端にボタンが表示され、注文画面がすぐに起動できます。

4 注文詳細

注文一覧で選択した注文の詳細が表示されます。転売・買戻注文の場合は決済の対象となる建玉の情報が「決済相手玉情報」に表示されます。

手順3 約定照会をみる

「約定照会」では、約定した注文の詳細を確認できます。

1 照会条件

銘柄、取引、出力期間が指定できます。照会条件を変更した場合は「検索」をクリックすると一覧に反映されます。

2 約定一覧

照会条件に応じた約定一覧が表示されます。

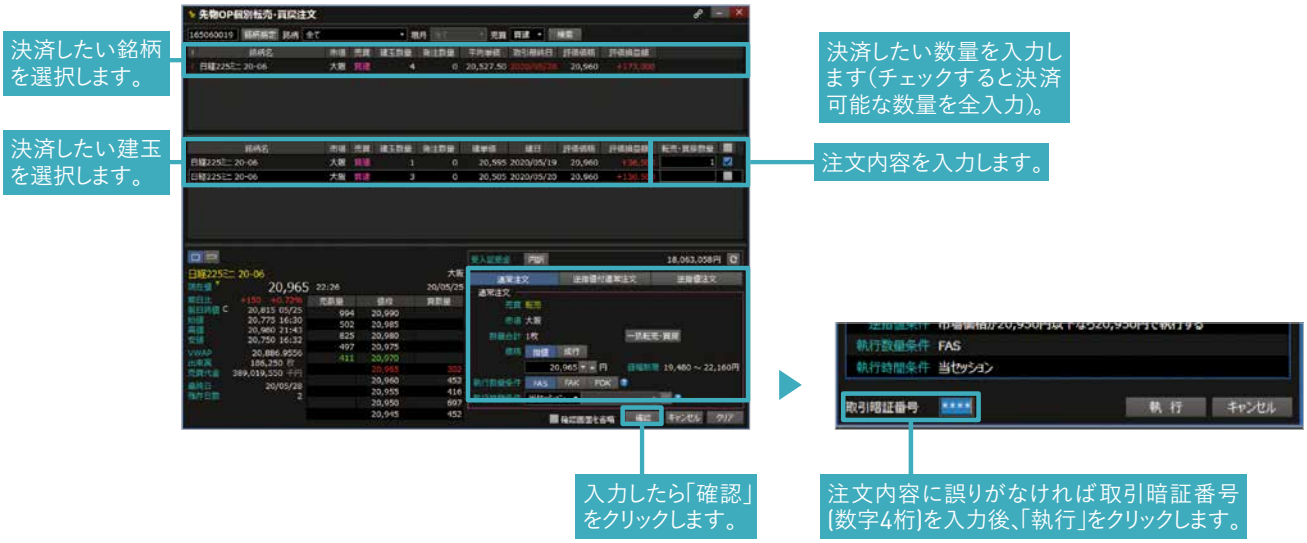
手順4 建玉一覧をみる

先物・オプション銘柄の建玉を確認するには「先物OP建玉一覧」を使用します。取引最終日の7日前より“!”のアイコンが赤く表示され、取引最終日欄についても赤字表示になります。また、評価損が10%を超えると同様に“!”のアイコンが表示されます。

1 照会条件
2 先物OP全決済ボタン
3 評価損益額・建玉合計
4 銘柄別建玉合計
5 建玉明細情報

手順5 転売・買戻注文を出す

先物・オプションの建玉を決済する画面です。画面上段で銘柄、中段で建玉を選択し、下段で注文内容を入力します。



CFD 操作方法ダイジェスト

手順1 買い注文を出す

国内株式と同様、右クリックメニューまた右上の「注文ボタン」から「CFD>新規注文」を選択すると新規注文/決済注文/スピード注文/訂正・取消注文画面を起動できます。

検索欄
検索欄で銘柄名を指定するか、「詳細」ボタンをクリックすれば「CFD銘柄検索」画面から銘柄を検索できます。

数量・価格
取引する数量を入力してください。上下の矢印ボタンでも入力可能です。

次に、「指値」「成行」「逆指値」のいずれかの注文方法を指定します。

指値や逆指値の価格もここで指定することができます。

レイアウト
注文画面の種類を選択します。取引に合わせて3タイプの注文画面を選べます。

証拠金情報
注文画面を表示した時点の取引余力と証拠金維持率を確認することができます。右側にあるボタンをクリックすると証拠金情報が更新されます。

注文種類
「通常注文」、「OCO」、「IFD」、「IFD-OCO」のいずれかの注文方法を選択します。

売買
買いから始めるのであれば「新規買」を、売から始めるのであれば「新規売」を選択します。

入力したら「確認」をクリックします。注文内容に誤りがなければ「執行」をクリックします。

有効期限
注文の有効期限を指定します。

本日中：取引日翌日早朝にあたるニューヨーク市場終了時まで有効となります。
今週中：取引日の含まれる週の金曜日のニューヨーク市場終了時まで有効となります。
期間指定:最大30営業日先まで指定することができ、指定日翌日早朝にあたるニューヨーク市場終了時まで有効となります。
期限なし：取消処理を行うまで有効となります

▸▸スピード注文の方法はp33で確認

手順2 注文照会をみる

「CFD注文照会」では、発注したCFD取引の注文内容が確認できます。発注した注文は銘柄の左にある「訂正」「取消」より変更できます。国内株式の取引と同様に注文の一括取消も可能です。

1 照会条件
表示する口座、銘柄、取引、売買、注文状況、出力期間が指定できます。

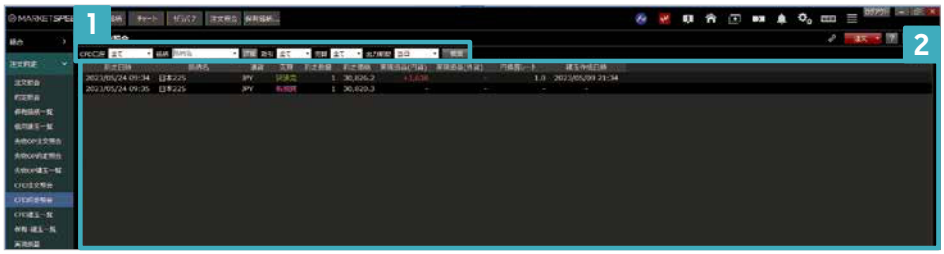
2 訂正・取消注文ボタン
訂正・取消が可能な注文が一覧で表示されます。

3 注文一覧
照会条件に応じた注文一覧が表示されます。

4 注文詳細
注文一覧で選択した注文の詳細が表示されます。

手順3 約定照会をみる

「CFD約定照会」では、約定したCFD取引注文の詳細が確認できます。CFD注文の約定単価や実現損益もここで確認できます。



1 照会条件

銘柄、取引、出力期間が指定できます。照会条件を変更した場合は「検索」をクリックすると一覧に反映されます。

2 約定確認

約定した注文の確認ができます。

手順4 建玉一覧をみる

「CFD建玉一覧」CFD建玉の約定単価や累計調整金、評価損益を確認できます。保有状況を確認しながら、決済注文画面を起動することができます。

1 検索条件

商品種類、銘柄を絞り込むことができます。

2 評価損益額

「評価損益額」では取得金額と時価の差額が表示されます。

3 建玉合計

銘柄別の建玉合計が表示されます。

4 建玉明細

建玉数量や建単価などの明細が表示されます。変動があれば自動でリアル更新されます。

手順5 決済注文を出す

建玉エリア
決済をする建玉を選択するエリアです。表示する建玉は銘柄名による指定やプルダウンメニューによるCFD口座、売買での絞り込みもできます。絞り込みは「検索」ボタンをクリックすると反映されます。

レイアウト
注文画面の大きさ・レイアウトを変更することができます。レイアウトによって、発注できる注文種類が変わります。

建玉明細エリア
建玉エリアで指定した建玉の明細が表示されますので、明細ごとに決済する数量を設定します。
数量は入力欄に直接入力するか、チェックを入れて全明細または各明細の発注可能な全数量を簡単に入力することもできます。

注文種類
「通常注文」、「OCO」のいずれかを選択できますます。OCOは、2つの注文を希望価格を指定して同時に出しておき、一方が成立すると、もう一方の注文は取り消される注文です。

注文内容
価格、有効期限などを指定します。

「確認」ボタンをクリックすると、注文内容の確認画面が表示されますので、「執行」ボタンをクリックします。

国内株式 国内ETF／ETN 上場新株予約権証券（ライツ）

【株式等のお取引にかかるリスク】
株式等は株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。上場投資信託（ETF）は連動対象となっている指数や指標等の変動等、上場投資証券（ETN）は連動対象となっている指数や指標等の変動等や発行体となる金融機関の信用力悪化等、上場不動産投資信託証券（REIT）は運用不動産の価格や収益力の変動等、ライツは転換後の価格や評価額の変動等により、損失が生じるおそれがあります。※ライツは上場および行使期間に定めがあり、当該期間内に行使しない場合には、投資金額を全額失うことがあります。

●レバレッジ型、インバース型ETF及びETNのお取引にあたっての留意点
上場有価証券等のうち、レバレッジ型、インバース型のETF及びETN（※）のお取引にあたっては、以下の点にご留意ください。
・レバレッジ型、インバース型のETF及びETNの価額の上昇率・下落率は、2営業日以上の期間の場合、同期間の原指数の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じたものとは通常一致せず、それが長期にわたり継続することにより、期待した投資成果が得られないおそれがあります。
・上記の理由から、レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、中長期間的な投資の目的に適合しない場合があります。
・レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、投資対象物や投資手法により銘柄固有のリスクが存在する場合があります。詳しくは別途銘柄ごとに作成された資料等でご確認いただく、またはコールセンターにてお尋ねください。
※「上場有価証券等」には、特定の指標（以下、「原指数」といいます。）の日々の上昇率・下落率に連動し1日に一度価額が算出される上場投資信託（以下「ETF」といいます。）及び指数連動証券（以下、「ETN」といいます。）が含まれ、ETF及びETNの中には、原指数の日々の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じて算出された数値を対象指数とするものがあります。このうち、倍率が+（プラス）1を超えるものを「レバレッジ型」といい、−（マイナス）のもの（マイナス1倍以内のものを含みます）を「インバース型」といいます。

【信用取引にかかるリスク】
信用取引は取引の対象となっている株式等の株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。信用取引は差し入れた委託保証金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。その損失額は差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。

【株式等のお取引にかかる費用】
国内株式の委託手数料は「ゼロコース」「超割コース」「いちにち定額コース」の3コースから選択することができます。
（ゼロコース（現物取引））
約定金額にかかわらず取引手数料は0円です。
但し、原則として当社が指定するSOR（スマート・オーダー・ルーティング（※1））注文 のご利用が必須となります。（当社が指定する取引ツールや注文形態で発注する場合を除きます。）
ゼロコースをご利用される場合には、当社のSORやRクロス（※2）の内容を十分ご理解のうえでその利用に同意いただく必要があります。
※1SORとは、複数市場から指定条件に従って最良の市場を選択し、注文を執行する形態の注文です。
※2「Rクロス」は、楽天証券が提供する社内取引システム（ダークプール（※3））です。
※3ダークプールとは、証券会社が投資家同士の売買注文を付け合わせ、対当する注文があれば金融商品取引所の立会外市場（ToSTNeT）に発注を行い約定させるシステムをいいます。
（ゼロコース（信用取引））
約定金額にかかわらず取引手数料は0円です。
但し、原則として当社が指定するSORのご利用が必須となります。（当社が指定する取引ツールや注文形態で発注する場合を除きます。）
（超割コース（現物取引））
1回のお取引金額で手数料が決まります。
1回の約定代金が5万円まで55円（税込）／1回、10万円まで99円（税込）／1回、20万円まで115円（税込）／1回、50万円まで275円（税込）／1回、100万円まで535円（税込）／1回、150万円まで640円（税込）／1回、3,000万円まで1,013円（税込）／1回、3,000万円超1,070円（税込）／1回
（超割コース（信用取引））
1回のお取引金額で手数料が決まります。
1回の約定代金が10万円まで99円（税込）／1回、20万円まで148円（税込）／1回、50万円まで198円（税込）／1回、50万円超385円（税込）
超割コース大口優遇の判定条件を達成すると、以下の優遇手数料が適用されます。大口優遇は一度条件を達成すると、3ヶ月間適用になります。詳しくは当社ウェブページをご参照ください。
（超割コース　大口優遇（現物取引））
約定金額にかかわらず取引手数料は0円です。
（超割コース　大口優遇（信用取引））
約定金額にかかわらず取引手数料は0円です。
（いちにち定額コース）
1日の取引金額合計（現物取引と信用取引合計）で手数料が決まります。
1日の約定代金合計が100万円まで0円、200万円まで2,200円（税込）、300万円まで3,300円（税込）／1日です。以降、100万円増えるごとに1,100円（税込）追加されます。
※1日の取引金額合計は、前営業日の夜間取引と当日の日中取引を合算して計算いたします。
※一般信用取引における返済期日が当日の「いちにち信用取引」、および当社が別途指定する銘柄の手数料は0円です。これらのお取引は、いちにち定額コースの取引金額合計に含まれません。

【かぶミニ®（単元未満株の店頭取引）にかかるリスクおよび費用】
●リスクについて
かぶミニ®の取扱い銘柄については市場環境等により、取扱いを停止する場合があります。
●費用について
1売買手数料は無料です。
かぶミニ®（単元未満株の店頭取引）は、当社が自己で直接の相手方となり市場外で売買を成立させます。そのため、取引価格は買付時には基準価格に一定のスプレッド（差額）を上乗せした価格、売却時には基準価格に一定のスプレッド（差額）を差し引いた価格となります（1円未満の端数がある場合、買付時は整数値に切り上げ、売却時は切り捨て）。なお、適用されるスプレッドは当社ウェブサイトにて開示していますが、相場環境の急変等により変動する場合があります。

●カスタマーサービスセンターのオペレーターの取次ぎによる電話注文は、上記いずれのコースかに関わらず、1回のお取引ごとにオペレーター取次ぎによる手数料（最大で4,950円（税込））を頂戴いたします。詳しくは取引説明書等をご確認ください。
●信用取引には、上記の売買手数料の他にも各種費用がかかります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。
●信用取引をおこなうには、委託保証金の差し入れが必要です。最低委託保証金は30万円、委託保証金率は30%、委託保証金最低維持率（追証ライン）が20%です。委託保証金の保証金率が20%未満となった場合、不足額を所定の時限までに当社に差し入れていただき、委託保証金へ振替えていただくか、建玉を決済していただく必要があります。
レバレッジ型ETF等の一部の銘柄の場合や市場区分、市場の状況等により、30%を上回る委託保証金が必要な場合がありますので、ご注意ください。

【貸株サービス・信用貸株にかかるリスクおよび費用】
（貸株サービスのみ）
●リスクについて
貸株サービスの利用に当社とお客様が締結する契約は「消費貸借契約」となります。株券等を貸付いただくにあたり、楽天証券よりお客様へ担保の提供はなされません（無担保取引）。
（信用貸株のみ）
●株券等の貸出設定について
信用貸株において、お客様が代用有価証券として当社に差入れている株券等（但し、当社が信用貸株の対象としていない銘柄は除く）のうち、一部の銘柄に限定して貸出すことができますが、各銘柄につき一部の数量のみに限定することはできませんので、ご注意ください。

（貸株サービス・信用貸株共通）
●当社の信用リスク
当社がお客様に引渡すべき株券等の引渡しが、履行期日又は両者が合意した日に行われない場合があります。この場合、「株券等貸借取引に関する基本契約書」・「信用取引規定兼株券貸借取引取扱規定第2章」に基づき遅延損害金をお客様にお支払いいたしますが、履行期日又は両者が合意した日に返還を受けていた場合に株主として得られる権利（株主優待、議決権等）は、お客様は取得できません。
●投資者保護基金の対象とはなりません
貸付いただいた株券等は、証券会社が自社の資産とお客様の資産を区別して管理する分別保管および投資者保護基金による保護の対象とはなりません。
●手数料等諸費用について
お客様は、株券等を貸付いただくにあたり、取引手数料等の費用をお支払いいただく必要はありません。
●配当金等、株主の権利・義務について（貸借期間中、株券等は楽天証券名義又は第三者名義等になっており、この期間中において、お客様は株主としての権利義務をすべて喪失します。そのため一定期間株式を所有することで得られる株主提案権等について、貸借期間中はその株式を所有していないこととなりますので、ご注意ください。（但し、信用貸株では貸借期間中の全部又は一部においてお客様名義のままの場合もあり、この場合、お客様は株主としての権利義務の一部又は全部が保持されます。）株式分割等コーポレートアクションが発生した場合、自動的にお客様の口座に対象銘柄を返却することで、株主の権利を獲得します。権利獲得後の貸出設定は、お客様のお取引状況によってお手続きが異なりますのでご注意ください。
貸借期間中に権利確定日が到来した場合の配当金については、発行会社より配当の支払いがあった後所定の期日に、所得税相当額を差し引いた配当金相当額が楽天証券からお客様へ支払われます。

●株主優待、配当金の情報について
株主優待の情報は、東洋経済新報社から提供されるデータを基にしており、原則として毎月1回の更新となります。更新日から次回更新日までの内容変更、売買単位の変更、分割による株数の変動には対応しておりません。また、貸株サービス・信用貸株内における配当金の情報は、TMI（Tokyo Market Information；東京証券取引所）より提供されるデータを基にしており、原則として毎営業日の更新となります。株主優待・配当金は各企業の判断で廃止・変更になる場合がありますので、必ず当該企業のホームページ等で内容をご確認ください。
●大量保有報告（短期大量譲渡に伴う変更報告書）の提出について
楽天証券、または楽天証券と共同保有者（金融商品取引法第27条の23第5項）の関係にある楽天証券グループ会社等が、貸株対象銘柄について変更報告書（同法第27条の25第2項）を提出する場合において、当社がお客様からお借りした同銘柄の株券等を同変更報告書提出義務発生日の直近60日間に、お客様に返還させていただいているときは、お客様の氏名、取引株数、契約の種類（株券消費貸借契約である旨）等、同銘柄についての楽天証券の譲渡の相手方、および対価に関する事項を同変更報告書に記載させていただく場合がございますので、予めご了承ください。
●税制について
株券貸借取引で支払われる貸借料及び貸借期間中に権利確定日が到来した場合の配当金相当額は、お客様が個人の場合、一般に雑所得又は事業所得として、総合課税の対象となります。なお、配当金相当額は、配当所得そのものではないため、配当控除は受けられません。また、お客様が法人の場合、一般に法人税に係る所得の計算上、益金の額に算入されます。税制は、お客様によりお取り扱いが異なる場合がありますので、詳しくは、税務署又は税理士等の専門家にご確認ください。

2023年10月1日現在

米国株式　海外ETF／ETN／REIT

【米国株式の取引にかかるリスク】
米国株式は、株価(価格)の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、為替相場の変動等により損失(為替差損)が生じるおそれがあります。上場投資信託(ETF)は連動対象となっている指数や指標等の変動等、上場投資証券(ETN)は連動対象となっている指数や指標等の変動等や発行体となる金融機関の信用力悪化等、上場不動産投資信託証券(REIT)は運用不動産の価格や収益力の変動等により、損失が生じるおそれがあります。

●レバレッジ型、インバース型ETF及びETNのお取引にあたっての留意点
上場有価証券等のうち、レバレッジ型、インバース型のETF及びETN(※)のお取引にあたっては、以下の点にご留意ください。
・　レバレッジ型、インバース型のETF及びETNの価額の上昇率・下落率は、2営業日以上の期間の場合、同期間の原指数の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じたものとは通常一致せず、それが長期にわたり継続することにより、期待した投資成果が得られないおそれがあります。
・上記の理由から、レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、中長期的な投資の目的に適合しない場合があります。
・レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、投資対象物や投資手法により銘柄固有のリスクが存在する場合があります。詳しくは別途銘柄ごとに作成された資料等でご確認いただく、またはコールセンターにてお尋ねください。
※「上場有価証券等」には、特定の指標(以下、「原指数」といいます。)の日々の上昇率・下落率に連動し1日に一度価額が算出される上場投資信託(以下「ETF」といいます。)及び指数連動証券(以下、「ETN」といいます。)が含まれ、ETF及びETNの中には、原指数の日々の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じて算出された数値を対象指数とするものがあります。このうち、倍率が+(プラス)1を超えるものを「レバレッジ型」といい、−(マイナス)のもの(マイナス1倍以内のものを含みます)を「インバース型」といいます。

【米国株式の信用取引にかかるリスク】
米国株式信用取引の対象となっている株式等の株価(価格)の変動等により損失が生じるおそれがあります。米国株式信用取引は差し入れた委託保証金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。その損失額は差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。また、米国株式信用取引は外貨建てで行う取引であることから、米国株式信用取引による損益は外貨で発生します。そのため、お客様の指示により外貨を円貨に交換する際の為替相場の状況によって為替差損が生じるおそれがあります。

【米国株式の取引にかかる費用】
〔現物取引〕
1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引手数料
約定代金の0.495%（税込） ・最低手数料：0米ドル ・上限手数料：22米ドル(税込)

※当社が別途指定する銘柄の買付手数料は無料です。
※売却時は上記の手数料に加え、別途SEC Fee(米国現地取引所手数料)がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

〔米国株式信用取引〕
1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引手数料
約定代金の0.33%（税込） ・最低手数料：0米ドル ・上限手数料：16.5米ドル(税込)

※当社が別途指定する銘柄の新規買建または買返済時の取引手数料は無料です。
※売却時(信用取引の場合、新規売建/売返済時)は上記の手数料に加え、別途SEC Fee(米国現地取引所手数料)がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

米国株大口優遇の判定条件を達成すると、以下の優遇手数料が適用されます。米国株大口優遇は一度条件を達成すると、3ヶ月間適用になります。詳しくは当社ウェブページをご参照ください。

〔米国株式信用取引(米国株大口優遇)〕
約定金額にかかわらず取引手数料は0米ドルです。

●米国株式信用取引には、上記の売買手数料の他にも各種費用がかかります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。

●米国株式信用取引をおこなうには、委託保証金の差し入れが必要です。最低委託保証金は当社が指定する30万円相当額、新規建て時に最低必要な委託保証金率は50%、委託保証金最低維持率(追証ライン)が30%です。委託保証金の保証金率が30%未満となった場合、不足額を所定の時限までに当社に差し入れていただき、委託保証金へ振替えていただくか、建玉を決済していただく必要があります。

【米国貸株サービスにかかるリスクおよび費用】
・リスクについて
米国貸株サービスの利用に当社とお客様が締結する契約は「消費貸借契約」となります。株券等を貸付いただくにあたり、楽天証券よりお客様へ担保の提供はなされません(無担保取引)。

・投資者保護基金の対象とはなりません
貸付いただいた株券等は、証券会社が自社の資産とお客様の資産を区別して管理する分別保管および投資者保護基金による保護の対象とはなりません。

・手数料等諸費用について
お客様は、株券等を貸付いただくにあたり、取引手数料等の費用をお支払いいただく必要はありません。

・配当金等、株主の権利・義務について
貸借期間中、株券等は楽天証券名義又は第三者名義等になっています。そのため、貸借期間中に権利確定日が到来した場合の配当金については、発行会社より配当の支払いがあった後所定の期日に、所得税相当額を差し引いた配当金相当額が楽天証券からお客様へ支払われます。また、株式分割等コーポレートアクションが発生した場合(整数倍の株式分割を除く)、自動的にお客様の口座に対象銘柄を返却することで、お客様は、株主の権利を獲得します。

・配当金の情報について
米国貸株サービスにおける配当金の情報は、S&Pグローバル社より提供されるデータを基にしており、原則として毎営業日の更新となります。配当金は各企業の判断で廃止・変更になる場合がありますので、必ず当該企業のホームページ等で内容をご確認ください。

・大量保有報告の提出について
貸株対象銘柄について、楽天証券およびまたはそのグループ会社等の保有が基準以上となった際にSEC(Securities and Exchange Commission：米国証券取引委員会)に報告書を提出する必要が生じます。その場合において、お客様の氏名、取引株数、契約の種類(株券消費貸借契約である旨)等を報告書に記載させていただく場合がございますので、予めご了承ください。

・税制について
株券貸借取引で支払われる貸借料及び貸借期間中に権利確定日が到来した場合の配当金相当額は、お客様が個人の場合、一般に雑所得又は事業所得として、総合課税の対象となります。なお、配当金相当額は、配当所得そのものではないため、配当控除は受けられません。また、配当金相当額は外国税額控除の対象外です。また、お客様が法人の場合、一般に法人税に係る所得の計算上、益金の額に算入されます。税制は、お客様によりお取り扱いが異なる場合がありますので、詳しくは、税務署又は税理士等の専門家にご確認ください。

2024年12月21日現在

先物・オプション取引

【先物・オプション取引にかかるリスク】

先物・オプションの価格は、対象とする株価指数や商品市場の相場の変動等により上下しますので、これにより損失が生じるおそれがあります。また、先物取引は、少額の証拠金で当該証拠金の額を上回る額の取引をおこなうことができ、大きな損失が発生する可能性があります。その損失は証拠金の額だけに限定されません。大阪取引所において、同一の先物・オプション口座で指数先物取引以外の先物取引又はオプション取引(商品先物取引、オプション取引)を取引する場合、当該先物・オプション取引口座内での取引の証拠金は一体として計算・管理されるため、指数先物取引以外の取引において相場の変動により証拠金が不足し、証拠金の追加差入れ又は追加預託が必要になる場合があります。また、所定の時限までに証拠金を差し入れ又は預託しない場合や、約諾書の定めによりその他の期限の利益の喪失の事由に該当した場合には、それが対象の先物取引に関して発生したものでなくても、その他の先物・オプション取引の建玉が決済される場合もあります。更にこの場合、その決済で生じた損失についても責任を負うことになります。オプション取引はオプションを行使できる期間には制限があります。また、オプションの市場価格は、現実の株価指数の変動等に連動するとは限りません。価格の変動率は現実の株価指数の変動率に比べて大きくなる傾向があり、場合によっては大きな損失が発生する可能性があります。

【オプション取引における買方特有のリスク】

オプションは期限商品であり、買方が期日までに権利行使または転売をおこなわない場合には権利は消滅し、買方は投資資金の全額を失うことになります。

【オプション取引における売方特有のリスク】

売方は、市場価格が予想とは反対の方向に変化したときの損失が限定されていません。また、売方は、オプション取引が成立したときは、証拠金を差し入れまたは預託しなければなりません。大阪取引所において、同一の先物・オプション口座でオプション取引以外の先物取引(指数先物取引、商品先物取引)を取引する場合、当該先物・オプション取引口座内での取引の証拠金は一体として計算・管理されるため、オプション取引以外の取引において相場の変動により証拠金が不足し、証拠金の追加差入れ又は追加預託が必要になる場合があります。また、所定の時限までに証拠金を差し入れ又は預託しない場合や、約諾書の定めによりその他の期限の利益の喪失の事由に該当した場合には、それが対象のオプション取引に関して発生したものでなくても、その他の先物・オプション取引の建玉が決済される場合もあります。更にこの場合、その決済で生じた損失についても責任を負うことになります。売方は、権利行使の割当てを受けた際には必ずこれに応じる義務があり、権利行使価格と最終清算指数(SQ値)の差額を支払う必要があります。

【先物取引にかかる費用】

1枚あたり以下の取引手数料がかかります

銘柄名	取引手数料
日経225先物取引	275円(税込) ／枚
日経225ミニ先物取引	38.5円(税込) ／枚 (1円未満切捨)
日経225マイクロ先物取引	11円(税込) ／枚
東証グロース市場250指数先物取引	41.8円(税込) ／枚 (1円未満切捨)
金先物・白金先物・銀先物・パラジウム先物・ゴム先物・とうもろこし先物・大豆先物・小豆先物取引	275円(税込) ／枚
金ミニ先物・白金ミニ先物・金スポット・白金スポット取引	77円(税込) ／枚

【オプション取引にかかる費用】

日経225オプション取引は1取引あたり、日経225ミニオプションは1枚あたり以下の手数料がかかります。

銘柄名	取引手数料
日経225オプション取引	売買代金の0.198% (税込) 最低手数料198円(税込) (1円未満切捨)
日経225ミニオプション取引	19.8円(税込) ／枚 (1円未満切捨)

【委託証拠金等について】

先物・オプション取引をおこなうには、委託証拠金の差し入れが必要です。必要委託証拠金はVaR方式(特定のポジションを一定期間保有すると仮定した場合において、将来の価格変動により一定の確率の範囲内で予想される損失をカバーする額を計算する方法)によって計算され、「(取引所証拠金額×当社が定める証拠金掛目)-ネット・オプション価値総額+先物両建て証拠金」となります。

※先物両建て証拠金=銘柄ごとの両建て枚数×両建てにかかる限月の中で最も高い1枚あたりの取引所証拠金額×当社が定める証拠金掛目※先物両建て証拠金は、価格の変動に損益が連動しない建玉(両建玉)を保有している場合であっても、上記算出式に基づく証拠金額が必要です。※両建て取引は経済合理性に欠くおそれがあり、費用も二重にかかることをご理解のうえで、お取引ください。

2023年11月6日現在

CFD取引

【CFD取引にかかるリスク】

CFD取引は、お取引の対象となる銘柄の価格変動、金利相当額、配当相当額、価格調整額の支払い、各国の経済、社会情勢、金融政策、金融指標等の変動により損失が生じるおそれがあり、投資元本が保証されたものではありません。また、CFD取引は差し入れた証拠金を上回る金額の取引をおこなうことができるため大きな損失が発生する可能性があり、その損失額は差し入れた証拠金を上回るおそれがあります。

【CFD取引にかかる費用等】

CFD取引の取引手数料は無料です。なお、取引にあたっては各銘柄の売付価格と買付価格には差(スプレッド)があります。スプレッドは銘柄ごとに異なります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。

【証拠金について】

〔楽天CFD〕

取引金額に対して、指数CFDは10%以上、商品CFDは5%以上、バラエティCFDおよび株式CFDは20%以上の証拠金が必要となります。(楽天CFDのお取引は現時点では個人口座のみとなります。)

スマホアプリなら、いつでも、どこでも。

すべては、個人投資家のために。

ここまで使いやすくなった株トレーディングアプリ

iSPEED for iPhone/Android

小さなスマホのイメージを覆す圧倒的な情報量を味方に、
いつでもどこでも発注！

スピード命のFXトレードには「ASスピード発注」を

iSPEED FX

チャートを見ながらワンタップでスピーディーに
ASストリーミング注文

CME,SGXなど海外先物価格も充実

iSPEED 先物OP

1～5分足チャートに14種類のテクニカル分析を装備
チャートや気配値からの注文もタップだけで簡単に完了

無料でご利用いただけます。

楽天証券　https://www.rakuten-sec.co.jp/

楽天証券カスタマーサービスセンター

会員専用	非会員専用・資料請求ダイヤル
フリーダイヤル	フリーダイヤル
0120-41-1004（よい 投資）	0120-188-547
携帯電話からは 03-6739-3333	携帯電話からは 03-6739-3355

受付時間／平日8:30～17:00（土日祝・年末年始を除く）　問い合わせ時には、部店コード、お客様コード、ログインID下4桁の数字をご準備ください。

商号等　楽天証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者
加入協会　日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

●楽天証券の取扱商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ホームページの「リスク説明」ページに記載の当該商品等の契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。●この冊子の内容は2023年8月1日時点のものです。掲載している情報は一部、開発中の内容を含んでいます。そのため予告なく仕様などが変更される場合があります。あらかじめご了承ください。●掲載している情報は、証券投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、特定の個別銘柄や取引手法を推奨または勧誘するものではありません。また、証券投資には価格変動等により投資元本を割込む等のリスクがともないます。最終的な投資決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。●楽天証券では、お客様からお預りした資産はすべて弊社の資産と分別保管され、株式・債券等は保管振替機構等の保管機関に、金銭は信託銀行に預けられます。